

No.18 >>> Contents

●提携支援センターから

全国の繭全量が提携グループの傘下に	1
「琵琶湖で育まれた純国産絹弦で提携グループを確立」	
丸三ハシモト株式会社 専務取締役 橋本 英宗	10
生繰り生糸や顔の見える特徴ある商品を作る「東京シルクの会」	
東京シルクの会 事務局 内海 康治	15
平成 22 年度第 7 次純国産絹マーク使用許諾状況	
社団法人 日本絹業協会	18
提携支援センター活動日誌 No. 18	22

●今月の話題

和装振興のための『西陣織販売テキスト』	
西陣織工業組合 専務理事 碓山 俊光	21

●国内情報

シルク業界と産業遺産の保存・活用（後編）	
東京産業考古学会 副会長 平井 東幸	27

●トピックス

国内産地情報、海外情報（中国）	30
-----------------	----

●横浜開港とシルク貿易

大正期の経済危機と蚕糸対策	32
シルク博物館 元部長 小泉 勝夫	

●イベント情報 36

●純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧 37

●蚕糸関係博物館一覧 40

●蚕糸関係団体ホームページ一覧 41

●統計資料 42

●総目次 78

(統計資料の詳細は統計資料目次をご覧ください。)

全国の繭全量が提携グループの傘下に

蚕糸・絹業提携支援センター

3月11日に発生しました東日本大震災で被災された方々にお見舞いを申し上げますとともに、亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈りいたします。

さて財団法人大日本蚕糸会蚕糸・絹業提携支援センターでは、蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業の推進母体として活動してきました。特に、養蚕農家が生産する繭については、川上から川下まで一貫した提携グループの中で行うよう、関係者の方々の協力を得て推進してきました。

各提携グループは、本会が設置した第三者で構成される「提携推進委員会」の審査を経て、交付金が交付される提携グループとして承認されることとなります。これまで11回開催されました。提携グループの確立については、本年3月末日までに行うこととなっており、平成23年3月29日は、緊急対策事業前半の最終回であり、その結果、全58グループが確立され、その繭量は、約260トンとなり、平成23年度に想定される全国の繭生産量全量をカバーすることとなりました。

この間、コーディネーターの皆様や関係機関の方々のご協力を得たことにたいし深く感謝申し上げます。

なお、ここでは、平成23年3月に開催されました「提携推進委員会」2回の内容について報告いたします。

3月に2回開催し、19グループ確立

提携推進委員会は、3月に、3日、29日と2回開催いたしました。3日には12グループ、29日には7グループが対象となり、その全部が認められました。

今回のグループ化の特徴を記してみたいと思います。

(1) 種繭生産農家が参加する提携グループが構築されたことです。既に、2月の委員会で「愛媛県蚕種の会」が確立されていましたが、これに加え、「上田蚕種の会」、「高原社蚕種の会」

及び「富田蚕種製造所蚕種の会」のグループ化が図られました。

- (2) 真綿業者によるグループ化が構築されました。日本の真綿生産地は、2大産地があり、福島県伊達市(入金真綿)と滋賀県米原市近江(近江角真綿)です。今回、入金真綿として、「関根商店シルク工房の会」、「HIKOTARO ☆入金真綿工房の会」及び「野田定吉商店シルク工房の会」の3グループ、そして近江角真綿として「近江真綿振興会グループ協議会」のグループ化が図られました。
- (3) 製糸業者が代表企業となり、提携グループが構築されました。このグループの特徴は、これまで純国産の生糸にこだわってきたが、需要量が少なかったり、極めて不安定だったりして、独自の提携グループの構築が極めて困難なシルク工房、製織業者等を束ねて、全体として安定した需要構造を持つようにした、いわば乗合バスのような性格のグループです。既に、昨年12月に「碓氷製糸シルク工房の会」が確立されていますが、これに加え、3月には「宮坂製糸シルク工房の会」、「松澤製糸紬の会」、「純国産シルクを守る会」及び「松澤製糸所純国産シルクの会」の4グループが提携化されました。
- (4) このほか、「奄美島絹振興研究会」に見られるように、本年度から蚕を飼育し、事業参加を行う新規養蚕農家が参加するグループも出現しています。

このほか、いくつか特徴ある提携グループがありますが、別表「承認提携システム確立グループ一覧」をご覧ください。本一覧は、本事業「提携推進委員会」第1回から第11回の全てを掲載(58グループ)しました。

(別紙)承認提携システム確立グループ一覧

承認日	提携グループ名	構成員(団体等)	対象繭生産地 (対象繭数量)	特徴等 (産地、蚕品種 etc)
H20.3.31	グループ167 (代表:織道楽塩野屋)	養蚕農家(4戸)、宮坂製糸、織道楽塩野屋、両双、ウェイズ	京都(250kg) 春80kg・初秋70kg・晩秋100kg	蚕品種:緑繭1号 副産物(蚕沙、幼虫、蛹等)の有効利用
H20.3.31	白繭細1号プロジェクト 開発チーム (代表:㈱マルシバ)	高原社、養蚕農家(11戸)、碓氷製糸、宮坂製糸、芋田機業場、五十嵐商事、龍工房、矢代仁、木村和哉、三越、㈱マルシバ	長野(2,150kg) 春850kg・晩秋1,300kg	蚕品種:白繭細1号
H20.3.31	“絹を未来に” プラチナボーイ研究会 (代表:㈱マルシバ)	養蚕農家(8戸)、碓氷製糸、芋田機業場、五十嵐商事、銀座もとじ、㈱マルシバ	千葉(2,700kg) 春1,200kg・晩秋1,500kg	雄蚕品種:プラチナボーイ 男物の着物及びその関連製品
H20.3.31	日本蚕糸絹業開発 協同組合 国産シルク研究会	養蚕農家(120戸)、碓氷製糸、丸進機業、カプト、山直織物、坪金工業、南久ちりめん、ワタマサ、江島屋染工場、絹小沢	群馬(24,680kg) 春13,880kg・晩秋10,800kg	蚕品種:群馬オリジナル品種 (ぐんま200、新小石丸、世紀二一、上州絹星、ぐんま黄金)
H20.6.25	蚕太開発グループ (代表:門倉メリヤス㈱)	養蚕農家(8戸)、碓氷製糸、マユズミ、門倉メリヤス㈱、蜂須メリヤス、贄田シルク、JA北群馬、馬渡川・JA前橋	群馬(900kg) 春900kg	蚕品種:蚕太、ニット製品等
H20.6.25	富岡シルクブランド 協議会	養蚕農家(21戸)、碓氷製糸、宮坂製糸、富岡市長、富岡製糸場、JA甘楽富岡、個人作家(7人)、甘楽富岡蚕桑研究会、富岡シルクタンパク研究会、繭家	群馬(4,950kg) 春2,425kg・晩秋2,525kg	蚕品種:ぐんま200、 錦秋鐘和 21年産以降全量を協議会で使用
H21.4.24	日本の繭と きもの文化を考える会 (代表:田中種株式会社)	養蚕農家(2戸)、碓氷製糸、南久ちりめん、高田勝、田中種	群馬(360kg) 春180kg・晩秋180kg	蚕品種:春嶺×鐘月、 錦秋×鐘和
H21.4.24	群馬絹文化研究会 (代表:有限会社 ミラノリブ)	養蚕農家(4戸)、碓氷製糸、東北擦糸、今井染色、ミラノリブ	群馬(1,000kg) 春1,000kg	蚕品種:ぐんま200
H21.5.15	日本蚕糸絹業開発 協同組合国産シルク 研究会 普通蚕種部会	養蚕農家(52戸)、碓氷製糸、カプト、坪金工業、渡辺絹織物、番國、長島織物、江島屋染工場、絹小沢	群馬(13,300kg) 春5,300kg・初秋3,300kg・晩秋4,700kg	蚕品種:春嶺×鐘月、 錦秋×鐘和
H22.3.30	西陣純国産絹振興会 (代表:西陣織工業組合)	養蚕農家(4戸)、碓氷製糸、関根商店、東北擦糸、加賀グンゼ、西陣織工業組合	群馬(1,650kg) 春550kg・初秋550kg・晩秋550kg 福島(495kg) 春165kg・初秋165kg・晩秋165kg	蚕品種:春嶺×鐘月、 錦秋×鐘和
H22.9.10	平田グループ研究会 (代表:株式会社平田 組紐)	養蚕農家(43戸)、碓氷製糸、田宮織維㈱、小林練染工場、山金商店、(有)いのうえ、㈱平田組紐	群馬(6,200kg) 春6,200kg	蚕品種:ぐんま200、組紐
H22.9.10	新潟県産繭・絹振興会 (代表:合資会社山岸 織物)	養蚕農家(14戸)、赤城シルク、朝日村まゆの花の会、合資会社山岸織物、㈱しょうざん	新潟(1,650kg) 春550kg・初秋550kg・晩秋550kg	繭クラフト、生紬
H22.9.10	綾の小石丸の会 (代表:㈱あきやま)	養蚕農家(4戸)、㈱あきやま、㈱宮坂製糸	宮崎(260kg) 春140kg・初秋60kg・晩秋60kg	小石丸、蚕技研11号
H22.9.10	玉小石牛首紬研究会 (代表:大門屋)	養蚕農家(1戸)、加藤機業場、大門屋	福井(100kg) 春40kg・初秋20kg・晩秋40kg	蚕品種:玉小石

承認日	提携グループ名	構成者（団体等）	対象繭生産地 （対象繭数量）	特徴等 （アイテム、蚕品種等）
H22. 11. 19	東京シルクの会 （代表：有限会社内海呉服店）	養蚕農家（7戸）、多摩シルクラ イフ21研究会、碓氷製糸、(株)宮 坂製糸、山口、河芳織物(有)、 (有)大原織物、(有)内海呉服店、 長島繊維(株)	東京（715 kg） 春 430 kg・晩秋 285 kg	蚕品種：青熟、四川三眠等 染織家の作品等
H22. 11. 19	ふじやまシルク プロジェクト （代表：株式会社JS）	養蚕農家（12戸）、JA西八代等、 松沢製糸、(株)山桜、(有)カシワ ギ、(株)オヤマダ、小泉織物、高 野縫製工場、(株)JS	山梨（4,611 kg） 春 2,310 kg・初秋 733 kg・晩秋 1,568 kg	純国産絹布団
H22. 11. 19	信州繭ブランド 織物振興会 （代表：有限会社シンセイ）	養蚕農家（2戸）、上田蚕種(株)、 (株)宮坂製糸、松沢製糸、織処丸 重、久保田織染工業(株)、(有)シ ンセイ、(株)中田勝	長野（250 kg） 春 150 kg・晩秋 100 kg	蚕品種：小石丸、黄緑繭 信州紬、スカーフ等
H22. 11. 19	千總純国産絹製品販売・ 商品開発グループ （代表：株式会社千總 友仙工場）	養蚕農家（41戸）、JA新いわて 等、富田蚕種、松岡(株)、加賀グ ンゼ(株)、株式会社千總友仙工場、 (株)千總	青森、岩手、山形（15,000 kg） 春 4,700 kg・初秋 4,450 kg・晩秋 5,850 kg	振袖、訪問着、付下等
H22. 12. 22	碓氷製糸シルク工場の会 （代表：碓氷製糸農業 協同組合）	養蚕農家（110戸）、碓氷製糸農 協、金井工房、丸三綿業(株)、丸 共織物(株)、他関係者（工房等） 44社	群馬（18,300 kg） 春 3,550 kg 初秋 9,720 kg 晩秋 5,030 kg	工房、小口取引に適合した小 ロットの生糸販売（小ロット、 低速に特化した生糸生産） 蚕品種：錦秋×鐘和、新小石 丸、世紀二一、ぐんま 200、 ぐんま黄金
H22. 12. 22	伊予生糸を守る会 （代表：西予市蚕糸業 振興協議会）	養蚕農家（11戸）、西予市蚕糸 業振興協議会、(株)野村町地域振 興センター、(株)龍村美術織物、 野村シルク博物館シルク工房	愛媛県（2,500kg） 春 1,100kg 初秋 500kg 晩秋 900kg	愛媛県西予市にて特徴ある蚕 品種「あけぼの」等の繭で生 繰り、多条機で製糸した糸を 使用し、龍村美術織物、野村 シルク博物館シルク工房に て、帯、着尺を制作
H22. 12. 22	絹の会ぐんま200 プロジェクト （代表：絹の会）	養蚕農家（2戸）、碓氷製糸、絹 の会	群馬県（960kg） 春 480kg 晩秋 480kg	春及び晩秋蚕期で群馬県オリ ジナル蚕品種「ぐんま 200」 を使用し、生挽き（春繭）、塩 蔵後生挽き（晩秋繭）で製糸。 軽くしなやかな、着心地に優 れた着尺、帯、ストール、組 紐を制作。
H22. 12. 22	伊達天蚕推進研究会 （代表：りょうぜん 天蚕の会）	養蚕農家（2戸）、天蚕農家（6 戸）、りょうぜん天蚕の会、東北 燃糸(株)	福島県（60 kg） 天蚕（福島 60 kg）	天蚕及び家蚕の育蚕から天蚕 細織ショール等の制作までの一貫 体系 「天蚕繭3粒+家蚕繭10粒」 で繰糸したハイブリッド糸を使用 し、手細織機で天蚕細織ショール の販売
H22. 12. 22	絹で奏でる音世界 グループ （代表：株式会社鳥羽屋）	養蚕農家（20戸）、(財)岐阜県 蚕糸協会、特殊生糸西村英雄、 前田糸業、(株)鳥羽屋	岐阜県（600 kg） 春 600 kg	三味線絃、琴絃、雅楽器絃、 その他邦楽器絃の生産 純国産の産地（岐阜県）、蚕期 （春）、蚕品種（春嶺×鐘月） が和楽器の絃に適合しており、 安定的な供給体制の確立

承認日	提携グループ名	構成者（団体等）	対象繭生産地 （対象繭数量）	商品の特徴等 （商品、産地、蚕品種 etc）
H22. 12. 22	邦楽器系用特殊生糸を守る会 （代表：丸三ハシモト株式会社）	養蚕農家（20 戸）、（財）岐阜県蚕糸協会、大音特殊生糸協同組合、 <u>丸三ハシモト</u> （株）	岐阜県（600 kg） 春 600 kg	琴糸、三味線糸、胡弓糸、琵琶糸等邦楽器用の生挽き座繰り糸の生産 純国産の産地（岐阜県）、蚕期（春）、蚕品種（春嶺×鐘月）が艶、コシのある糸となる。 全国の邦楽器商店で販売
H22. 12. 22	ふくしまみらいシルクの会 （代表：西川産業株式会社）	養蚕農家（22 戸）、 <u>有</u> 関根商店、 <u>西川産業</u> （株）	福島県（10,500kg） 春 3,500kg 初秋 3,500kg 晩秋 3,500kg	純国産で福島県の上質な繭から伝統の技である手びきを何百回も繰り返し、より吸湿性・保湿性・ドレープ性に優れた「入金真綿布団」を制作
H22. 12. 22	結城紬風土 31 研究会 （代表：株式会社小倉商店）	養蚕農家（3 戸）、 <u>有</u> 関根商店、 <u>株</u> 小倉商店	福島県（500kg） 晩秋 500kg	蚕品種「朝・日×東・海」を使用し、最高級の結城紬、帯を制作。
H22. 12. 22	川俣絹工房 （代表：福島寝装株式会社）	養蚕農家（5 戸）、松岡（株）、 <u>齊栄織物</u> （株）、石川彦太郎商店、 <u>福島寝装</u> （株）	福島県（300 kg） 春 300 kg	真綿布団（布団の表地と中綿（真綿）ともに福島県川俣町の繭使用）した商品を制作
H22. 12. 22	白鷹瑞龍の会 （代表：株式会社布四季庵ヨネオリ）	養蚕農家（1 戸）、松岡（株）、新田（株）、 <u>株</u> 布四季庵ヨネオリ	山形県（144kg） 春 48kg 初秋 48kg 晩秋 48kg	新蚕品種「小石丸×又昔」を「鷹山」と命名し、製織・染を（株）新田で行った「男性用縞袴」を制作
H22. 12. 22	信州オリジナル絹の会 （代表：株式会社丸万中尾）	<u>株</u> 高原社、養蚕農家（1 戸）、 <u>株</u> 宮坂製糸所、 <u>織処丸重</u> 、 <u>株</u> 丸万中尾、 <u>株</u> 一會	長野県（330kg） 春 110kg 初秋 110kg 晩秋 110kg	繭から織物まで全て長野県の技術で制作された着尺を江戸小紋に染め、また、帯を制作し織組織等オリジナル性の高い製品を製作する
H22. 12. 22	日本のお蚕さん 発展協議会 （代表：田中種株式会社）	養蚕農家（3 戸）、碓氷製糸農協、 <u>芝井</u> （株）、 <u>南久ちりめん</u> （株）、高田勝（株）、 <u>田中種</u> （株）	群馬県（1,500kg） 春 650kg 初秋 200kg 晩秋 650kg	「春嶺×鐘月」「錦秋×鐘和」を使用し、生産履歴の明らかな「極小紋型模様」の小紋の制作
H23. 1. 19	純日本の絹文化協会「松岡姫」グループ （代表企業：株式会社伊と幸）	養蚕農家（21 戸）、 <u>みちのく安達農協</u> 、松岡（株）、羽賀恒明、白数織物（有）、河芳織物（有）、 <u>株</u> 伊と幸	福島県（10,000 kg） 春 3,000kg 初秋 3,200kg 晩秋 3,800kg	これまで取り組んできた、特徴ある蚕品種「松岡姫」を使用した高級白生地シルクブランドの存続を図るとともに、更なる事業規模の拡大を目指す。
H23. 1. 19	日本絹文化振興会 （代表企業：株式会社丸上）	養蚕農家（6 戸）、土浦農協、碓氷製糸農協、 <u>株</u> 丸上、 <u>有</u> 幸和、関係者 34 社	茨城県（1,953kg） 春 869kg 初秋 529kg 晩秋 555kg	養蚕農家から小売店までが連携し、小売店ごとに、独自性のある色無地、付下げ、染帯等のものづくり活動を展開する。特に素材の特徴と個々の小売店のオリジナル性を高め、最高級の純国産絹製品を製作する。
H23. 1. 19	日本の絹を守る会 （代表企業：株式会社西陣まいづる）	養蚕農家（5 戸）、碓氷安中農協、碓氷製糸農協、 <u>丸八生糸</u> （株）、 <u>株</u> 西陣まいづる	群馬県（2,500 kg） 春 2,500 kg	選繭を徹底した春繭を低速で繰糸した高品質な生糸を使用して、織り込密度の高い（通常の 33.3%増）光沢のあるしなやかな袋帯を製作する。

承認日	提携グループ名	構成員（団体等）	対象繭産地 （対象繭数量）	商品の特徴等 （商品、産地、蚕品種 etc）
H23. 1. 19	甲斐絹グループ （代表企業：株式会社 甲斐絹座）	養蚕農家（15 戸）、笛吹農協、梨 北農協、クレイン農協、巨摩野 農協、松沢製糸、(有)石森染色、 丸八生糸(株)、(株)甲斐絹座	山梨県（3,886 kg） 春 1,770kg 初秋 770kg 晩秋 1,346kg	先染高級絹織物である「甲斐 絹」を、富士北麓地方の地域 資源として再認識し、ネクタイ、 ストール、バック等を現在 の消費者に受け入れられる 商品として開発し、販売して いく。
H23. 1. 19	秩父シルクの会 （代表企業：有限会社 ハック）	養蚕農家（4 戸）、秩父農協、埼 玉県製糸協会、(有)ハック、(株)倉 敷・マミー	埼玉県（300kg） 春 300kg	特徴ある蚕品種「いろいろり」 と野蚕糸との複合糸を用いた 業界初の「着物専用ニットイ ンナー（従来の肌襦袢と異なり、 体に優しくフィットし、 薄くて暖かく、保湿性・速乾 性や消臭性もある。）」を開 発・販売する。
H23. 2. 17	蚕彩会 （代表企業：装いの道 (株)代表取締役 山中 英靖）	養蚕農家（4 戸）、ちちぶ農協、 埼玉県製糸協会、松岡(株)、(有)酒 井、(株)二葉、装いの道(株)	埼玉県（500kg） 春 500kg	特徴ある蚕品種（いろいろり） を埼玉県秩父市の養蚕農家で 飼育し、松岡(株)で低速で繰糸、 かさ高性のある生糸を生産す る。この生糸で振袖及び訪問 着を製作し装道グループで販 売する。
H23. 2. 17	越後絹の会 （代表企業：(株)猪井 代表取締役 猪井一之）	養蚕農家（1 戸）、茨城千代田農 協、碓氷製糸農協、(有)幸和、(株) 猪井	茨城県（360 kg） 春 180kg 初秋 90kg 晩秋 90kg	茨城県の繭を使用し、碓氷製 糸で生糸に、丹後で製織した 白生地を、個々の販売店のオ リジナル性を考慮して、色無 地、付下、染帯等の最高級純 国産絹織物を製作。
H23. 2. 17	きわみ絹の会 （代表企業：第一衣料(株)）	養蚕農家（2 戸）、ひたち野農協、 碓氷製糸農協、(有)幸和、(株)中田 勝、第一衣料(株)	茨城県（480 kg） 春 240kg 晩秋 240kg	茨城県の繭を使用し、碓氷製 糸で生糸に、丹後で製織し、 素材の特徴と個々の販売店を 考慮し、色無地、付下、染帯 等の最高級純国産絹織物を製 作。
H23. 2. 17	愛媛県蚕種の会 （代表企業：愛媛蚕種(株)）	養蚕農家（2 戸）、愛媛たいき農 協、愛媛蚕種(株)	愛媛県（300 kg） 春 180kg 晩秋 120kg	原種の繭生産する農家と提携 して優良な蚕種を製造する。 蚕種は、春嶺×鐘月、錦秋× 鐘和をはじめ、あけぼの、青 熟等特殊な品種を含めて春 900 箱、晩秋 600 箱を製造。
H23. 3. 11	日本蚕糸絹業開発 協同組合国産シルク 研究会熊本部会	養蚕農家（6 戸）、鹿本農協、菊 池地域農協、熊本宇城農協、熊 本県蚕糸協会、碓氷製糸農協、 (株)カプト、番國(株)、(有)江島屋染 工場、(有)今井整理、絹小沢(株)、 (株)鶴屋	熊本県（580 kg） 春 440kg 晩秋 140kg	熊本県産繭から繰糸した生糸 100%を使用し、胴裏絹・長襦 袢地等を生産。同商品を熊本 市の百貨店「鶴屋」で販売、 「産地地消」をアピールする。
H23. 3. 11	上田蚕種の会 （代表企業：上田蚕種 株式会社）	養蚕農家（6 戸）、前橋市農協、 高崎市農協、(財)岐阜県蚕糸協 会、上田蚕種(株)	群馬県・岐阜県（500kg） 春 500kg	原種繭生産する農家と提携し て優良な蚕種を製造する。蚕 種は、春嶺×鐘月、錦秋×鐘 和等で、越年種 1,100 箱、不 越年種 1,200 箱を製造・販売 する。

承認日	提携グループ名	構成者（団体等）	対象繭生産地 （対象繭数量）	商品の特徴等 （商品、産地、蚕品種 etc）
H23. 3. 11	高原社蚕種の会 （代表企業：株式会社 高原社）	養蚕農家（6 戸）、みなみ信州農 協、ふじかわ農協、 <u>株</u> 高原社	長野県・山梨県（400kg） 春 400kg	原種繭生産する農家と提携し て優良な蚕種を製造する。蚕 品種は、春嶺×鐘月、錦秋× 鐘和等で、春 2,200 箱を製 造・販売する。
H23. 3. 11	富田蚕種製造所 蚕種の会 （代表企業：富田蚕種 製造所）	養蚕農家（12 戸）、 <u>富田蚕種製造 所</u>	福島県・宮城県（510kg） 春 250kg 晩秋 260kg	原種繭生産する農家と提携し て優良な蚕種を製造する。蚕 品種は、春嶺×鐘月、錦秋× 鐘和等で、春 1,400 箱、晩秋 1,200 箱を製造・販売する。
H23. 3. 11	関根商店 シルク工房の会 （代表企業：有限会社 関根商店）	富田蚕種製造所、養蚕農家（13 戸）、新ふくしま農協、 <u>関根商 店</u>	福島県（1,500 kg） 春 410kg 初秋 442kg 晩秋 648kg	生繭で高品質な真綿作りを行 い、真綿、背負真綿、吹留丹 前真綿、つむぎ糸、真綿布団 等の商品を製造し、結城紬、 シルク工房等へ供給・販売を 行う。
H23. 3. 11	HIKOTARO ☆入金真綿 工房の会 （代表企業：石川彦太 郎商店）	富田蚕種製造所、養蚕農家（13 戸）、新ふくしま農協、 <u>石川彦太 郎商店</u>	福島県（1,700 kg） 春 249kg 初秋 589kg 晩秋 862kg	生繭で高品質な真綿作りを行 い、真綿、背負真綿、吹留丹 前真綿、真綿布団等の商品を 製造し、真綿関係シルク工房 等へ供給・販売を行う。
H23. 3. 11	野田定吉商店シルク 工房の会 （代表企業：野田定吉 商店）	富田蚕種製造所、養蚕農家（13 戸）、新ふくしま農協、 <u>野田定吉 商店</u>	福島県（2,000 kg） 春 550kg 初秋 589kg 晩秋 861kg	高品質な真綿、背負真綿、吹 留丹前真綿、真綿布団等の商 品を製造し、結城紬、各シル ク工房等へ供給・販売を行う。
H23. 3. 11	近江真綿振興会 グループ協議会 （代表：北川茂次郎）	愛媛蚕種 株 、養蚕農家（8 戸）愛 媛たいき農協、えひめ南農協、 松澤製糸所、クリエイティブオ フィス 5Lira、 株 おおまえ、北川 茂次郎、原田誠祐商店、北川製 綿 株 、合資会社シルクジャパン	愛媛県（2,395 kg） 春 1,045kg 初秋 720kg 晩秋 630kg	生産履歴の明確な純国産繭・ 生糸を使用して製織した生地 を布団の側生地に使用し、中 綿は角真綿を手引きした純国 産真綿を使用した手造り 100%の純国産真綿布団を生 産する。シルク独特の光沢と 肌さわりに優れた製品として アピールする。
H23. 3. 11	宮坂製糸 シルク工房の会 （代表企業：株式会社 宮坂製糸所）	株 高原社、養蚕農家（4 戸）、長 野上伊那農協、 株 宮坂製糸所	長野県（1,585 kg） 春 275kg 初秋 920kg 晩秋 390kg	宮坂製糸所が全国各地のシル ク工房からの多様な原糸の要 望に応じて多様な、座繰り生 糸や特徴ある合糸・燃糸をした 原糸を製造し、販売する。ま た、シルククラフトの素材と して博物館等に繭を供給する。
H23. 3. 11	千葉県ブランド繭 推進協議会 （代表企業：株式会社 宮坂製糸所）	上田蚕種、養蚕農家（9 戸）、千 葉県蚕糸業協会、シルクカンパ ニー外村、 株 宮坂製糸所、全農 千葉県本部、丸三八シモト 株 、 下村ねん糸	千葉県（2,150kg） 春 650kg 初秋 600kg 晩秋 900kg	①誘導三眠蚕の繭を、シルクカ ンパニー外村が生繰り繰糸で 強度のある生糸にし、これを丸 三八シモトが燃糸・染色・加工 して、三絃糸を生産・販売。② シルクカンパニー外村が低速 で生繰りの座繰り生糸を製造 し、下村ねん糸が燃糸加工して 手織の作家等へ販売。③宮坂 製糸所が特徴ある座繰り生糸 にし、下村ねん糸で燃糸加工 して手織の作家等へ販売。

承認日	提携グループ名	構成者（団体等）	対象繭生産地 （対象繭数量）	商品の特徴等 （商品、産地、蚕品種 etc）
H23. 3. 11	松澤製糸組の会 （代表企業：松澤製糸所）	上田蚕種（株）、（株）南信社、愛媛蚕種（株）、養蚕農家（8戸）、グリーン長野農協、佐久浅間農協、信州諏訪農協、コスモス農協、丹後ひかみ農協、松澤製糸所、久保田織染工業（株）、（有）藤本、織処丸重、（有）シンセイ、（株）西脇商店	長野県・高知県・兵庫県（1,420 kg） 春 660kg 初秋 360kg 晩秋 400kg	松澤製糸所が中心となって、長野県の伝統的な先染織物である伊那紬・上田紬を、国産繭・生糸を使って製造・販売する提携システムを構築する。紬製造関係者は、自社工場において撚糸・染色・製織まで一貫生産することにより信州紬ブランド商品を確認する。
H23. 3. 11	純国産シルクを守る会 （代表企業：碓氷製糸農業協同組合）	養蚕農家（277戸）、代表農協（JA 碓氷安中）、群馬県（JA 碓氷安中、JA 前橋市、JA はぐくみ、JA たのふじ、JA 北群洪川、JA あがつま、JA 利根沼田、JA ぐんまみどり、JA 太田市）、宮城県（JA みやぎ仙南）、福島県（JA たむら、JA すかがわ岩瀬）、栃木県（JA なすの、JA うつのみや、JA はが野、JA おやま）、茨城県（JA 茨城中央、JA しおさい、JA やさと、JA なめがた、JA 常陸小川、JA 北つくば、JA 水戸）、千葉県（千葉県蚕糸業協会）、長野県（JA みなみ信州）、岐阜県（岐阜県蚕糸協会）、碓氷製糸農協、丸八生糸、深田商店、ミヤマ全織、渡豊工房、吉川商事、他関係者19社	群馬県、宮城県、福島県、栃木県、茨城県、千葉県、長野県、岐阜県 （80,050 kg） 春 29,440kg 初秋 16,810kg 晩秋 33,800kg	一般品種及び特徴ある蚕品種（春嶺×鐘月、錦秋×鐘和、新小石丸、ぐんま200、上州絹星、改良小石丸、あけぼの等）を契約農家（277戸）で飼育し、生産した繭は碓氷製糸所で徹底選繭したのち低速で繰糸して、蚕品種の特徴を活かした多様な生糸・撚糸を生産する。これらの生糸・撚糸を、個別の提携グループを構築できないが国産繭・生糸の純国産絹製品作りこだわっているシルク工房や製織業者に対し、これらを束ねる産地糸商等を通じて、あるいは個別のシルク工房、製織業者、産地問屋等に対し、需要に応じて弾力的に必要な生糸・撚糸を供給する。さらには、これらの関係者等が自らコーディネートして、特長ある純国産絹製品を生産・販売する。
H23. 3. 11 変更	千總純国産絹製品販売・商品開発グループ （代表企業：株式会社千總友仙工場）	養蚕農家（120戸）、富田蚕種製造所、上田蚕種（株）、青森県（JA 八戸）、岩手県（JA 新いわて、JA 花巻、JA 岩手江刺、JA 岩手ふるさと、JA 岩手南、JA いわい東）山形県（JA 山形おきたま、JA 山形、JA みちのく村山、JA 新庄もがみ、JA 庄内たがわ、JA 庄内みどり）宮城県（JA 南三陸）福島県（JA 郡山市、JA みちのく安達、JA そうま、JA ふたば）栃木県（JA 南那須）松岡（株）、加賀グンゼ（株）、（株）千總友仙工場、（株）千總、宮井（株）、（株）高島屋	青森県、岩手県、山形県、宮城県、福島県、栃木県、群馬県 （34,000 kg） 春 10,653kg 初秋 10,087kg 晩秋 13,260kg	「顔が見える生産体制」を構築して参加者全員がコストと品質の意識をもって、高級きものを中心とした純国産絹製品づくりに取り組む。製品に添付した、純国産絹マークの裏に QR コードにて生産履歴を（株）千總友仙工場の HP にて公開する。振袖、訪問着、付下等を中心として、光沢があり、しなやかな純国産きものを制作する。
H23. 3. 29	アルチザン （代表企業：株式会社マルシバ）	養蚕農家（2戸）、茨城みどり農協、碓氷製糸農協、芋田織物、（株）マルシバ、藤井絞（株）	茨城県（750 kg） 初秋 450kg 晩秋 300kg	細繊維蚕品種（蚕技研11号）の繭を碓氷製糸所で低速でかさ高性のある生糸に加工する。この生糸を丹後等で白生地に製織し、藤井絞（株）で染色加工し販売する。

承認日	提携グループ名	構成者（団体等）	対象繭生産地 （対象繭数量）	商品の特徴等 （商品、産地、蚕品種 etc）
H23.3.29	純国産絹糸を守る会 （代表企業：勝山織物株式会社）	養蚕農家（1戸）、みなみ信州農協、 <u>勝山織物</u> 株	長野県（335kg） 春 135kg 初秋 100kg 晩秋 100kg	細織度蚕品種（あけぼの）を使用し、塩蔵殺蛹して生織した生糸を使用して製織した白生地と帯を販売する。この商品は、軽く光沢に優れた商品となる。
H23.3.29	純国産絹振興会 “きぬなり” （代表企業：織匠万勝）	養蚕農家（17戸）、佐波伊勢崎農協、赤城橘農協、碓氷製糸農協、 <u>株</u> 日本加工糸小松工場、橋本常 <u>株</u> 、 <u>織匠万勝</u>	群馬県（4,970kg） 春 2,470kg 初秋 750kg 晩秋 1,750kg	低速でかさ高性のある生糸を使用して、上質の心地よい肌触りと温かみのある、オリジナル図柄・配色の着尺・帯を生産する。この商品を全国の専門小売店等で販売する。
H23.3.29	Silk So Good （代表企業：富士新幸株式会社）	養蚕農家（3戸）、花園農協、 <u>有</u> コバヤシ、松澤製糸所、石川彦太郎商店、 <u>富士新幸</u> 株、小野田染色、山梨県織物整理 <u>株</u> 、丹後織物工業組合、虎鬼狗 <u>株</u>	埼玉県（500kg） 晩秋 500kg	低速でかさ高性のある生糸を使用して、真綿布団の側地、布団カバーを製作する。真綿布団の中綿については、福島県伊達市保原にて、角真綿とし、富士新幸にて布団製造を行う。この商品は、虎鬼狗 <u>株</u> を経由し、各百貨店・布団専門店等で販売する。
H23.3.29	埼玉シルクの会 （代表企業：有限会社コバヤシ）	養蚕農家（15戸）、埼玉中央農協、ちちぶ農協、花園農協、 <u>有</u> コバヤシ、松岡 <u>株</u> 、 <u>有</u> 塩野屋、 <u>有</u> 山脇源平商店、ちちぶ銘仙館、NPO法人川越きもの散歩、日本刺繍紅会、 <u>株</u> キュービック、 <u>株</u> ポケッタうさぎ	埼玉県（2,500kg） 春 420kg 初秋 210kg 晩秋 1,870kg	いりどり繭等を使用し、①こしやはりのある摩擦に強い優れた着物、②風呂敷、③抗菌効果を有する真綿を使用した真綿布団、④セリシンを配合した化粧品石鹸、⑤セリシン配合化粧品等の商品を製造・販売する。
H23.3.29	松澤製糸所 純国産シルクの会 （代表企業：松澤製糸所）	養蚕農家（51戸）、いるま野農協、埼玉中央農協、ちちぶ農協、埼玉ひびきの農協、ふかや農協、花園農協、 <u>有</u> コバヤシ、 <u>松澤製糸所</u> 、 <u>有</u> 梅徳機業場、高貞 <u>株</u> 、大江繊維 <u>株</u>	埼玉県（13,960kg） 春 5,610kg 初秋 4,200kg 晩秋 4,150kg	埼玉県産繭を用いた生糸を、①丹後で製織・販売（白生地）する。②十日町で燃糸加工し、先染め織物である十日町の原糸として販売する。③京都の企画販売会社は、健康商品（ソックス、スパッツ、インナー等）を製造し、それぞれ各商品群を、産地問屋（白生地問屋、紬問屋等）や一般消費者等に販売する。
H23.3.29	奄美島絹振興研究会 （代表：奄美島絹推進協議会）	養蚕農家（8戸）、 <u>奄美島絹推進協議会</u> 、碓氷製糸農協、 <u>株</u> 夢おりの郷、 <u>株</u> みなみ紬、 <u>株</u> アーダン	鹿児島県（100kg） 晩秋 100kg	奄美大島で養蚕を復活させ、この繭を使用して、本場大島紬、帯、化粧品等特徴ある商品を製造・販売する。なお、平成22年度に桑園造成を行うため、平成24年度（繭量350kg）、25年度（繭量750kg）と増加する予定となっている。

（注）千總純国産絹製品販売・商品開発グループは、H 22.11.19 に承認されており、H 23.3.11 に産地追加で変更しておりますが、これを同一グループとしております。

「琵琶湖で育まれた純国産絹弦で提携グループを確立」

丸三ハシモト株式会社

専務取締役 橋本英宗

1 邦楽器系の産地

滋賀県長浜市木之本町。琵琶湖の北西に位置する、かつての北国街道沿いの宿場町であります。もともこのあたりは、生挽きの特殊生糸の産地であり、辺り一面桑畑の広がる場所でした。現在ではその面影はなく、糸取りをされる場所は数軒ほどになってしまいました。丸三ハシモト株式会社はその貴重な生糸を使い、邦楽器の糸（邦楽器業界では絃のことを“糸”と呼ぶ）に仕上げております。

初代、橋本参之祐が大阪でこの仕事を覚



〈写真1〉奥琵琶湖大観 戦国の決戦地賤ヶ岳の山頂から見下ろす琵琶湖。絶景です。

えて帰り、滋賀県湖北地方には良質の原糸が近くにあったことや気候的に雨が多く、湿潤なことにより水に浸す撚糸がし易いことで始めた商売で、創業1908年、今年で103年目となります。最近ではテレビや新聞などメディアでも広く注目して頂いており、絹弦のPRにも努めております。

邦楽器の糸は主に、三味線、琴、琵琶、胡弓、沖縄の三線などを製造していますが、三味線を一つとっても非常に種類が多く、長唄、地唄、津軽、清元、常磐津、文楽などそれぞれにあわせた糸を製造するため、糸の太さや撚りの方法、硬さや品質ランクなどで弊社が製造する糸の種類は350を超えます。特にそこまでの種類になる理由としてはお客様からの要望の多様化によるもので、例えば通常の規格の絃の太さに30デニール（繭の糸10本程度）の生糸を一本足すか足さないかというほんの少しの太さの違いでもプロの演奏家はそれを見極められ、よりよい音色への追求をなされます。特に絹糸の音色は万感を表すのに最適

で、日本の四季や情緒を音色で表現するには欠かせないものであると思います。

原料として春繭の糸のみを使うのは糸に粘りがあって、音の艶がよいとされるからであります。繭は現在滋賀県で生産されていないため、岐阜県や千葉県より調達します。岐阜県的美濃加茂地方には今でも養蚕農家が20戸ほどあり、丹精込めて育てら



〈写真2〉お琴



〈写真3〉三味線

れた繭は岐阜県蚕糸協会を通じ長浜市木之本町の大音地区にある大音特殊生糸組合により製糸されます。邦楽器の糸の原糸は生挽きであるのが絶対条件となります。生挽きとは蛹をころせるギリギリ最小限の熱を加えて生糸を「生のまま」保つことであり、乾燥させて長時間保存できる「乾繭」とは違い、セリシンというたんぱく質を大事に残す製法であります。しかし長期間保存できないため、繭から生糸に仕上げるには時間との勝負となり、春繭が出来上がる6月中旬から7月下旬にかけて糸取りが行われます。出来た生糸はその後一括購入し、一年をかけて使っていきます。生挽きの糸に多量に含まれるセリシンが糸にハリと艶を持たせ、上質な邦楽器糸となります。

もともと大音地区では邦楽器用の生糸を作っていて歴史を辿れば平安時代にもなり、当時の都である京都に大音地区で出来た絹糸製品を献上したところ非常に評判で、その後1000年もの間この地域に根ざした手仕事となりました。

昭和41年にはこの地方の糸取りと木之本町周辺を舞台とした水上勉氏の小説「湖の琴」がヒットし、広く知られるようになり、現在では大音特殊生糸組合は文化庁選定保存技術にも認定されていますが、残すところ佃三恵子さんが代表をしている一軒のみとなってしまいました。同じ長浜市内、旧浅井町におられる西村英雄氏も同じく糸取りとして頂いており、邦楽器用の特殊生糸の仕入れ先はそれら数軒となっているの



〈写真4〉座繰り製糸

が現状であります。それでは次に邦楽器糸はどのようにして作られているかご説明いたします。

2 邦楽器糸の製造

邦楽器糸の製造方法は未だに手作業がほとんどで、大まかに14工程ほどに分かれます。順番に紹介していきますと、まずは仕入れた生糸を小枠に巻きかえる①繰糸、糸に定められた長さで結びをつける②寸法取り、扱いやすいように生糸を五本集めて一つに巻きかえる③合糸、作る邦楽器糸の太さを目方で決める④目方あわせ、太さに見合った回転数で撚りをかける⑤撚糸、ウコン粉で染める⑥染色、餅糊で煮込む⑦糊煮込み、糸を引張り柱に掛けて自然乾燥する⑧糸張り、乾燥、糸に残った節を削り取り、不良場所に印をつける⑨節取り、選別、漉した餅糊で表面をコーティングする⑩糊引き、製品の寸法に切断する⑪切断、小さく巻きまとめて和紙で留める⑫糸巻き、紙付け、その後梱包し出荷となります。

そのほとんどが手作業となりますが、中でも一番職人技として知られるのが「独楽撚り」作業で、これは糸の先に昔ながらの独楽をつけそれを撚るものであります。錘の重力で自然に引張りながら撚りあげることによって生糸に必要な無理な力やスピードをかけない。この撚り方でないと駄目だというプロの演奏家も多く、作業の効率を考えれば良いことはないが、音の世界は合理的、効率的にすることが必ずしも良いものになることはない。全ては音色が命で、音への追求をすればおのずと絹糸の邦楽器糸でないと、ということになります。「音」というきわめて感覚的、抽象的なものを理解し、それを糸というカタチに置き換えるのは容易なことではありませんが、そこに創作意欲が湧くもので、お客様と一緒に研究開発していくことが仕事の励みとなります。

3 邦楽器糸の現状と今後

邦楽器糸は古くから絹糸を使います。しかし、戦後ナイロンやポリエステルが普及し、絃もそれに替わるものも出てきました。特に琴糸は耐久性の観点から現在ほとんどがポリエステル製で、また津軽三味線などは早弾きが流行りそれに耐えるため化学繊維が出回るようになりました。

最近、財団法人大日本蚕糸会のご協力と聖徳大学教授の徳丸吉彦先生のご尽力で絹の琴絃復活に向けたプロジェクトが進んで



〈写真5〉独楽撚り。熟練の技が要ります。



〈写真6〉糸張り作業、ウコンで染色し、餅糊煮込みの後、乾燥させている状況



〈写真7〉糸巻きの様子、糸と竹筒それに和紙を用いて一本一本手作業で行います。

います。弊社も微力ながら協力させて頂いておりますが、やはり日本の音は日本の絹でないと奏でられないところもあります。手仕事であり、多品種少量生産ができる社内の環境は邦楽器以外の可能性も同時に考え、今現在新商品開発に力を注いでおります。

またこのほど大日本蚕糸会が進めておられる蚕糸・絹業の提携グループも2グループ確立することができました。

○「邦楽器糸用特殊生糸を守る会」

(岐阜県産繭)

○「千葉県ブランド繭推進協議会」

(千葉県産繭)

今までは養蚕農家との交流はほとんどなかったのですが、今後活発な技術交流を深めることで、さらに良い商品づくりに繋がると確信しております。それぞれのグループが出来る限り知恵を絞って、国産繭の存続更には増産できるよう精進していければと考えております。

先ほども申しましたが、弊社の強みは①絹を原料にすること、②撚糸業であること、③手作業により多品種少量生産が可能であることです。今までは邦楽器業界しか知らなかったのですが、今は絹絃の新たな可能性を模索し、その結果昨年にはヤマハミュージックトレーディング株式会社と提携し、邦楽器糸の伝統工法を活かし、絹糸に撚りかけたウクレレ弦（丸三ストリングス）を全国に向けて発売することに成功



〈写真 8〉 琴糸



〈写真 9〉 三味線糸（長唄用）



〈写真 10〉 新商品（純国産絹弦によるウクレレ弦）
の宣伝用パンフ

しました。ウクレレとはハワイの楽器。通常はナイロン弦などを使う中で、絹弦を発売したことに対する市場の反応は非常に良好でした。まず絹で弦が出来るのかということから始まり、一番驚かれたのはその音色です。音に張りがあるが、まろやかで聞き心地がよいとの評価を頂きました。撚りによるところの表面の手触りはナイロンとは違い違和感を覚える方もいましたが、「弦が違うだけでこれだけ音が違うのか」と新商品に興味津々でした。出荷量はまだまだありますが、絹弦の可能性を感じることのできる経験となりました。

今後は日本国内の市場のみならず海外にも目を向け、海外（現在は東アジアを中心に）での弦楽器に絹弦を提案できるよう準備を進めております。「純国産絹弦を世界へ！」これからの正念場です。

蚕糸・絹業の提携グループが確立したことで、国産繭生産における契約の観点から新たな需要の生み出さなければならず、さらなる商品開発が必要不可欠となります。高品質な純国産絹弦を広くPRするにはさらに商品開発を進め、絹糸の活用法を増やすと共に、邦楽器業界更には国産絹糸産業の振興に努めていきたいと考えております。

はしもと ひでかず

丸三ハシモト株式会社 専務取締役

生練り生糸や顔の見える特徴ある商品を作る 「東京シルクの会」

東京シルクの会

事務局 内海 康治

生い立ち

東京シルクの会のきっかけは、「東京都内でも養蚕をやっている！」ことを知ったことから始まりました。私は、東京で呉服屋（東京都千歳船橋）を長年やっていたが、その事実を知ったのは平成9年の春でした。奇しくも、翌年には、蚕種製造について国の管理から離れ（法律改正）、誰でも蚕を自由に交配、飼育ができるようになった頃です。

当時、私の店内で一反分の蚕 3000 頭を飼育しました。このことが新聞などで報道され、「多摩シルクライフ 21 研究会」の方々が弊社に来られ、交流が始まったことが出逢いとなりました。そして、昨年、大日本蚕糸会の提携グループに参入させていただく機会に、多摩シルクライフ 21 研究会のブランドシルク事業部を母体とする「東京シルクの会」を正式に発足させて現在に至っています。

私たちの使命感

昨年の平成 22 年度をもって、全農を経

由した繭代の補てん事業は終了し、本年度から新たな養蚕事業の始まりとなりました。

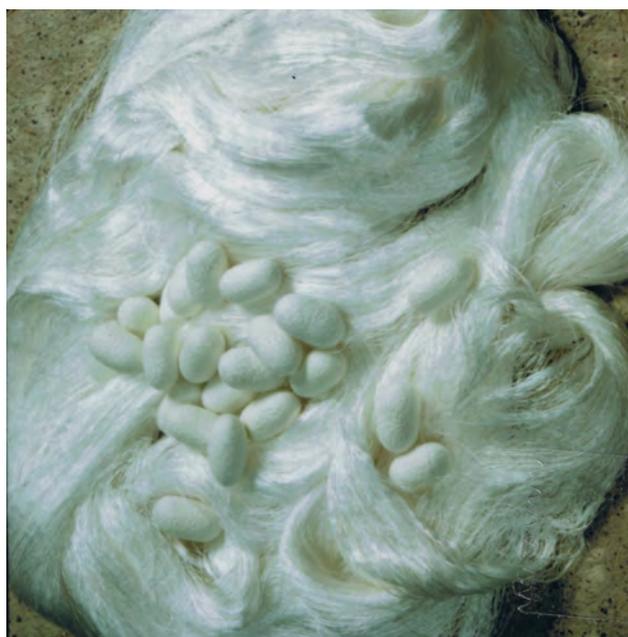
私たちの提携グループ「東京シルクの会」は、下記の使命感を持って、行動しようと考えています。

○近代日本を支えてきた絹—シルク—は、養蚕という農業、製糸・染織という工業そして販売の流通業など全ての産業を育ててきた。

○文化として、歴史として このすばらしさを、後世に伝えていかねばならない。しかもそれは世界を代表する大都市—東京—にあるのだ。



うれしい繭の出荷風景



「東京シルク」の作る繭と生糸

仲間の出逢い

「少しでも来年よりもよい繭を、糸を、布を作りたい。その作り手のところをモノと一緒に使い手に伝えてゆきたい。」という気持ちを持っています。「東京シルク」はかかわる者同士が、互いに経糸に、緯糸になり、その時々紡ぎだし、織りなす「布」

です。たくさんのお出逢いと支えあい、いたわりあいがあって今日まで歩き続けてこられました。

東京シルクを支えてくれる「仲間」（写真参照）がいて、会も成り立っています。

私たちの商品の特徴

作り手、売り手の顔が見え、作り方が丁

「東京シルク」繭を作っている人たち



佐藤充則さん（町田市）



嶋野幸男さん（町田市）



浅野兼次郎さん（武蔵村山市）



荒井晴生さん（八王子市）



長田誠一さん（八王子市）



小谷田昌弘さん（八王子市）



内野敏男さん（武蔵村山市）

寧で、商品全てに「安全」「安心」の責任を取っていくこと、が特徴といえます。

愛情をこめ、地球や環境に配慮した生産方法をとっています。現行品種は農家にとっても、長年親しんだ品種で、それを製糸方法で特徴をだすなど、育てやすく希少価値の高いものをめざしています。具体的には、まず乾燥しない生のままの繭を、緊張を与えないように極めてゆっくりした速度で繰っています。

そのため、純白で透明感があり、美しい艶とふくらみが生まれます。さらに染めてみるとその奥光りする発色のよさと風合いに驚きます。また碓氷製糸で生繰り製法で毎年繰糸をしているのは、「東京シルクの会」の生糸だけです。



機屋の大原織物（八王子）大原さん

おわりに

東日本で起きた大震災で生活を、農業を、仕事を続けたくとも続けられない人々が多くいます。こういう時期にこのような仕事ができることに、心から感謝したいと思います。ただただ、感謝です。

これからも、じっくりと時間をかけて、「東京シルク」のよさを伝えていこうと思っています。

ともに歩んでくれる仲間を作りながら。



東京シルクが作る訪問着

うつみ やすはる

東京シルクの会 事務局

(有) 内海呉服店 店主

平成 22 年度第 7 次純国産絹マーク使用許諾状況

(新たに風呂敷を認定)

社団法人 日本絹業協会

純国産絹マークの平成 22 年度第 7 回審査会を 3 月 30 日 (水) に開催しました。今回、15 件 (うち、新規の申請 3 件、生産履歴の追加申請が 1 件、製品・数量の追加申請が 6 件、数量の追加申請が 3 件、製品の追加申請が 1 件、生産履歴・数量の追加申請が 1 件) から申請があり、審査委員会で審査した結果 15 件に対し、4 月 6 日 (水) 付けで純国産絹マーク使用許諾する旨を通知しました。

純国産絹マーク使用許諾者は次の 15 件です。

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (提携養蚕農家・企業等)
有限会社明石屋 代表者名 宮川 晃 東京都調布市上石原 1-39-1 (担当者: 宮川 晃) TEL 042-482-4832 表示者登録番号 145	後染反物 (色無地) 帯地 (後染)	10 反 10 本	制作企画 (株) 丸上 繭生産 茨城県南地域養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 三共織物 (株) 染 色 小林染工房、(株) 菱健、 (株) 路考、きもの和楽 (株) 貴久樹
宮井株式会社 代表者名 宮井 宏明 京都市中京区室町通六角下 鯉山町 510 番地 (担当者: 宮井宏明) TEL 075-221-1076 表示者登録番号 146	和装小物 (風呂敷)	800 枚	繭生産 岩手県北部養蚕農家 製 糸 松岡 (株) 製 織 丸仙 (株) 染色加工 自社
株式会社ナカノ 代表者名 中野 剛至 大分県大分市大道町 1-6-15 (担当者: 中野剛至) TEL 097-544-0308 表示者登録番号 147	後染反物 (小紋) (変一越) (紋意匠)	30 反 30 反	制作企画 田中種 (株) 繭生産 J A 碓氷安中管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 南久ちりめん (株)、芝井 (株) 染 色 高田勝 (株)
(生産履歴の追加) 田中種株式会社 代表者名 田中 隆 大阪市中央区南本町 2-1-8 創建本町ビル 3 F (担当者: 田中 隆) TEL 06-6261-2091 表示者登録番号 060	後染反物 (小紋) (紋意匠)	10 反	繭生産 J A 碓氷安中管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 芝井 (株) 染 色 高田勝 (株)
(製品・数量の追加) 日本蚕糸絹業開発協同組合 代表者名 小林 幸夫 群馬県高崎市間屋町 3-5-3 (担当者: 土井芳文) TEL 027-361-2377 表示者登録番号 021	胴裏絹 (酵素精練) (パルーション加工) (新小石丸) 帯地 (漆糸 5% 以上) (冬物) (夏物)	1,200 枚 2,000 枚 120 枚 100 本 100 本	制作企画 絹小沢 (株) 蚕品種 新小石丸・ぐんま 200、世紀二一 繭生産 群馬県内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 (有) 長島織物、(株) カブト、 佐啓産業 (株) 精練加工 (有) 江島屋染工場、(株) パルーション 染色加工 小池染色 (有)

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (提携養蚕農家・企業等)
(数量の追加) 株式会社竹田嘉兵衛商店 代表者名 竹田 浩己 名古屋市緑区有松 1802 番地 (担当者: 竹田浩己) TEL 052-623-2511 表示者登録番号 1 2 6	胴裏絹 (酵素精練)	300 枚	制作企画 日本蚕糸絹業開発 (協) 繭生産 群馬県内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 (株) カブト 精練加工 (有) 江島屋染工場
(数量の追加) 株式会社荒井呉服店 代表者名 荒井 芳枝 東京都八王子市八日町 9 番 8 号 (担当者: 荒井芳枝) TEL 042-625-5291 表示者登録番号 0 8 1	胴裏絹 (酵素精練)	120 枚	制作企画 日本蚕糸絹業開発 (協) 繭生産 群馬県内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 坪金工業 (株) 精練加工 (有) 江島屋染工場
(製品の追加) 装いの道株式会社 代表者名 山中 英靖 東京都千代田区麹町 4 丁目 4 番 1 号 (担当者: 山中英靖) TEL 03-3230-3010 表示者登録番号 0 7 0	後染反物 (本藍染) (江戸更紗) (京友禅)	20 反 30 反 40 反	蚕品種 いろいろ 繭生産 J A ちちぶ管内養蚕農家 製 糸 松岡 (株) 製 織 (有) 酒井 染 色 (株) 二葉、矢野藍秀、(有) 酒井
(数量の追加) 株式会社 平田組紐 代表者名 平田 晃 東京都豊島区長崎 4 丁目 12 番 2 号 (担当者: 平田 晃) TEL 03-3959-2914 表示者登録番号 0 9 7	帯締 羽織紐 (男物) 羽織紐 (女物) 帯締 (金銀糸 5% 以上)	10,000 本 1,000 本 1,000 本 7,200 本	企 画 (有) いのうえ 蚕品種 ぐんま 2 0 0 繭生産 J A 多野藤岡 管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 染 色 山金商店 組加工 自社
(製品・数量の追加) 株式会社猪井 代表者名 猪井 一之 新潟県長岡市柏町 2 丁目 6 番 7 号 (担当者: 猪井一之) TEL 0258-32-4927 表示者登録番号 1 0 1	後染反物 (色無地) 帯地 (後染)	20 反 20 本	繭生産 茨城県南地域養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 三共織物 (株) 染 色 小林染工房、(株) 西原
(製品・数量の追加) 株式会社たちばな 代表者名 近 文雄 新潟県新発田市中央町 1 丁目 2 番 13 号 (担当者: 近 文雄) TEL 0254-23-5288 表示者登録番号 1 0 2	後染反物 (色無地) 帯地 (後染)	20 反 20 本	制作企画 (株) 猪井 繭生産 茨城県南地域養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 三共織物 (株) 染 色 小林染工房、(株) 西原
(製品・数量の追加) 株式会社丸富美 代表者名 丸山 忠一 新潟県十日町市川治 1812 番地 6 (担当者: 丸山忠一) TEL 025-757-1588 表示者登録番号 1 0 3	後染反物 (色無地) 帯地 (後染)	20 反 20 本	制作企画 (株) 猪井 繭生産 茨城県南地域養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 三共織物 (株) 染 色 小林染工房、(株) 西原

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (提携養蚕農家・企業等)
(製品・数量の追加) 株式会社絹もの屋まつなが 代表者名 松永 一義 新潟県三条市横町一丁目9番地14号 (担当者:松永一義) TEL 0256-32-0101 表示者登録番号 104	後染反物 (色無地) 帯地(後染)	20反 20本	制作企画 (株)猪井 繭生産 茨城県南地域養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 三共織物(株) 染 色 小林染工房、(株)西原
(製品・数量の追加) 有限会社金屋 代表者名 矢澤 哲也 新潟県上越市稲田2丁目2番5号 (担当者:矢澤哲也) TEL 025-523-2789 表示者登録番号 115	後染反物 (色無地) 帯地(後染)	20反 20本	制作企画 (株)猪井 繭生産 茨城県南地域養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 三共織物(株) 染 色 小林染工房、(株)西原
(生産履歴・数量の追加) 株式会社銀座もとじ 代表者名 泉二 弘明 東京都中央区銀座4-8-12 コチワビル3階 (担当者:青江良和) TEL 03-5524-3222 表示者登録番号 011	白生地 (長襦袢) (着尺) (帯地) お召し 大島紬 結城紬 染織作家作品 (紬着尺・帯地) 白生地 (八掛) 染織作家作品 (男女帯地) (着尺)	54反 18反 25反 45本 20本 40反 40反 12反 5点 8点 30枚 12点 12点 5反	蚕品種 プラチナボーイ 繭生産 千葉県、茨城県内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 真綿掛 佐藤米子 糸取り 水野商店、矢野まり子、 山岸幸一 製 織 江口機業(株)、(有)坪井商店、 田勇機業(株)、南久ちりめん (株)、(株)榎屋高尾、(有)益 染 織 田織物、添野重子ほか 矢野まり子、山岸幸一 下井つむぎ庵、工芸藤山 平山八重子

支援センター活動日誌No. 18 (H23.3.1 ~ H23.4.30)

年月日	活 動 内 容 等
23.3.3	第 10 回事業推進委員会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
23.3.4 ~ 23.3.5	蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業説明 (茨城県)
23.3.7 ~ 23.3.9	蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業説明 (京都府、滋賀県)
23.3.23	蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業説明 (山梨県)
23.3.29	第 11 回事業推進委員会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
23.3.30	(社) 日本絹業協会による純国産絹マーク審査委員会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
23.4.8	蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業に係る純国産絹マークの管理実態調査 (東京都)
23.4.12 ~ 23.4.13	蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業に係る純国産絹マークの管理実態調査 (京都府)
23.4.25	(社) 日本絹業協会による純国産絹マーク審査委員会 (東京都有楽町 蚕糸会館)



「繭工房華美が製作・販売する純国産うぶ着 (ジャパンシルクセンターにて展示)」

和装振興のための『西陣織販売テキスト』

西陣織工業組合

専務理事 碓山俊光

先ず、去る3月11日に発生した東日本大震災で、心ならずも多くの貴い人命が奪われましたことに、衷心より哀悼の意を表し、お見舞い申し上げます。

また、その後の原発事故の影響も重なり、計画停電・節電や水・農作物の摂取制限を受けながら避難生活を強いられておられる方々には、一日も早くこれまで同様の日常生活を取り戻されますことを、被災地にあっては一日も早く復興されますことを、心からお祈り致しております。

被災地には福島、栃木、結城、群馬、桐生、十日町、小千谷等々、西陣産地同様織物を産する多くの関連（織物）産地があります。いわば我々の同志の多くが被災されたわけです。また、東日本は最大級の和装消費地であり、百貨店、小売店の多くが被災されており、心を痛めております。西陣織工業組合は早速復興を祈願し、義援金を贈ることを決議。同時に、中央（日本絹人織織物工業組合連合会等）にも、義援金を含めた支援活動を採用よう働き掛けました。

皆様方の心からの微笑・お元気な姿を拝見できる日が一日も早く訪れることを祈願して止みません。

さて、今回の〈シルクレポート〉のテーマは「和装振興のための西陣織販売テキスト」であります。そこで、西陣産地内で和装振興を目的に制作・発行したテキスト2・3種を紹介いたします。

直近では、西陣帯地青年会（安田建太郎第55代幹事長）が発行した『西陣織販売教則本・初級』があります。

これは本年、創立55周年を迎えた同青年会が2月2日、京都市内のホテルでその式典を開催し、和装振興の一助にと『同教則本』を制作・発刊したことを発表・披露したもので、これを中心に西陣織工業組合が既に発行し、継続配布している『西陣 おび・なび』、また、『西陣織「販売指導員」テキスト』も併せて紹介することにします。

＜西陣帯地青年会誕生の背景＞

西陣帯地青年会は、昭和31年9月1日に誕生しました。

これ以前は、親睦や研究、いわゆる交流と勉強を目的とした小人数のグループが在り、そのグループ単位での活動でした。

昭和28年、国は＜織物消費税導入＞を目論みました。当然、全国の和装産地は猛反対。その狼煙は熱く燃え盛り、全国各地で反対決起集会が開かれ氣勢を挙げました。西陣でも＜織物消費税反対全西陣決起大会＞を開催。市中デモを実施するなど、その運動を大展開しました。

結果、天下の悪法といわれた＜織物消費税導入案＞は、翌29年廃案となりましたが、この時反対運動の実質的な活動の中心となったのが青年層。彼らは、この活動を契機として個々の交流・親睦を深め、青年会を組織化・結成しようとする気運を高め、西陣帯地青年会を誕生させたのです。

ちなみに、この西陣帯地青年会の誕生は、後に発足する西陣織ネクタイ青年会（昭和33年4月1日；現・西陣洋装青年会）、西陣金襴青年会（同36年11月7日）の誕生に繋がり、西陣に生きる青年層の団結と連帯意識が高まっていったのです。

＜西陣織販売教則本・初級＞

この『販売教則本』（A4版・全46頁）は、非常に厳しい状況が続く和装（帯地）業界（表・グラフ参照）にあって、「青年として『今どうするべきか？』、そして『未来はどうあるべきか？』を真剣に考え、呉服に携



わる若手の底上げこそ新たな需要を生み、活性化に繋がる」（同教則本あいさつから）との思いで、同青年会創立55周年を記念して制作されたものです。

同本の配布先は小売店や問屋など。すなわち、呉服の販売に携わる方々に対してのもので＜和装（帯）に関する正しい“いろは”＞を理解・習得してもらい、その知識を消費者に伝え・説明し、（消費者に）理解・納得していただく。以て、販売（需要）増進に繋げていくことが主眼です。

そのため、その内容は、

- ①帯と西陣の歴史
- ②帯のできるまで（生産工程）
- ③帯の形態と種類
- ④製織技法

⑤帯の吉祥文様入門

⑥帯屋の語り・コラム

の各章に分け、平易に解説・説明されています。

中でも、②の生産工程では、蚕の話から始まり最終の製織工程までの全工程を写真付きで網羅。詳細かつ平易に解説しています。とくに、金銀糸・箔が出来上がるまでの工程は、興味を引くものがあります。

さらに、⑤の帯の吉祥文様入門では、この時期いささか不謹慎かと思いますが、＜松竹梅＞＜菊紋＞＜桜紋＞＜蜻蛉（とんぼ）＞＜鳳凰＞＜龍＞など、おめでたいとされる動・植物の柄（文様）を抜粋し、その理由・由来・エピソード等々写真付きで分かりやすく解説しています。

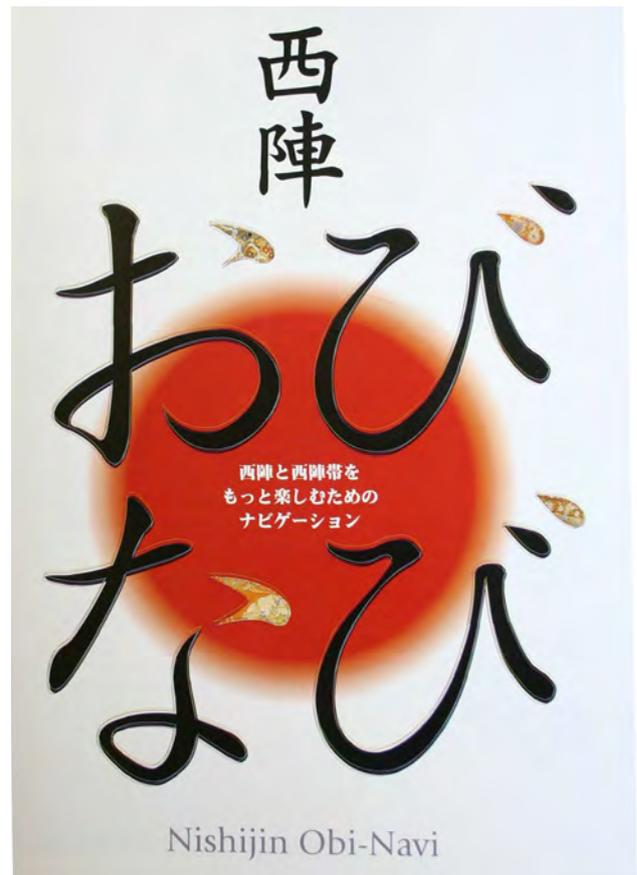
以上、同教則本は文字通り呉服販売員必見、バイブルに値するテキストであるといえます。

＜西陣 おび・なび＞

『西陣 おび・なび』（B 5 版・全 22 頁）は、京都府産地活性化事業の一環で、西陣織工業組合が＜西陣と西陣帯を知るための入門書＞として制作・発行したものです。

そのため、内容は西陣の歴史に始まり、生産工程はもとより西陣の街並み（神社仏閣・飲食店等）までも含めて紹介。また、帯の種類や技法、サイズ、結び方、着用後の手入れの仕方までを解説。正に、「西陣と西陣帯をもっと楽しむためのナビゲーション」（案内書）というものです。

＜西陣織「販売指導員」テキスト＞



『同テキスト』（A 4 版・全 75 頁）は、西陣織「販売指導員」検定試験（平成 17 年から開始）の受験者用テキストとして制作・発行したものです。そのため、西陣織に関する＜歴史＞＜技＞＜製品＞＜ブランド＞＜文化性＞等々、多岐にわたる知識を習得いただくための内容（資料）となっております。

受験資格は、百貨店・小売店・商社等で呉服を販売する販売歴 3 年以上の方。「西陣通度」に長けた方を合格者として認定します。

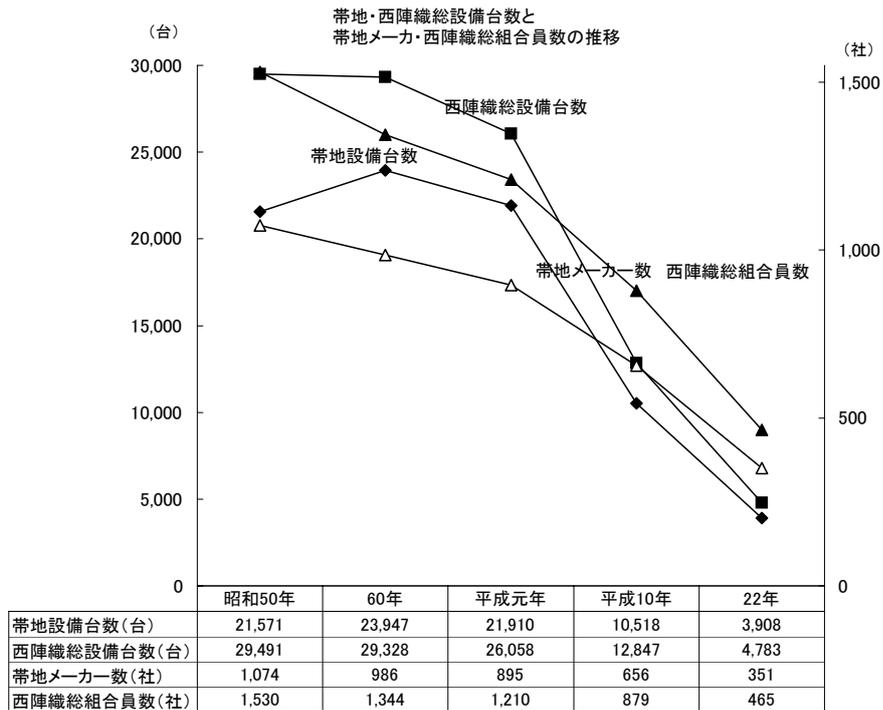
認定証取得者は現在までに 130 人弱を数え、彼らはいずれも呉服の第一線の現場で優秀な販売員として活躍していると聞きます。すなわち、テキストで身に付けた知

識を消費者に伝え・説明し、販売（需要）増に繋げているわけです。やはり、正確なこうした知識を持っているかないかで、消費者に信頼感を与えられるか否か、販売に繋がるか否か、雲泥の差がでるようです。

<結びに>

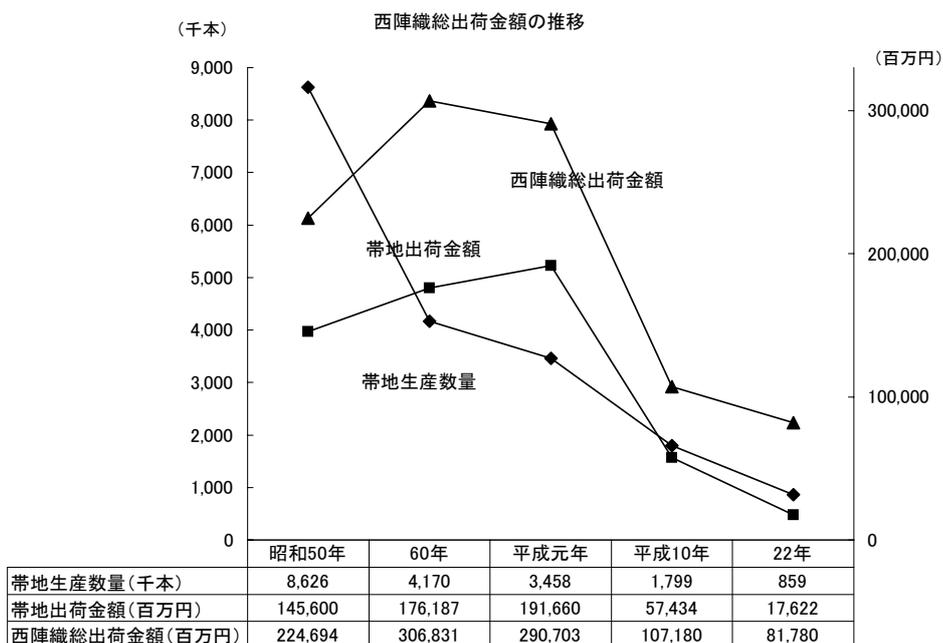
現下、表・グラフでお分かりのように西陣産地、とりわけ帯地を中心とした和装品は、非常に厳しい状況にあります。

この状況を打破するために西陣織工業組



(出所) 昭和50・60・平成元・10・22年版の西陣生産概況より作成。

(注) 「帯地メーカー」とは、西陣織工業組合加入（組合員）の帯地の織元（織屋）を指す。



(出所) 昭和50・60・平成元・10・22年版の西陣生産概況より作成。

合は、和装振興を目的として数々の施策を展開しています。

その一つが今回のテーマである<テキスト>類の制作・発行です。当組合は昭和の時代から体裁の変更はあったものの、一貫して西陣の文化性をもふんだんに盛り込んだパンフレット<西陣>(全33頁)を制作・発行し続け、学生さんの学習教材用に、また、一般人(消費者)へのPR用に、そして、販促活動用に活用・配布してきました。

同時に、時々の社会環境・需要動向、組合事業・施策等に鑑み、それに沿ったテキスト類を随時制作・発行し、和装振興の一助に資して参りました。

昨今、パソコンが常態化し、あらゆる情報が容易に入手できますが、当組合は今後

とも不特定多数はもとより、的を絞った特定多数を対象にした読みモノとして、活字媒体を活用したテキスト類を制作・発行し、産地PRを、また、和装振興を図っていきたいと考えております。

同様に、次代を担う青年層にその感覚・感性を大いに発揮していただき、既述のような取組み・挑戦を続け、西陣産地に活気を与え活性化させてくれることを期待するものです。このことは、日本の染織文化を守り発展させることに繋がると考えるからであります。

なお、西陣に関する情報等々を、ホームページ(<http://www.nishijin.or.jp/>)で提供していますので、こちらの方もご覧下さい。

いかりやま としみつ
西陣織工業組合 専務理事

シルク業界と産業遺産の保存・活用（後編） －文化財としての日本の絹－

東京産業考古学会

副会長 平井東幸

（前号から引続いて）

4. 経産省の「近代化産業遺産」とシルク関係産業遺産

全国のシルク関係の産業文化財を具体的に知るには、経済産業省が平成 19、20 年度に作成した「近代化産業遺産群 33」がまことに便利である。これは同省が地域活性化対策の一環として取り上げたもの。したがって産業遺産の保存・保護を第一の目的にしているわけではない。因みに、文化財保護を担当しているのは文部科学省の文化庁である。

公募制で寄せられたものから有識者が選定したもの。その特徴は①産業史や地域史を軸にして「ストーリー」で「群」としてまとめていること、②建造物だけでなく機械、製品や文書も対象にしていること。つまり、不動産だけでなく動産も対象にしていることだ。

そこでシルク関係では、全国の産業遺産が次の三つのストーリーで取り上げられており、それぞれの都府県名と認定件数は次の通りである。

①「上州から信州そして全国へ」近代製糸業発展の歩みを物語る富岡製糸場などの

近代化産業遺産群」・・・・・・群馬、埼玉、長野、京都、高知、徳島の 51 件

②「優れた生産体制等に支えられる両毛地域の絹織物業の歩みを物語る近代化産業遺産群」・・・・群馬、栃木、東京の 16 件

③「羽二重から人絹へ」新たなニーズに挑み続けた福井県などの織物工業の歩みを物語る近代化産業遺産群」・・・・福井、石川の 8 件

以上に他のストーリーに含まれているシルク関係の産業遺産を含めると、77 件ののぼり、経産省が認定した全国総計の 575 件の 13%強を占めている。

そして、産業遺産の種類をみると、建造物が圧倒的に多い。その内訳は、工場、事務所、倉庫、寮、住宅、校舎、公園等であり、また、機械としてはジャカード機（上野・科学博物館）など、さらに織物等の製品もある。いずれもかつて繁栄を誇った時代を象徴する文化財である。

5. 岡谷は産業文化財の保存活用の好事例

蚕糸・絹業の歴史的な建造物、機械、製品を活用した地域活性化への取り組みが全国的にも活発である。たとえば、群馬県桐

生市や京都府綾部市（ゲンゼ（株）のゲンゼ博物苑が中核）では企業と行政が一体となって取り組んでいる。ここでは、紙幅の制約もあるので、長野県岡谷市の事例を紹介しておこう。

同市はシルク産業遺産の保存活用に熱心な自治体の典型である。もとより、わが国最大のシルク産業の集積地であった歴史が背景にあることは言うまでもない。

上記4で述べた経産省が認定した近代化産業遺産群のなかで岡谷市内では表の15件が認定を受けた。同市は明治大正とわが国最大の製糸業集積地として世界に名を知

られただけに、シルク関係の貴重な産業遺産が今なお多数保存されているのは、まことに大慶である。もっとも、先年、諏訪倉庫の煉瓦建築群が保存活動にもかかわらずに取り壊されて今はショッピングセンターになっているのは、文化財保存の立場からは惜しいが、市勢の発展という面からはやむを得ないことだろうか。

この表に掲載したほかに、片倉工業創業者の片倉兼太郎の生家が同社によって立派に保存されているが、ただし非公開。なお、岡谷の農業生物資源研究所（旧蚕糸試験場）は23年3月をもって63年の歴史を閉じ

表 岡谷の近代化産業遺産群

名 称	説 明
①鶴峰公園	初代片倉が従業員のために尋常小学校を設立した跡地
②旧片倉事務所*	現在は片倉系の中央印刷の事務所
③旧林家住宅**	一山カ林製糸所の初代林国蔵の住宅、洋館、繭倉庫を含む。
④成田公園	従業員慰安の地として建設
⑤丸山タンク	製糸工場への給水用に建設された煉瓦造りの円筒型タンク
⑥旧山一組製糸事務所・守衛所*	現在は1階はNPOにより岡谷絹工房が利用
⑦（株）金上繭倉庫	現役の倉庫として利用中
⑧蚕霊供養塔	製糸関係者の寄付により建立された「お蚕さま」の慰霊棟
⑨旧岡谷上水道集水溝*	岡谷の飲料水と工業用水のための集水設備の遺構
⑩市立岡谷蚕糸博物館所蔵資料	製糸業の歴史資料3万点超を収蔵
⑪旧岡谷市役所庁舎*	現在、市の消防局として使用中
⑫旧蚕糸試験場所蔵機械等*	現在の農業生物資源研究所が所蔵、一連の機械群は貴重
⑬新增澤工業（株）所蔵機械（横フライス盤）*	同市の製糸機械メーカーが所蔵
⑭旧山上宮坂製糸所	一連の製糸工場体系が残されている。
⑮丸中宮坂製糸所繭倉庫*	現在も操業中の製糸工場。

(注) *印は、国登録有形文化財 **印は、国重要文化財

①③④⑧⑨⑩は見学可能、他は外観のみ見学可

(出所) 同市教育委員会生涯学習課のパンフレットより作成



諏訪式繰糸機（市立岡谷蚕糸博物館所蔵）

ました。その所蔵機械類は新旧機種が多数揃えられており貴重な産業文化財として岡谷市当局等で是非引き継ぎ保存展示してもらいたいものである。明治期に千本煙突で象徴され、日本を外貨獲得面で支えた製糸業の歴史を知るには、まず、蚕糸博物館を見学した後、ガイドマップをもらい、ここを出発点として、これらの産業遺産を歩いて訪ねられるのがお勧めです。ほとんどのところが、J R 岡谷駅から歩いて回れます。

6. おわりに

以上、蚕糸・絹業関連の産業文化財について概略をご紹介した。全国各地に多数の

産業遺産が保存活用されているが、これには官民学の関係者の並々ならぬご努力があることにあらためて敬意を表したい。

繊維産業の文化財でもっとも多数が保存されているのが、シルク関係だと思う。綿業では明治 10 年以前の建造物は残っていない。シルクが多く保存されている理由としては、

- ①早い時期から廃業転業が行われたこと
- ②産地は都市ではなく地方であったので、紡績業のように建物は取り壊され、敷地はショッピングセンターや集合住宅などに転用されることも少なかったこと
- ③保存・活用について関係者の熱意があったこと、
- ④蚕糸・絹業は日本の伝統文化を継承するものであり、この点が官民学を通じて評価されていること等を指摘できるだろう。

シルクは日本の伝統文化を体現しているだけでなく、明治大正期のわが国の基幹産業の一つであった。それだけに保存と活用は、歴史まちづくり法、観光圏整備法等も利用して各地の博物館、資料館、企業を中心に永久的にお願いしたいものである。そして、これらの産業文化財が地域活性化にはもとより、教育、生涯学習等にますます活用されることを、関係者の一人として衷心より願っている。

ひらい とうこう

東京産業考古学会副会長、嘉悦大学
元教授、日本化学繊維協会元調査部長

国内産地情報

絹織物産地の概況（3月）

東日本の大震災から先行きが不透明となり、
新規の発注が進まず全体に模様眺め

<原糸>

中国政府は賃金の底上げを支持し、中国における人手不足は深刻化している。今後の原糸の先行き価格は強含みで推移するものと思われる。一方、国内での原糸は月始めは積極的な手当も見られたが、11日の震災により今後の売行きに対する不安感から様子見となり慎重な対応となっている。各企業ともに生糸在庫は少ない。

<白生地>

- ・丹後の縮緬生産量は、前年同月比5%の減産となっている。無地は同1%の減産、紋も6%の減産となった。全般に順調な生産を維持していたが11日の震災から生産の大幅減少も予測される。
- ・長浜の生産は、原料の高騰が製品に反映されず、織物の販売数も減少している。
- ・五泉は、織物の生産量は9.3%の増産であった。
- ・福島は、生産量は引続き落ちている。3月11日の震災で3日～7日生産中止。
- ・石川は、合繊薄地織物の好調が続いている。絹物は減産。
- ・福井は、広幅は昨年並み、小幅羽二重は20%強の増産。
- ・群馬・埼玉は、生産は昨年実績を上回って健闘しているが売行きは低調。今後は震災が心配。

<先染織物>

- ・西陣の帯は、生産状況は全体的に生産調整が避けられない情勢である。売行きは関東地方の催事、売出しが低調で荷動きは悪化している。
- ・博多は、紋系は袋帯が減少しているが、紋八寸が前年を50%程度上回っている。
- ・十日町は、売れ行きは付下げが前年比82%に対し留袖が同139%と大幅な差が生じている、在庫は一定の伸びを見せている。
- ・山梨は、ネクタイの生産は一部に多少の動きはあったが産地全体的には量は少ない。服地は3月上旬で納品は終わり現在は見本作りとなっている。
- ・米沢は、和装織物の生産はストップ状態。震災は一産地だけでなく、影響は多岐に及ぶ。服地も状況が一気に悪化したため、先の受注見通しが立たない所が多い。
- ・西陣のネクタイは、震災後の前売りの売行きが無く、商談は進んでいない。

*（社）日本生糸問屋協会月報 23.4.14 第746号による。

海外シルク情報

中国

インドの生糸輸入関税大幅引き下げで、中国国内生糸相場が反騰

中国にとってインドは、生糸輸出相手国として最大の市場となっている。インドは中国に次いで世界第2のシルク生産国ではあるが、自国の国内生糸生産量だけでは、民俗衣装のサリー等を主体とする需要を満たすことが出来ず、2006年以降、毎年、概ね8,000トン（＝13万3千俵）の生糸を中国から輸入している実績があるためである。

今般、2月28日、インド政府は来財政年度（本年4月1月スタート）から生糸の輸入基本関税を現在の30%から一挙に5%に引き下げることを見越して決定・公表した。このニュースを受けて、中国国内生糸相場は、3月1日にトン当たり39万元（390元/kg＝4,890円/kg）が出現し、40万元/トン（日本円で5,000円/kg）の大台にまで伸びる情勢を示し始めている。中国国内生糸価格は、昨年前半の繭価格の大幅上昇を受けて後半以降毎月、生糸価格を上昇させ来ており、昨年末には37～38万元/トン台で推移し、年明け後も同水準で一進一退の状況下にあった。それがここに来て、インドへの生糸輸出の大幅拡大が見込めるニュースにより反騰し、過去最高水準（40万元/トン）へ迫る勢いを見せている。現状の中国生糸の輸出価格は58～59ドル/kg（21デニール5A）であるが、当然、この生糸輸出価格の更なる上昇も想定されるところであり、今後の動向から目を離せない中国生糸相場となっている。

中国シルク業界幹部が語る昨年度のシルク需給状況

中国シルク進出口総公司副総経理湯詠氏は、最近の会議で昨年度のシルク需給（生糸量換算ベース）状況を語っているので紹介する。

通関統計による2010年暦年の中国シルク商品輸出数量は6.12万トンで、同期間のシルク糸類関係の輸入数量は0.67万トンであり、差引の純生糸量輸出は5.45万トンで、これは対前年比6.8%の減少であった。そして、年間の国内需要は最近伸びてきて特に国家関係の奨励策のあるシルク布団は、単位当たりの生糸含有量が多いこともあって国内需要量の大半を占めており、2010年度の需要量（純生糸量輸出＋国内需要）は10万トン位と見込まれた。

一方、供給サイドは、全国19産地の繭生産量は61.8万トンで、これからの生糸生産量は10.27万トンとなり、この点からみて国内のシルク需要と供給のバランスは、決して供給に余裕が見られず、却って経済発展による潜在需要が伸びてきていることからシルク原料価格の上昇をもたらした。さらに一般的な農産物価格の上昇など諸物価の値上りも加わって、シルク原料価格の大幅な上昇要因となったと分析している。

*日本生糸問屋協会月報23.3.15第745号及び23.4.14第746号による。

大正期の経済危機と蚕糸対策

シルク博物館

元部長 小 泉 勝 夫

大正時代の蚕糸業界は、明治時代とは異なった国際情勢の中で、大きな経済恐慌に巻き込まれ、大変な苦境に立たされましたが、これを克服して更なる発展へと歩み続けました。

この状況を概観してみましょう。

1 第一次世界大戦勃発と経済恐慌

(1) 第一次帝国蚕糸株式会社の設立

第一次世界大戦が1914（大正3）年7月に始まると、わが国の生糸輸出は停滞し、生糸価格は暴落をしばじめ、生糸取引所の立会いは、しばしば休止するような状態に陥りました。

同年8月には府県の当業者を集めた臨時蚕糸業大会を、9月には全国製糸家大会を開催しましたが、蚕糸業界は混迷の度を深めるばかりでした。

同年10月の横浜生糸取引所の生糸価格は同年3月に比較して35%も暴落してしまいました。

この事態を救済するため、帝国議会に蚕糸業救済保障法案が上程されましたが、議会の解散で成立せず、年末には4万^{こり}梱の生

糸が滞貨し深刻な問題となってしまいました。

政府は、その後も議会に蚕糸業救済の法制化を働きかけましたが、一向に進展しないため、法案を取り下げ、関係者を集めて官民で資金を拠出して生糸を買入れる組織づくりの協議を重ねました。

生糸の滞貨がますます増加する中、政府は1915（大正4）年3月3日、全国蚕糸業大会で「官民協同の組織で資金を出して生糸買入を行い、この危機を救済する」ことを発表し、同月20日に横浜銀行集会所において生糸売込商30名と農商務省関係者が出席し、帝国蚕糸株式会社創立総会を開催しました。

この結果、「帝国蚕糸株式会社」の設立が承認され、この総会で取締役には原富太郎（三溪）、茂木惣兵衛、渋沢義一、渡辺文七、若尾幾造、木村庫之助が指名され、取締役互選の結果、社長に原富太郎、副社長に茂木惣兵衛、専務理事に渋沢義一が就任し、4月1日から蚕糸業の救済活動をはじめました。

会社は横浜市本町5丁目の旧内務省衛

生試験所内に置き、政府からの助成金 500 万円と借入金など合わせて 2,400 万円を運転資金として営業を始めました。

(2) 帝国蚕糸株式会社の運営と解散

帝国蚕糸株式会社が営業しはじめて 2 か月もたたないうちに、資金が枯渇し、政府からも、これ以上助成金を出してもらうことができないという状況の中で運営が行き詰まり、会社を存続させるのか、廃止するのか、それとも新会社を設立するのかという問題に発展していきました。

第 14 表 帝国蚕糸株式会社の決算

	生糸量 (斤)	金額 (円)	和斤 100 斤 平均価額 (円)
売上総高	678,881.73	7,479,314.89	1,101.71
買入総高	682,870.13	5,610,632.53	821.63
差 引	目切れ 1,000 分の 58 3,988.40	売上利益金 1,868,682.36	100 斤当たりの 益金 280.08

出典：「日本蚕糸業史」第一巻「生糸貿易史」から作表

これについて、会社の評議員会や重役会では結論が出ず、政府に一任することになりました。

ところが、このころになると、糸価も好転の兆しを見せはじめておりました。

一任された政府は、重役等の意見を聞き慎重審議の結果、閣議で会社の解散を決定し、6月15日までに解散するよう命令を出しました。

会社は同年6月15日、臨時総会を開催

して解散を議決、以後清算事務に入りました。

復調の兆しをみせていた糸価は、会社の解散命令が出された時には、一時値下がりをしてしまいましたが、8月には回復し、10月下旬には高騰し、蚕糸業の救済問題は全く消え去ってしまいました。

帝国蚕糸株式会社が買入れた生糸は、糸価の手堅き価格となった 1916 (大正 5) 年 1 ~ 3 月に売却し、第 14 表に示しましたように、利益を上げることができ、政府の助成金 500 万円を完納すると共に、利益金のうち 169 万円余を政府に納入、残りは株主配当等を行って清算事務を完了し、同年 6 月に開催した株主総会で決算報告を行い、会社の幕を下ろしました。

2 第一次世界大戦後の経済恐慌 第二次帝国蚕糸株式会社の設立

第一次世界大戦 (1914 ~ 1919) が終ると、わが国の経済は好調のように見えました。

糸価のよくなった 1919 (大正 8) 年 4 月の横浜市場では、上一番は 1,720 円 (100 斤当たり価格) に値上がりしていましたが、5 月には 1,920 円、8 月末には更に 2,300 円と跳ね上がり、翌 1920 (大正 9) 年 1 月 21 日には 4,360 円という開港以来未曾有の高値を記録しました。

ところが、2 日後の 1 月 23 日から糸価の下落がはじまり、3 月中旬になると株式の大暴落が起こり、国内はたちまちのうちに経済恐慌に陥ってしまいました。

東京株式取引所をはじめ、全国の株式取引所が4月から5月半ばまで立会いを休止し、横浜生糸取引所なども、しばしば市場を閉鎖する事態になってしまいました。

5月には、横浜の大きな生糸売込商であった茂木惣兵衛経営の茂木合名会社と地元横浜の大きな銀行で茂木合名会社に多額の融資をしていた七十四銀行（茂木銀行と横浜七十四銀行が合併してできた銀行）が休業（経営破たん）に追込まれてしまいました。

七十四銀行（頭取茂木惣兵衛）の休業は、横浜をはじめ神奈川県内の他の銀行にも波及し、取付（銀行の信用がなくなり、一時に預金者が預金を引き出すこと）にあうという事態にまで発展していきました。

生糸取引面での暴落状況を「上一番格」の例で見ると、糸価は大正9年4月末には、1,800円、6月5日には1,300円となり、7月になると1月の高値4,360円の約4分の1（25.2%）までに暴落し1,100円（第15表）という安値になり、想像を絶する状態に陥ってしまいました。

このため蚕糸業界は、製糸工場の休業や操業短縮、売渡の制限などを余儀なくさせられてしまいました。

このような窮状を打開するため、蚕糸業救済対策の要望が強まり、第一次帝国蚕糸株式会社設立の場合と同様に、帝国蚕糸株式会社（以下、帝蚕会社という）を設立しようとする蚕糸関係者による動きが起こり、帝蚕会社設立に向けて発起人会が組織されました。

第15表 大正9年の糸価暴落状況

階 級	大正9年1月中の高値 (A)	大正9年7月の安値 (B)	1月高値に対する7月安値比 (B ÷ A × 100)
最優等格	見当 4,480 円	1,350 円	30.1%
矢 島 格	4,430	1,250	28.2
八王子格	4,420	1,170	26.5
武 州 格	見当 4,370	1,120	25.6
上一番格	4,360	1,100	25.2
定期先物	4,460	1,117	25.0

出典：「日本蚕糸業史」第一巻「生糸貿易史」から作表

発起人会総代には原富太郎（原合名）と今井伍介（片倉製糸紡績）が選ばれ、定款や計画書を作成して、原^{たかし}敬首相を始め政府関係者に働きかけました。

原首相は閣議で5,000万円の低金利資金を融通することを決め、政府は蚕糸業救済案を発表しました。

政府の支援が得られることになった帝蚕会社設立発起人会は、1920（大正9）年9月25日、東京市麴町区内幸町の蚕糸業同業組合中央会で創立総会を開催、第二次帝蚕会社を設立して、滞貨していた生糸の買入を始めました。

しかし、買入資金は翌1921（大正10）年1月には使い果たしてしまいました。

糸況の回復が全くみられないため、帝蚕会社は第二期計画をたて、政府に資金貸付

申請を行いました。

政府は早速、蚕糸業救済貸付金補償案を国会に提出し、同年3月末に法案が成立しましたので、帝蚕会社に資金を交付しました。

帝蚕会社は同年4月9日から第2期の買入を開始しました。5月以降からは銀行

からも貸付をしてもらい、生糸の買入を続行し、生糸の暴落危機を乗り切ることができました。

目的を果たした帝蚕会社は、1923（大正12）年3月21日、株主総会を開催し解散決議をして、創立から2年半で会社を閉じました。

帝蚕会社は第16表に示しましたように、7万2,660 梱の生糸を買入れ、市況がよくなってから販売しましたので、大きな利益金を出しました。

この利益金から農商務省に生糸検査所拡充費として120万円、生糸絹物専用倉庫建築資金として180万円を寄贈しましたが、奇しくも同年9月に発生した関東大震災で被災した生糸検査所の復旧と同所附属生糸絹物倉庫（後の帝蚕倉庫）の建設資金として使用することになりました。

第16表 帝国蚕糸株式会社の持ち荷総売上明細

買入生糸数量	72,660 梱
販売生糸数量	4,189,059.94 斤
買入生糸料 (A)	64,981,041 円 31 銭
売上生糸料 (B)	78,675,200 円 98 銭
差引利益 (B - A)	13,694,159 円 67 銭

出典：「日本蚕糸業史」第一巻「生糸貿易史」から作表

こいずみ かつお
シルク博物館 元部長

イベント情報

イベント名	企画内容および展示内容	開催期間	場所および主催者
2011まゆクラフト作品展	<p>カイコがくれた、優雅な輝きと柔らかな感触の「まゆ」を素材として、限りなく生きた花々に近づいた美しい造花、優しい夢と創造性あふれるまゆ人形、つるし雛、干支など、製作者の皆さんの優しい夢に満ちた素晴らしく美しい「まゆクラフト」作品をご賞美下さい。</p> <p>入館料：大人300円(200円)、小中学生100円(50円) ()内は、団体割引(20人以上)の料金</p>	<p>作品展開催期間 平成23年4月28日(木)～5月31日(火)まで AM9:00～PM5:00 (水曜日休館)</p>	<p>会場・主催・お問合わせ 駒ヶ根シルクミュージアム 〒399-4321 長野県駒ヶ根市東伊那482 Tel:0265-82-8381 Fax:0265-82-8380</p> <p>後援：中央蚕糸協会、(財)大日本蚕糸会、(社)日本絹業協会、(社)日本生糸問屋協会、全国農業協同組合連合会</p>
<p>第53回特別展 群馬の風穴と蚕種 —天然の冷蔵庫“風穴”と 島村の蚕種—</p>	<p>自然に吹き出す冷風を利用して蚕種を貯蔵した風穴について、国内最大級の荒船風穴などを紹介します。 また、群馬県伊勢崎市の島村地区は日本でも有数の蚕種の生産地でした。優良な蚕種をイタリアに直輸出しました。島村での蚕種の製造や販売、直輸出のためにイタリアへ渡った人々などについて紹介します。</p> <p>観覧料：一般200円(160円)、大高生100円(80円) ()内は20名以上の団体料金 中学生以下及び身体障害者手帳等お持ちの方とその介護者1名様無料</p>	<p>平成23年4月23日(土)～5月23日(月) AM9:30～PM5:00 休館日：毎週火曜日、但し5月3日、4日、5日は開館、6日は休館</p>	<p>会場・主催・お問合わせ 群馬県県立日本絹の里 〒370-3511 群馬県高崎市金古町888-1 Tel:027-360-6300 Fax:027-360-6301 http://www.nipon-kinuno.sato.or.jp 主催：群馬県立日本絹の里 協力：群馬県世界遺産課、下仁田町教育委員会、富岡製糸場世界遺産伝道師協会、ぐんま島村蚕種の会</p>
<p>三浦景生展 —ヨコハマ染陶暦程—</p>	<p>シルク博物館ではこの度、京都芸術大学名誉教授、日展参与の染色家、三浦景生(みうらかげお)展を開催します。本展では、三浦景生の初期作品から95歳の最新作まで創作活動の全豹を回顧する66点の作品を紹介致します。</p> <p>入館料：一般700円(600円)、大高生200円(150円)、65才以上300円(200円)小・中学生100円(50円) ()内は、団体割引(20人以上)の料金</p>	<p>平成23年5月28日(土)～6月26日(日) AM9:00～PM4:30 (毎週月曜日休館)</p>	<p>会場・主催・お問合わせ シルク博物館 〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町1番地(シルクセンター2F) (みなとみらい線 日本大通り駅下車3番出口) Tel:045-641-0841 http://www.silkmuseum.or.jp/ 後援：神奈川県、横浜市、神奈川新聞社、横浜繊維振興会他</p>
<p>体験教室「繭から織物まで」 繭から糸を作って織ってみませんか</p>	<p>群馬の繭(ぐんま200)から糸を作って、貴方だけのシルクストールを作りましょう。「日本の絹の里」では、体験者を募集しています。</p> <p>募集期間：第1回 5月1日(日)～5月21日(土) 応募方法：往復はがき(住所、氏名、電話)で応募 応募多数の場合抽選となります。 体験日数：1人8日間 体験料：8,000円</p>	<p>第1回日程 平成23年6月8日(水)～7月7日(木) AM10:00～PM4:00</p>	<p>会場・主催・お問合わせ 群馬県県立日本絹の里 〒370-3511 群馬県高崎市金古町888-1 Tel:027-360-6300 Fax:027-360-6301 http://www.nipon-kinuno.sato.or.jp</p>

純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧

純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧

平成 23 年 4 月 6 日現在

表示者登録番号	企業名	主な絹製品名
1	株式会社 千總	後染反物（訪問着、付下、色無地、振袖）、胴裏絹
2	株式会社 織匠田歌	先染反物、帯地（染帯）
3	有限会社 ミラノリブ	洋装品（婦人服（トップス、ボトム）、ソックス、ショール、ストール、スカーフ、ネクタイ、ニットタイ、ベスト）
4	株式会社 丸上	後染反物（色無地、小紋、付下、黒紋付）、帯地（後染）
5	株式会社 坂本屋	後染反物（色無地）、胴裏絹（灰汁浸け加工）
6	有限会社 平原	後染反物（色無地、黒紋付）
7	株式会社 信盛堂	後染反物（色無地、黒紋付）
8	株式会社 きものアイ	後染反物（色無地）
9	株式会社 上庵	後染反物（色無地、黒紋付）
10	有限会社 樹	後染反物（色無地、黒紋付）
11	株式会社 銀座もとじ	白生地、後染反物、大島紬、先染反物（大島紬、結城紬）、染織作家製品、八掛、御召、帯地、帯締、羽織紐
12	河瀬満織物 株式会社	帯地（先染）
13	有限会社 織匠小平	帯地（先染）
14	門倉メリヤス 株式会社	洋装品（紳士靴下、ジャケット、セーター、カーディガン、パンツ、スカート、帽子）
15	株式会社 結華	後染反物（色無地、黒紋付）
16	有限会社 絹回廊	後染反物（色無地）
17	有限会社 琴路屋	後染反物（色無地、黒紋付）
18	有限会社 大善屋呉服店	後染反物（色無地、黒紋付）、帯地（後染）
19	丸善本店	後染反物（色無地、黒紋付）
20	呉服のささき	後染反物（色無地、黒紋付）
21	日本蚕糸絹業開発協同組合	胴裏絹（ぐんま羽二重、ぐんまレピア、ぐんま 200（灰汁浸加工、トルマリン加工）五ツ星（ぐんま 200、よろこび、世紀 21））、長襦袢地、白生地（世紀 21）、八掛、比翼地、後染反物（作家もの、黒紋付）、うぶ着、襦袢、寝衣（おくるみ）、帯地（うるし糸 5% 以上）
22	宮階織物 株式会社	先染反物、後染反物
23	21 世紀の絹を考える会	帯地（草木染袋帯、唐織袋帯、先染袋帯）、後染反物（色無地、訪問着）
24	碓氷製糸農業協同組合	白生地、洋装品（マフラー）
25	丸幸織物 有限会社	白生地
26	織匠万勝	帯地、先染反物、後染反物
27	有限会社 織道楽塩野屋	洋装品（マフラー、シャツ、ニット（ウオーマー・腹巻、手袋・靴下））
28	株式会社 丸万中尾	後染反物（江戸小紋、色無地、変一越、紋意匠、友禅）、帯地（後染）
29	株式会社 むらかね	後染反物（色無地、黒紋付）
30	株式会社 高島屋	後染反物（振袖、七五三着物、色無地）、長襦袢
31	株式会社 さが美	後染反物（黒紋付（冬用・夏用）、色無地）
32	有限会社 まるけい	後染反物（色無地、黒紋付）
33	有限会社 特選呉服専門店後藤	後染反物（色無地、黒紋付）
34	株式会社 小いけ	後染反物（色無地、黒紋付）
35	株式会社 伊と幸	後染反物（色無地）、白生地（色無地）、胴裏絹、帯地（後染）
36	株式会社 四季のきものおおにし	後染反物（色無地、黒紋付）帯地（後染）
37	株式会社 和幸	後染反物（色無地、黒紋付）
38	株式会社 榎屋高尾	帯地（袋帯）
39	株式会社 つるや	後染反物（色無地、黒紋付）
40	株式会社 越後屋	後染反物（色無地、黒紋付）
41	株式会社 小倉商店	先染反物（結城紬）、帯地（結城紬）、白生地（結城紬）
42	染織家 柳崇	先染反物、帯地
43	染織家 児玉京子	先染反物
44	草木染工房山村	先染反物、帯地、ストール
45	手織りよおん	先染反物、帯地
46	祝嶺染織研究所	先染反物、帯地
47	株式会社 龍工房	和装小物（組紐）
48	からん工房	先染反物（紋紬、緋）、帯地
49	たわた工房	先染反物、帯地

表示者登録番号	企業名	主な絹製品名
50	山音 株式会社	後染反物 (変三越、駒絹)
51	やまと 株式会社	後染反物
52	株式会社 御菌織物	先染反物、帯地
53	桜井 株式会社	帯地 (先染)
54	有栖川織物 有限会社	帯地 (先染)
55	太田和 株式会社	先染反物 (結城紬)、帯地 (結城紬)
56	株式会社 岩田	帯地 (先染)
57	有限会社 神原呉服店	後染反物 (色無地、黒紋付)
58	浅山織物 株式会社	帯地 (先染)
59	株式会社 やまと	帯地 (先染)
60	田中種 株式会社	後染反物 (小紋)
61	株式会社 京扇	後染反物 (色無地)、胴裏絹 (パールトーン加工)
62	株式会社 なごみや	後染反物 (色無地、黒紋付)
63	丸池藤井 株式会社	後染反物 (色無地)、八掛
64	久保商事 株式会社	和装小物 (帯揚、半衿)
65	加賀グンゼ 株式会社	胴裏絹
66	千切屋 株式会社	後染反物 (訪問着、付下)、帯地
67	荒川 株式会社	和装小物 (帯締、帯揚)
68	第一衣料 株式会社	後染反物 (色無地)
69	株式会社 紅輪	後染反物 (色無地)
70	装いの道 株式会社	胴裏絹 (トルマリン加工、灰汁浸け加工、ぐんま 200、ぐんまレピア、新小石丸)、 後染反物 (本藍染、江戸更紗、京友禅)、白生地、帯地 (後染)
71	株式会社 高橋屋	胴裏絹 (灰汁浸け加工)
72	おお又 株式会社	胴裏絹 (灰汁浸け加工)
73	株式会社 天野屋呉服店	胴裏絹ぐんま 200 (灰汁浸け加工)、白生地
74	株式会社 きもの潮見	胴裏絹 (パールトーン加工)
75	株式会社 とみひろ	胴裏絹ぐんま 200 (酵素精練)
76	株式会社 細安	胴裏絹ぐんま 200 (酵素精練)
77	京和きもの 株式会社	胴裏絹ぐんま 200 (酵素精練)
78	株式会社 まるため	胴裏絹 (トルマリン加工、パーリー加工)
79	株式会社 小川屋	胴裏絹ぐんま 200 (トルマリン加工、灰汁浸け加工)
80	株式会社 エムラ	胴裏絹 (酵素精練)
81	株式会社 荒井呉服店	胴裏絹 (酵素精練)
82	株式会社 牛島屋	胴裏絹 (酵素精練)
83	株式会社 谷呉服店	胴裏絹 (酵素精練)
84	株式会社 登美屋	胴裏絹 (パールトーン加工)
85	株式会社 川平屋	胴裏絹 (パールトーン加工)
86	丸専第一衣料 株式会社 (丸専きもの)	胴裏絹 (パールトーン加工)
87	株式会社 大丸松坂屋百貨店	胴裏絹、比翼 (振袖用)、長襦袢
88	西陣織工業組合	洋装品 (マフラー)
89	株式会社 あきやま	先染反物、洋装品 (ショール、マフラー)
90	藤井絞 株式会社	後染反物 (色無地)
91	株式会社 川まん	白生地
92	有限会社 結城屋	白生地
93	株式会社 ウメショウ	白生地
94	株式会社 大徳	後染反物 (色無地)
95	有限会社 カシワギ	寝具寝装品 (冬用・夏用・合用薄絹ふとん、ブランケット)、洋装品 (スカーフ、ストール、ネクタイ、シャツ、スーツ)
96	株式会社 北尾織物匠	帯地 (袋帯、名古屋帯)
97	株式会社 平田組紐	帯締、帯締 (金銀糸 5% 以上)、羽織紐 (男物、女物)
98	株式会社 菱健	後染反物 (色無地)
99	西野 株式会社	帯締、帯締 (金銀糸 5% 以上)
100	京商 株式会社	後染反物 (色無地、黒紋付)

表示者登録番号	企業名	主な絹製品名
101	株式会社 猪井	後染反物
102	株式会社 たちばな	後染反物
103	株式会社 丸富美	後染反物 (色無地)
104	株式会社 絹もの屋まつなが	後染反物 (色無地)
105	株式会社 山正山崎	後染反物 (色無地)
106	有限会社 こくぶん呉服店	後染反物 (色無地)
107	株式会社 染織近藤	後染反物 (色無地)
108	株式会社 宮川呉服店	後染反物 (色無地)
109	株式会社 和らいふ	後染反物 (色無地)
110	有限会社 きものいなもと	後染反物 (色無地)
111	株式会社 世きね	後染反物
112	株式会社 西陣まいづる	帯地 (袋帯 (金銀系 5% 以上))
113	奥順 株式会社	先染反物 (結城紬)、帯 (結城紬)
114	りょうぜん天蚕の会	天蚕紬系ショール、天蚕ハイブリットショール
115	有限会社 金屋	後染反物 (色無地)
116	株式会社 鶴屋百貨店	胴裏絹 (酵素精練)
117	黄八丈めゆ工房	先染反物 (黄八丈)
118	京屋呉服店	後染反物 (色無地)
119	合資会社 車屋呉服店	後染反物 (色無地)
120	宮崎 株式会社	結城紬
121	有限会社 内海呉服店きもの千歳屋	白生地
122	長島繊維 株式会社	後染反物 (色無地)
123	株式会社 しょう美	後染反物 (色無地)
124	合資会社 治田呉服店	後染反物 (色無地)
125	株式会社 丸十	後染反物 (小紋)
126	株式会社 竹田嘉兵衛商店	胴裏絹 (酵素精練)
127	有限会社 樋口屋京染店	白生地 (紋意匠)
128	大門屋	白生地 (牛首紬)、帯地 (牛首紬)
129	株式会社 加藤萬	和装小物 (帯揚、半衿)
130	株式会社 しゃらく	後染反物 (小紋)
131	合資会社 山中商店	後染反物 (小紋)
132	きもの処 あだち	後染反物 (小紋)
133	西川産業 株式会社	寝装寝具 (掛布団)
134	繭工房 華美	寝衣 (長肌着、短肌着)
135	株式会社 青山みとも	胴裏絹 (酵素精練)
136	株式会社 和想	後染反物 (小紋)
137	株式会社 高島屋呉服店	後染反物 (小紋)
138	富岡シルクブランド協議会	和装小物 (禪)、洋装品 (ネクタイ)
139	株式会社 丸年呉服店	後染反物 (小紋)
140	株式会社 染織館	後染反物 (小紋)
141	株式会社 京ろまん	後染反物 (小紋)
142	五嶋 株式会社	和装小物 (帯締)
143	株式会社 わふくや	長襦袢地
144	株式会社 布屋呉服店	胴裏絹 (トルマリン加工)
145	有限会社 明石屋	後染反物 (色無地)、帯地 (後染)
146	宮井 株式会社	和装小物 (風呂敷)
147	株式会社 ナカノ	後染反物 (小紋)

蚕糸関係博物館一覽

名 称	〒	住 所	電 話
蚕糸・織物関連の展示を目的としている施設			
ひころの里「シルク館」	986-0782	宮城県本吉郡南三陸町入谷字桜沢 442	0226-46-4310
米沢織物歴史資料館	992-0039	山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 87	0238-22-1325
かわまたおりもの展示館	960-1406	福島県伊達郡川俣町大字鶴沢字東 13 - 1	024-565-4889
群馬県立日本絹の里	370-3511	群馬県高崎市金古町 888 番地の 1	027-360-6300
前橋市蚕糸記念館	371-0036	群馬県前橋市敷島町 262 番地 (敷島公園バラ園内)	027-231-9875
織物参考館“紫”(ゆかり)	376-0034	群馬県桐生市東 4 丁目 2 番 24 号	0277-45-3111
片倉シルク記念館	360-0815	埼玉県熊谷市本石 2 丁目 135 番地	048-522-4316
きもの芸術館 (財) 日本きもの文化協会	150-0002	東京都渋谷区渋谷 1-6-8 清水学園ビル 6F ~ 8F	03-3400-0286
東京農工大学科学博物館	184-8588	東京都小金井市中町 2-24-16	042-388-7163
文化学園服飾博物館	151-8529	東京都渋谷区代々木 3-22-7	03-3299-2387
絹の道資料館	192-0375	東京都八王子市鎌水 989-2	0426-76-4064
シルク博物館	231-0023	神奈川県横浜市中区山下町 1 番地シルクセンター内	045-641-0841
絹糸紡績資料館	386-0498	長野県上田市上丸子 1078 シナノケンシ (株) 内	0268-41-1800
岡谷蚕糸博物館	394-0028	長野県岡谷市本町 4 丁目 1 番 39 号	0266-22-5854
浦野染織資料博物館	393-0066	長野県諏訪郡下諏訪町曙町 5350	0266-27-8503
常田館 (絹の資料館)	386-0018	長野県上田市常田 1-10-3 笠原工業 (株) 内	0268-22-1230
駒ヶ根シルクミュージアム	399-4321	長野県駒ヶ根市東伊那 482 番地	0265-82-8381
キナーレきもの歴史館	948-0003	新潟県十日町市本町 6 十日町ステージ越後妻有交流館内	0257-52-0117
まゆの資料館	410-3612	静岡県賀茂郡松崎町宮内 263-2	0558-42-3912
石川繊維資料館	400-0886	愛知県豊橋市東小田原町 109-1	0532-52-5265
川島織物セルコン、織物文化館	601-1123	京都府京都市左京区静海市原町 265	075-741-4120
西陣織会館	602-8216	京都府京都市上京区堀川通り今出川南入	075-451-9231
織成館	602-8482	京都府京都市上京区浄福寺通上立売上る大黒町 693 番地	075-431-0020
絹の白生地資料館	604-8176	京都府京都市中京区御池通室町東入る竜池町 448-2 伊と幸ビル	075-254-5884
グンゼ博物苑	623-0011	京都府綾部市青野町 グンゼ (株) 周辺敷地内	0773-43-1050
上垣守国養蚕記念館	667-0311	兵庫県養父市大屋町大家市場 117	0796-69-1580
西予市野村シルク博物館	797-1212	愛媛県西予市野村町野村 8 号 177 番地 1	0894-72-3710
蚕糸資料館	781-1301	高知県高岡郡越知町甲 1577 番地	0889-26-1002
展示の一部に蚕糸・織物関連がある施設			
三重中央農協郷土資料館	515-2504	三重県津市一志町高野 1204-1	059-293-0010
佐野市郷土博物館	327-0003	栃木県佐野市大橋町 2047	0283-22-5111
大間々町歴史民族館	376-0101	群馬県みどり市大間々町大間々 1030	0277-73-4123
羽村市郷土博物館	205-0012	東京都羽村市羽羽 741	042-558-2561
豊富郷土資料館	400-1513	山梨県中央市大鳥居 1619-1	055-269-3399
日本司法博物館 (松本歴史の里)	390-0852	長野県松本市島立小柴 2196-1	0263-47-4515
長野県立歴史館	387-0007	長野県千曲市大字屋代字清水、科野の里歴史公園内	026-274-2000
須坂市立博物館	382-0028	長野県須坂市臥竜 2 丁目 4 番 1 号臥竜公園内	026-245-0407
上田市丸子郷土博物館	386-0413	長野県上田市東内 2564-1	0268-42-2158
海野宿歴史民俗資料館	389-0518	長野県東御市本海野 1098	0268-64-1000
十日町市博物館	948-0072	新潟県十日町市西本町 1	0257-57-5531
美濃加茂市民ミュージアム	505-0004	岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299-1	0574-28-1110
その他関連施設			
原始布・古代織参考館	992-0039	山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 16	0238-22-8141
夕鶴の里資料館	992-0474	山形県南陽市漆山 2025-2	0238-47-5800
松ヶ丘開墾記念館	997-0152	山形県鶴岡市羽黒町松ヶ丘 29	0235-62-3985
結城紬関連施設 (結城市伝統工芸館)	307-0001	茨城県結城市大字結城 3018-1	0296-32-7949
たくみの里木織の家「椽」(つるばみ)	379-1418	群馬県利根郡みなかみ町須川 784	0278-64-1308
調布市郷土博物館	182-0026	東京都調布市小島町 3-26-2	0424-81-7656
相模田名名家資料館	229-1124	神奈川県相模原市田名 4853 番 2 (大杉公園隣り)	042-761-7118
安曇野市天蚕センター	399-8301	長野県安曇野市穂高有明 3618-4	0263-83-3835
上田市立博物館	386-0026	長野県上田市二の丸 3 番 3 号 (上田城跡公園内)	0268-22-1274
塩沢つむぎ記念館 (織の文化館)	949-6408	新潟県南魚沼市塩沢 1227-1	0257-82-4888
手織りの館	947-0028	新潟県小千谷市城内 1-8-25	0258-83-4800
白山工房 (織りの資料館)	920-2501	石川県白山市白峰村又 17	076-259-2859
手おりの里、金剛苑	529-1204	滋賀県愛知郡愛荘町蚊野外 514	0749-37-4131
織元田勇 (田勇機業株式会社)	629-3104	京都府京丹後市網野町浅茂川 112	0772-72-0307
まゆ村	616-8384	京都府京都市右京区嵯峨天龍寺造路町	075-882-0564

【行 政】

農林水産省
経済産業省

<http://www.maff.go.jp>
<http://www.meti.go.jp/>

【蚕糸絹業関係団体】

(財) 大日本蚕糸会
(社) 日本絹業協会 (シ ョ ッ プ セ ン タ ー)
(社) 日本生糸問屋協会
(財) 日本真綿協会
丹後織物工業組合
西陣織工業組合
T A F S (東京織物卸商業組合)
K O M S (京都織物卸商業組合)
京都和装産業振興財団
(財) 伝統的工芸品産業振興協会

<http://www.silk.or.jp>
<http://www.silk-center.or.jp>
<http://homepage1.nifty.com/nittonkyo/>
<http://www.mawata.or.jp/>
<http://www.tanko.or.jp/>
<http://www.nishijin.or.jp/>
<http://www.tafts.or.jp/>
<http://www.fashion-kyoto.or.jp/>
<http://www.wasou.or.jp/wasou/index.html>
<http://www.kougei.or.jp/>

【大学・試験研究機関】

(国) 東京大学大学院農学生命科学研究科生産・環境生物学専攻昆虫遺伝研究室
<http://papilio.ab.a.u-tokyo.ac.jp/igb/index-J.html>

(国) 東京農工大学農学部生物生産学科
<http://www.tuat.ac.jp/~aaseisan/>

(国) 東京農工大学工学部生命工学科
<http://www.tuat.ac.jp/~seimei/>

(国) 京都工芸繊維大学工芸科学部応用生物学課程
<http://www.bio.kit.ac.jp/>

(国) 京都工芸繊維大学
<http://www.kit.ac.jp/>

(国) 信州大学繊維学部
<http://www.tex.shinshu-u.ac.jp/>

(国) 名古屋大学農学部
<http://www.agr.nagoya-u.ac.jp>

(国) 北海道大学応用分子生物学講座
http://www.hokudai.ac.jp/agricu/organization/bunya/l_in_bunshi_seibuts.html

(国) 九州大学大学院遺伝育種学講座蚕学研究室
<http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/agpm/sangaku/>

(国) 九州大学大学院遺伝子資源工学専攻
http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/grt/igr/new_lab/index.html

(国) 岩手大学農学部生命資源科学コース
<http://www.news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/departement/bio/biofunc/index.html>

(国) 山口大学農学部生物資源環境科学科
<http://www.agr.yamaguchi-u.ac.jp/bioenvi/research2.html>

(独) 農業生物資源研究所
<http://www.nias.affrc.go.jp>

(財) 大日本蚕糸会 蚕糸科学研究所
http://www.silk.or.jp/silk_kagaku/index.html

(財) 大日本蚕糸会 蚕業技術研究所
http://www.silk.or.jp/silk_gijyutu/index.html

群馬県蚕糸技術センター (群馬県トップページ>産業・労働>試験研究>蚕糸技術センター)
http://www.pref.gunma.jp/cts/PortalServlet?DISPLAY_ID=DIRECT&NEXT_DISPLAY_ID=U000004&CONTENTS_ID=50545

群馬県繊維工業試験場 (群馬県トップページ>産業・労働>試験研究>繊維工業試験場)
http://www.pref.gunma.jp/cts/PortalServlet?DISPLAY_ID=DIRECT&NEXT_DISPLAY_ID=U000004&CONTENTS_ID=59241

京都府織物・機械金属振興センター
<http://www.silk.pref.kyoto.jp/index-sub.html>

京都市産業技術研究所繊維技術センター
<http://www.ktri.city.kyoto.jp/mainpage/sikenjo.html>

【学 会】

日本シルク学会
日本蚕糸学会

<http://www.silk.or.jp/ssstj/>
<http://www.soc.nii.ac.jp/~jsss2/>

【博物館】

(財) シルクセンター-国際貿易観光会館 シルク博物館
群馬県立日本絹の里
東京農工大学科学博物館

<http://www.silkmuseum.or.jp/>
<http://www.nippon-kinunosato.or.jp/>
<http://www.tuat.ac.jp/~museum/index.html>

統計資料目次

<国内>

(1) 蚕糸絹業の概要	43
(2) 養蚕業の概要	44
(3) 養蚕農家数の推移	45
(4) 収繭量の推移	46
(5) 都府県別養蚕農家数、桑使用面積、収繭量(2008年)	47
(6) 蚕品種別蚕種製造数量(2008年)	48
(7) 平成22年度蚕期別、都府県別繭生産量	49
(8) 平成22年度蚕期別、都府県農家戸数	50
(9) 生糸需給状況及び絹糸、絹織物の輸出入状況	51
(10) 生糸の織度別生産数量の推移	52
(11) 国産生糸価格実態	53
(12) 絹需給の推移(生糸量換算試算)	55
(13) 品目別・二次製品輸入数量(生糸量換算試算)	56
(14) 製糸工場の原料繭需給	57
(15) 製糸工場の操業状況	58
(16) 生糸在庫数量の内訳	59
(17) 蚕糸関係品目別輸入状況	60
(18) 生糸原産国別輸入状況	61
(19) 絹糸原産国別輸入状況	62
(20) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入量と単価	63
(21) 絹織物生産状況	64
(22) 丹後、長浜、西陣の絹織物生産状況	65
(23) 全国全世帯被服類品目別消費支出状況	66

<海外>

(1) 世界主要国の家蚕繭生産数量	67
(2) 世界主要国の家蚕生糸生産数量	68
(3) 中国省別家蚕繭生産数量、生糸生産数量、製糸工場数	69
(4) 中国省別家蚕繭生産数量の推移	70
(5) 中国のシルク類(生糸、絹糸、絹織物)の輸出状況	71
(6) 中国企業別従業員年間賃金総額及び対前年比増減率	72
(7) 中国企業別従業員年間平均賃金及び対前年増減率	73
(8) 中国産業別従業員年平均賃金の推移	74
(9) 中国省別従業員年平均賃金(2009年)	75
(10) ブラジルの繭、生糸の生産数量の推移	76
(11) ブラジルの繭、生糸・絹撚糸、絹織物の生産、輸入及び輸出状況	77

-資料・国内-

(1) 蚕糸絹業の概要

Outline of Sericultural, Silk-Reeling, and Silk Fabric Industry in Japan

項目 item	養蚕業 Sericultural Industry			製糸業 Silk-Reeling Industry			絹業 Silk Fabric Industry	
	養蚕農家 戸数 Number of Silk- Raising Farmer	収繭量 Cocoon Production ton	1戸当 収繭量 Cocoon Production per kg	生糸 生産量 Raw Silk Production 千俵 1,000 Bale of 60kg	運転 工場数 Number of Mills	稼働率 Operation ratio %	絹人織機 設備台 数(保有 台数) Number of Silk Loom 1,000	絹織物 生産量 Silk Fabric Production 千㎡ 1,000 sq. meters
1992 4年	34,880	15,553	446	84.1	49	75	148.8	72,901
1993 5年	27,180	11,212	412	70.3	45	72	138.1	66,801
1994 6年	19,040	7,724	406	64.5	39	69	102.7	61,653
1995 7年	13,640	5,350	392	53.4	29	63	94.2	54,131
1996 8年	7,890	3,021	383	42.7	26	58	84.7	53,815
1997 9年	6,310	2,516	399	31.5	18	67	81.6	52,031
1998 10年	5,070	1,980	390	18.4	13	76	74.5	38,673
1999 11年	4,030	1,496	371	10.8	8	73	67.4	33,425
2000 12年	3,280	1,244	379	9.3	8	67	62.9	32,275
2001 13年	2,730	1,031	378	7.2	8	63	56.8	29,801
2002 14年	2,360	880	373	6.5	17	68	51.2	26,826
2003 15年	2,070	780	377	4.8	14	64	48.7	23,935
2004 16年	1,850	683	369	4.4	13	62	45.6	21,895
2005 17年	1,591	626	393	2.5	10	62	43.7	19,816
2006 18年	1,345	505	375	2.0	9	82	41.6	18,507
2007 19年	1,169	433	370	1.8	8	83	40.0	15,466
2008 20年	1,021	382	374	1.6	6	80	38.1	14,043
2009 21年	915	327	357	1.2	6	60	33.6	11,472
2010 22年	753	265	352	0.9	7	49	34.9	11,659
前年対比 (%)	82.3	81.0	98.6	75.0	116.7	81.7	103.9	101.6

資料 ・平成20年以前の養蚕業及び製糸業は、農林水産省調査によるものである。
 ・平成21年以降の養蚕業は、全国農業協同組合連合会及び(財)大日本蚕糸会調査である。
 ・平成21年以降の製糸業は、中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会調査である。
 ・平成20年以前の絹業は経済産業省調査であり、平成21年以降絹業は(社)日本絹人織機物工業会調査である。
 平成18年以降の絹織物生産量は、絹紡織物を含む。

(注) 製糸業の運転工場数及び稼働率は器械製糸工場の操業状況であるが、平成14年以降はすべての製糸工場のもの
 である。

Source: ・Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (MAFF) (Sericultural and Silk-Reeling, before 2008)
 ・National Federation of Agricultural Co-operative Associations and The Dainippon Silk Foundation (Sericultural Industry, after 2009)
 ・Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association (Silk-Reeling, after 2009)
 ・The Ministry of Economy Trade and Industry (Silk Fabric, before 2008)
 ・Japan Silk & Rayon Weaver's Association (Silk Fabric, after 2009)

Note: The number of operating mills and operation ratio are of machine reeling mills. (After 2002, all reeling mills)

(2) 養蚕業の概要

Outline of Sericultural Industry

項目 Item	養蚕農家数	桑栽培面積	桑使用面積	蚕種 掃立卵量	1箱当り 收繭量	收繭量	1戸当り 栽培面積	1戸当り 掃立卵量	1戸当り 收繭量
	Farm house- holds raising silk-worm	Growing area of mulberry	Harvested area of mulberry	Silk-worm eggs used	Cocoon production per box of silk-worm eggs used	Cocoon production	Growing area of mulberry per farm household raising silk-worm	Box of silkworm eggs used per farm household raising silk-worm	Cocoon production per farm household raising silk-worm
年次 Year	戸 number	100ha	100ha	1000箱 1,000cases	kg	t	a	箱 box	kg
1993	27,200	425	239	319	35	11,212	156	12	412
1994	19,000	339	173	228	34	7,724	178	12	406
1995	13,600	263	117	155	35	5,350	193	11	392
1996	7,890	193	66	87	35	3,021	244	11	382
1997	6,310	138	54	74	34	2,516	219	12	399
1998	5,070	103	44	60	33	1,980	203	12	390
1999	4,030	74	33	45	33	1,496	184	11	371
2000	3,280	59	27	37	33	1,244	179	11	379
2001	2,730	48	23	31	34	1,031	174	11	378
2002	2,360	43	22	26	34	880	182	11	373
2003	2,070	38	19	23	33	780	185	11	374
2004	1,850	34	18	21	38	683	186	11	369
2005	1,591	30	16	18	34	626	188	12	396
2006	1,345	27	14	15	34	505	198	11	375
2007	1,169	24	12	13	35	433	202	11	371
2008	1,021	20	10	11	36	382	197	10	374
対前年比 2008/07 (%)	87.3	83.3	83.3	84.6	102.9	88.2	97.5	90.9	100.8

資料：農林水産省統計情報部調査（～2001年）、農林水産省生産局調査（2002年～）。

Source : The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2001) .
The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2002～) .

(3) 養蚕農家数の推移

Farm households raising silk-worm

(単位：戸)
(Unit: number)

年次 Year	項目 Item	年間 Annual total	春蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 Early autumn silk-worm	晩秋蚕 Late autumn silk-worm
1993		27,180	24,160	17,450	20,740
1994		19,040	16,790	13,190	14,790
1995		13,640	12,450	9,560	9,580
1996		7,890	6,980	5,000	6,290
1997		6,310	5,650	4,420	5,120
1998		5,070	4,550	3,750	4,120
1999		4,030	3,600	2,710	3,280
2000		3,280	2,970	2,170	2,700
2001		2,730	2,410	1,870	2,270
2002		2,360	1,992	1,720	1,918
2003		2,070	1,875	1,503	1,751
2004		1,850	1,621	1,371	1,551
2005		1,591	1,420	1,061	1,345
2006		1,345	1,215	852	1,102
2007		1,169	1,052	726	988
2008		1,021	929	613	857
対前年比 2008/07 (%)		87.3	88.3	84.4	86.7

資料：農林水産省統計情報部調査（～2001年）、全国農業協同組合連合会調査（2002年～2004年、参考数値）、
農林水産省生産局調査（2005年～）。

Source : The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2001).
National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002～2004) .
The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005～) .

(4) 収繭量の推移
Cocoon Production

項目 Item 年次 Year	年計 Annual total				1戸当り収繭量 Cocoon production per farm household raising silk-worm				桑使用面積 10a当たり 収繭量(年間) Cocoon production per farm harvested area of mulberry kg/10a
	年間 Annual total	春蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 early autumn silk-worm	晩秋蚕 Late autumn silk-worm	年間 Annual total	春蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 early autumn silk-worm	晩秋蚕 Late autumn silk-worm	
	t	t	t	t	kg	kg	kg	kg	
1993	11,212	4,624	3,060	3,529	412	191	175	170	47
1994	7,724	3,036	2,044	2,644	406	181	155	170	46
1995	5,350	2,222	1,477	1,651	392	178	155	172	46
1996	3,021	1,184	747	1,090	382	170	149	173	46
1997	2,516	982	678	857	398	174	153	167	46
1998	1,980	769	588	623	390	169	157	151	45
1999	1,496	596	391	509	371	166	144	155	46
2000	1,244	500	320	424	379	169	148	157	47
2001	1,031	391	275	365	378	162	147	161	47
2002	880	330	231	320	373	166	134	167	40
2003	775	313	210	253	374	167	140	144	40
2004	675	256	176	243	369	158	128	157	38
2005	626	243	165	218	396	171	156	162	40
2006	505	209	122	173	375	172	143	157	36
2007	433	175	110	148	371	166	152	150	37
2008	382	147	96	139	374	158	157	162	39
対前年比 2008/07(%)	88.2	84.0	87.3	93.9	100.8	95.2	103.3	108.0	105.4
構成比(%)	100.0	38.5	25.1	36.4					

資料：農林水産省統計情報部調査（～2001年）、全国農業協同組合連合会調査（2002年～2004年、参考数値）、
農林水産省生産局調査（2005年～）。

Source : The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2001).
National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002～2004) .
The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005～) .

(5) 都府県別養蚕農家数・桑使用面積・収繭量 (2008年)

Farm households raising silk-worm, Harvested area of mulberry and Cocoon production by prefectures in 2008

項目 Item 県別 Each Prefecture	年計 Annual total			春繭 spring silk-worm		初秋繭 Early autumn silk-worm		晩秋繭 late autumn silk-worm	
	養蚕農家数	桑使用面積	収繭量	養蚕農家数	収繭量	養蚕農家数	収繭量	養蚕農家数	収繭量
	Farm households raising silk-worm	Harvested area of mulberry	Cocoon production	Farm households raising silk-worm	Cocoon production	Farm households raising silk-worm	Cocoon production	Farm households raising silk-worm	Cocoon production
	number	ha	t	number	t	number	t	number	t
岩手 Iwate	29	30	11.0	22	2.8	21	4.0	26	4.2
宮城 Miyagi	39	37	13.0	28	4.6	28	3.8	32	4.5
山形 Yamagata	15	24	5.6	12	2.2	11	1.3	13	2.2
福島 Fukushima	104	116	51.3	99	18.1	33	14.2	89	19.1
茨城 Ibaragi	39	30	14.5	39	5.8	32	3.8	33	5.0
栃木 Tochigi	50	86	39.4	48	14.8	35	7.4	46	17.2
群馬 Gunma	417	471	161.2	383	63.2	249	40.9	370	57.2
埼玉 Saitama	97	75	32.8	93	12.1	74	8.7	83	12.0
千葉 Chiba	13	6	3.9	12	1.4	6	0.7	10	1.8
神奈川 Kanagawa	12	..	2.3	11	0.9	9	0.6	12	0.9
山梨 Yamanashi	34	26	11.7	30	5.6	15	2.3	22	3.8
長野 Nagano	46	32	13.2	42	5.4	37	3.4	35	4.4
岐阜 Gifu	28	12	4.4	24	2.1	13	0.5	22	1.7
徳島 Tokushima	23	10	4.6	22	2.4	13	1.0	16	1.2
愛媛 Ehime	22	19	7.6	16	2.8	21	2.5	18	2.4
熊本 Kumamoto	11	4	1.3	11	0.9	6	0.2	7	0.2
その他 Others	42	14	4.0	37	1.6	10	0.7	23	1.3
全国計 Total	1,021	992	381.8	929	146.7	613	96.0	857	139.1

資料：農林水産省生産局調査。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries.

(6) 蚕品種別蚕種製造数量 (2008年)
Production by Sort of Silk-worm Eggs

	2007年夏秋蚕用 for summer & autumn rearing		2008春蚕用 for spring rearing		2008夏秋蚕用 for summer & autumn rearing		合 計 Total	
	箱 box	割合 rate	箱 box	割合 rate	箱 box	割合 rate	箱 box	割合 rate
錦 秋 × 鐘 和	2,600	73.5			2,380	67.9	4,980	33.5
春 嶺 1 号 × 鐘 月 1 号			2,390	30.6	360	10.3	2,750	18.5
ぐ ん ま × 200	302	8.5	1,575	20.2	210	6.0	2,087	14.1
錦 秋 1 号 × 鐘 和 1 号			1,910	24.5			1,910	24.5
春 嶺 × 鐘 月			1,100	14.1			1,100	14.1
朝 ・ 日 × つくば・ね			100	1.3	500	14.3	600	4.0
新 小 石 丸	119	3.4	243	3.1			362	2.4
改 良 あ け ぼ の	180	5.1	80	1.0	50	1.4	310	2.1
世 ・ 紀 × 二 ・ 一	108	3.1	99	1.3			207	1.4
上 州 絹 星	101	2.9	101	1.3			202	1.4
ぐ ん ま 黄 金	14	0.4	125	1.6	3	0.1	142	1.0
芙 ・ 蓉 × つくば・ね	100	2.8					100	0.7
蚕 太			41	0.5			41	0.5
新 青 白	11	0.3	23	0.3			34	0.3
小 石 丸			24	0.3			24	0.3
合 計 Total	3,535	23.8	7,811	52.6	3,503	23.6	14,849	100.0

資 料 : 農林水産省生産局調査。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries.

(7) 平成22年度蚕期別、都府県別繭生産量

(全農集計に(財)大日本蚕糸会蚕糸・絹業提携支援センター集計分を加えた数値)

(単位: kg、%) 平成23年1月14日現在

都府県等	春 蚕 期			初 秋 蚕 期			晩 秋 蚕 期			年 間		
	21年	22年	前年 対比	21年	22年	前年 対比	21年	22年	前年 対比	21年	22年	前年 対比
青森県	192.1	0.0	0.0%	153.1	137.4	89.7%	151.1	144.7	95.8%	496.3	282.1	56.8%
岩手県	2,526.0	2,017.6	79.9%	3,305.0	2,783.7	84.2%	3,694.6	3,049.7	82.5%	9,525.6	7,851.0	82.4%
宮城県	3,299.9	2,755.5	83.5%	2,692.3	2,335.9	86.8%	3,757.0	3,046.5	81.1%	9,749.2	8,137.9	83.5%
秋田県	0.0	0.0	-	0.0	0.0	-	0.0	0.0	-	0.0	0.0	-
山形県	2,296.3	1,649.3	71.8%	1,128.3	761.7	67.5%	1,807.6	1,254.4	69.4%	5,232.2	3,665.4	70.1%
福島県	15,188.1	12,488.4	82.2%	14,670.8	11,946.4	81.4%	17,676.8	16,645.2	94.2%	47,535.7	41,080.0	86.4%
茨城県	4,814.0	3,672.0	76.3%	3,541.5	2,653.6	74.9%	4,242.9	3,181.4	75.0%	12,598.4	9,507.0	75.5%
栃木県	12,984.9	12,003.5	92.4%	6,901.5	4,465.3	64.7%	15,963.0	14,350.8	89.9%	35,849.4	30,819.6	86.0%
群馬県	55,127.7	49,138.1	89.1%	34,626.8	23,357.1	67.5%	49,254.0	38,871.7	78.9%	139,008.5	111,366.9	80.1%
埼玉県	9,778.9	9,018.9	92.2%	7,000.2	4,968.6	71.0%	8,475.9	6,903.5	81.4%	25,255.0	20,891.0	82.7%
千葉県	1,347.4	1,263.6	93.8%	976.8	671.7	68.8%	1,390.9	1,310.9	94.2%	3,715.1	3,246.2	87.4%
東京都	539.8	543.1	100.6%	0.0	0.0	-	440.0	342.3	77.8%	979.8	885.4	90.4%
神奈川県	863.9	884.8	102.4%	593.0	584.8	98.6%	735.4	637.9	86.7%	2,192.3	2,107.5	96.1%
山梨県	4,522.1	3,851.7	85.2%	1,824.1	1,170.0	64.1%	2,807.9	2,508.8	89.3%	9,154.1	7,530.5	82.3%
長野県	2,531.4	3,016.2	119.2%	3,116.3	2,212.9	71.0%	2,932.4	2,533.0	86.4%	8,580.1	7,762.1	90.5%
新潟県	0.0	0.0	-	102.3	46.6	-	44.7	51.9	116.1%	147.0	98.5	67.0%
岐阜県	1,978.6	1,351.3	68.3%	391.2	232.8	59.5%	1,170.6	687.4	58.7%	3,540.4	2,271.5	64.2%
静岡県	0.0	0.0	-	0.0	0.0	-	0.0	0.0	-	0.0	0.0	-
愛知県	113.7	120.9	106.3%	0.0	0.0	-	34.9	0.0	-	148.6	120.9	81.4%
兵庫県	92.0	83.5	90.8%	83.6	80.0	95.7%	83.0	66.0	79.5%	258.6	229.5	88.7%
京都府	121.0	102.4	84.6%	74.1	97.5	131.6%	64.6	40.6	62.8%	259.7	240.5	92.6%
徳島県	1,674.6	0.0	0.0%	919.6	0.0	0.0%	1,148.6	0.0	0.0%	3,742.8	0.0	0.0%
愛媛県	2,340.2	2,172.3	92.8%	2,741.0	1,183.1	43.2%	1,937.2	1,671.9	86.3%	7,018.4	5,027.3	71.6%
高知県	344.5	280.4	81.4%	0.0	0.0	-	144.4	128.1	88.7%	488.9	408.5	83.6%
熊本県	817.3	543.4	66.5%	128.3	0.0	0.0%	237.5	271.6	114.4%	1,183.1	815.0	68.9%
宮崎県	165.6	136.6	-	0.0	0.0	-	131.8	62.7	-	297.4	199.3	67.0%
全国計	123,660.0	107,093.5	86.6%	84,969.8	59,689.1	70.2%	118,326.8	97,761.0	82.6%	326,956.6	264,543.6	80.9%

資料:全国農業協同組合連合会及び(財)大日本蚕糸会調査

Source:National Federation of Agricultural Co-operative Associations and The daiinpon Silk Foundation

(8) 平成22年度蚕期別、都府県別養蚕農家戸数

成22年12月現在、全農調査（単位：戸、％）

都府県名	春 蚕 期			初 秋 蚕 期			晩 秋 蚕 期			年 間		
	21年	22年	前年対比	21年	22年	前年対比	21年	22年	前年対比	21年	22年	前年対比
青森県	1	1	100.0	1	1	100.0	1	1	100.0	1	1	100.0
岩手県	21	15	71.4	23	23	100.0	28	23	82.1	33	27	81.8
秋田県	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-
宮城県	30	21	70.0	23	17	73.9	33	21	63.6	37	28	75.7
山形県	11	10	90.9	10	9	90.0	11	9	81.8	12	11	91.7
福島県	83	71	85.5	72	65	90.3	82	76	92.7	95	83	87.4
茨城県	33	18	54.5	28	20	71.4	24	20	83.3	33	37	112.1
栃木県	43	37	86.0	32	25	78.1	40	38	95.0	47	40	85.1
群馬県	336	288	85.7	290	216	74.5	330	278	84.2	373	310	83.1
埼玉県	72	63	87.5	57	48	84.2	68	59	86.8	79	68	86.1
千葉県	12	10	83.3	9	7	77.8	9	8	88.9	12	11	91.7
東京都	6	6	100.0	0	0	-	7	5	71.4	7	7	100.0
神奈川県	9	9	100.0	10	10	100.0	10	10	100.0	12	12	100.0
新潟県	15	0	-	2	1	50.0	3	1	33.3	15	1	6.7
山梨県	31	24	77.4	14	7	50.0	22	21	95.5	31	27	87.1
長野県	32	28	87.5	26	19	73.1	27	25	92.6	39	31	79.5
岐阜県	25	18	72.0	9	8	88.9	18	17	94.4	27	21	77.8
静岡県	1	0	0.0	1	0	-	1	0	-	1	0	-
愛知県	2	1	50.0	1	0	-	0	0	-	3	1	33.3
兵庫県	1	1	100.0	1	1	100.0	0	1	-	1	1	100.0
島根県	1	0	-	0	0	-	1	0	-	1	0	0.0
徳島県	16	0	-	12	0	0.0	13	0	-	16	0	-
愛媛県	17	17	100.0	19	15	78.9	17	19	111.8	22	19	86.4
高知県	4	4	100.0	0	0	-	3	3	100.0	5	5	100.0
熊本県	10	8	80.0	4	2	50.0	6	4	66.7	10	8	80.0
宮崎県	2	4	200.0	3	0	-	1	2	200.0	3	4	133.3
全国計	814	654	80.3	647	494	76.4	755	641	84.9	915	753	82.3

資料：全国農業協同組合連合会調査

Source: National Federation of Agricultural Co-operative Associations

(9) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況

Raw Silk Supply / Demand Balance and Import/Export Balance of Silk Yarn and Silk Fabric

項目 Item 年月 Year & Month	生 糸 Raw Silk					絹 糸 Silk Yarn		絹 織 物 Silk Fabrics	
	生産数量	輸入数量	輸出数量	国内引渡数量	期末在庫数量	輸入数量	輸出数量	輸入数量	輸出数量
	Production (A)	Imports (B)	Exports (C)	Domestic Deliveries (D)	Ending Stocks (E)	Imports (F)	Exports (G)	Imports (H)	Exports (I)
暦年 Calendar Year	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	1000SM	1000SM
2005	2,508	22,017	4,125	26,429	8,178	32,700	609	15,999	8,252
2006	1,956	19,974	—	20,752	9,356	31,524	568	12,959	7,578
2007	1,747	12,601	—	15,624	7,879	19,439	404	11,355	7,184
2008	1,588	15,031	—	20,115	4,584	22,636	466	11,640	7,126
2009	1,152	12,085	—	13,766	4,055	16,647	388	8,996	6,269
2010	882	12,209	—	13,817	3,329	16,306	324	9,029	6,299
生糸年度 Silk Year									
2004	3,868	20,154	11,500	27,002	7,274	30,204	565	14,130	7,286
2005	2,024	26,365	—	25,737	9,926	36,113	500	16,121	8,655
2006	1,794	13,394	—	16,873	8,241	21,561	534	10,730	7,152
2007	1,762	15,564	—	20,286	5,281	22,936	433	12,255	6,087
2008	1,378	12,137	—	14,638	4,158	18,716	378	10,320	6,806
2009	1,029	12,857	—	14,383	3,661	17,481	366	8,639	6,182
2009 - 8	88	921	—	847	4,060	1,646	37	683	469
9	94	1,174	—	1,117	4,211	1,525	31	603	448
10	93	1,083	—	1,440	3,947	1,664	26	737	657
11	86	1,060	—	1,365	3,728	1,525	65	733	476
12	82	1,771	—	1,526	4,055	1,423	37	715	529
2010 - 1	71	1,061	—	1,239	3,948	1,683	21	781	444
2	78	722	—	930	3,818	1,435	4	563	485
3	87	1,182	—	1,437	3,650	1,051	13	600	618
4	78	612	—	1,111	3,229	1,318	9	710	557
5	77	1,532	—	1,177	3,661	1,192	20	821	511
6	77	919	—	1,115	3,542	1,325	19	745	528
7	76	645	—	1,042	3,221	1,573	54	783	551
8	61	985	—	1,063	3,204	1,303	19	873	482
9	60	1,174	—	1,181	3,257	1,235	32	750	582
10	71	1,070	—	798	3,600	1,254	74	659	555
11	72	1,082	—	1,187	3,567	1,453	36	879	480
12	74	1,223	—	1,535	3,329	1,485	23	836	506
2011 - 1	53	1,448	—	1,521	3,309	1,790	18	976	427

資料：(A) (C) (D) (E) 農林水産省生産局調査。(B) 財務省関税局調査、ただし96年1月から08年3月までの輸入は、農畜産業振興機構調査の実需者輸入分と一般者輸入分を合わせた数値。(F) (G) (H) (I) 財務省関税局調査。

備考：1. 国内引渡数量(D) = {前月在庫数量+(A)+(B)} - {(C)+(E)}。

2. kgを60kg俵に換算しているため、各月の計と合計とが一致しない場合がある。

Source：(A) (C) (D) (E) The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries.

(B) The Customs Bureau, Ministry of Finance. But the figures for raw silk imports have been based on date of the Agriculture & Livestock Industries Corporation since Jan. 1996 until Mar. 2008, excluding bonded silk.

(F) (G) (H) (I) The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks：1. Domestic deliveries(D) = {Stock at end of the previous month+(A)+(B)} - {(C)+(E)}.

2. Monthly volume may not add up the total volume due to round off.

(10) 生糸の織度別生産数量の推移
Raw Silk Production by Sizes

(単位：60kg俵)
(Unit: Bales of 60kg)

項目 Item	生 糸 Raw Silk					
	計 Total	18デニール以下 17/19or 17/19 finer	21デニール 20/22	27デニール 26/28	31デニール 30/32	その他 Others
暦 年 Calendar Year						
2005	2,508	8	337	834	799	527
2006	1,956	4	240	531	653	523
2007	1,747	5	259	495	514	474
2008	1,588	4	289	421	368	503
2009	1,152	1	243	392	251	262
2010	882	1	179	316	86	300
生糸年度 Silk Year						
2005	2,024	6	261	510	726	518
2006	1,794	4	269	480	562	475
2007	1,762	5	276	443	495	537
2008	1,378	1	291	447	280	360
2009	1,029	0	205	358	208	242
2009 - 12	73	0	20	26	11	16
2010 - 1	70	0	25	15	10	19
2	78	0	10	42	8	17
3	87	0	19	28	27	13
4	78	—	31	13	9	25
5	77	—	9	34	9	25
6	77	—	7	36	—	34
7	76	—	11	32	2	31
8	61	—	12	24	1	24
9	60	—	29	9	7	15
10	71	—	12	27	5	27
11	72	1	6	31	—	34
12	74	0	7	24	8	35
2011 - 1	53	—	27	12	4	10

資 料：農林水産省生産局調査(～2010.3)。中央蚕糸協会(2010.4～)。

備 考：kgを60kg俵に換算しているため、各月の計と合計とが一致しない場合がある。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010.3). Central Raw Silk Association (2010.4～).

Remarks : Monthly volume may not add up the total volume due to round off.

(11) 国産生糸価格実態

Japanese Raw Silk Actual Condition Price

単位：円/kg
(Unit: Yen/kg)

Size	21d	27d	31d	平均 Average
平成17年	3,870	3,173	3,107	3,383
平成18年	4,617	4,267	4,080	4,321
平成19年	3,961	3,625	3,573	3,720
平成20年	4,266	3,754	3,489	3,836
平成21年	4,171	3,598	3,136	3,635
平成22年	4,152	3,891	3,564	3,864
平成21年 9月	4,150	3,627	2,986	3,588
10月	4,149	3,450	3,195	3,598
11月	4,461	3,547	3,145	3,718
12月	3,980	3,581	3,055	3,539
平成22年 1月	3,900	3,876	3,643	3,806
2月	4,200	3,682	3,281	3,721
3月	4,000	3,758	3,327	3,695
4月	4,026	3,750	3,100	3,625
5月	4,144	3,876	3,314	3,778
6月	4,192	3,867	3,729	3,929
7月	4,000	3,883	3,600	3,828
8月	4,256	3,893	3,814	3,988
9月	4,209	3,965	3,625	3,933
10月	4,231	4,106	3,833	4,057
11月	4,338	4,149	3,942	4,143
12月	4,329	4,336	4,002	4,222
平成23年 1月	4,267	4,267	4,127	4,220
2月	4,763	4,737	5,400	4,967

注：国産生糸価格実態は、調査対象生糸売買業者の平均取引価格である。

資料：（社）日本生糸問屋協会

Remarks: Japan raw silk actual condition price is average trade price among domestic dealers

Source: Japan Raw Silk Dealer's Association

(参考) 中国生糸電子取引値段

China Raw Silk Monthly Prices of Electric Contract Traded

生糸A類(21デニール5A)
Standard Raw Silk:21d 5A

上段単位:元/kg、下段:円/kg
(Upper Sec Unit:Yuan/kg,Lower Sec Unit:Yen/kg)

	限月 Month	単位	始値 Open	安値 Low	高値 High	終値 Close
3月中	3月	元	360.17	360.17	361.46	361.46
		円	4,682	4,682	4,699	4,699
	4月	元	349.20	349.20	350.61	350.61
		円	4,540	4,540	4,558	4,558
	5月	元	340.89	340.89	342.09	342.09
		円	4,432	4,432	4,447	4,447
	6月	元	335.66	335.66	336.21	336.21
		円	4,364	4,364	4,371	4,371
	7月	元	329.61	329.61	330.30	330.30
		円	4,285	4,285	4,294	4,294
	8月	元	328.89	328.89	329.61	329.61
		円	4,276	4,276	4,285	4,285
	9月	元	328.93	328.93	329.70	329.70
		円	4,276	4,276	4,286	4,286
	11月	元	325.63	325.63	326.23	326.23
		円	4,233	4,233	4,241	4,241
	1月	元	325.63	325.63	326.23	326.23
		円	4,233	4,233	4,241	4,241

円換算レートは、1元=13.00円である。

資料: 中国繭絲綢交易市場(浙江省嘉興)

Remarks: Rate 1Yuan = 13.00Yen

Source: China Silk Exchange (Zhejiang Sheng Jia Xing)

(12) 絹需給の推移 (生糸量換算試算)

Silk Supply and Demand Balance (Raw Silk Value Estimation)

(単位：千俵)
(Unit: 1,000 Bales of
201)

項目 Item 曆年 Calendar Year	供給計 Supply Total ①								需要計 Demand Total ②=①-④						期末 在庫 Ending Stocks ④	
	期初 在庫 Opening Stocks	生産 Produc- tion	輸入 Import					輸出 Export					内需 Domestic Demand ②-③			
			計 Total	生糸 Raw Silk	絹糸 Silk Yarn	織物 Fabrics	二次 The Second	計 Total ③	生糸 Raw Silk	絹糸 Silk Yarn	織物 Fabrics	二次 The Second				
1990	462	164	95	203	35	16	59	93	290	13	—	0	9	4	277	172
1991	494	172	92	230	46	29	62	93	327	11	0	0	7	4	316	167
1992	460	167	85	208	26	21	60	101	308	11	—	0	7	4	297	152
1993	483	152	71	260	25	38	65	132	345	11	—	0	7	4	334	138
1994	525	138	65	322	26	37	64	195	390	10	—	0	7	3	380	135
1995	515	135	54	326	30	31	61	204	377	11	0	1	8	2	366	138
1996	507	138	43	326	35	49	62	180	374	13	0	0	9	4	361	133
1997	401	133	32	236	34	35	43	124	270	14	0	0	11	3	256	131
1998	345	131	18	196	28	23	28	117	222	13	0	0	11	2	209	123
1999	361	123	11	227	41	28	31	127	242	13	0	0	11	2	229	119
2000	376	119	9	248	39	32	28	149	263	16	0	0	14	2	247	113
2001	350	113	7	230	30	23	25	152	237	17	0	0	15	2	220	113
2002	366	113	7	246	32	28	24	162	261	18	0	0	16	2	243	105
2003	361	105	5	251	31	33	25	162	261	20	2	0	17	1	241	100
2004	353	100	4	249	26	30	25	168	268	30	11	0	18	1	238	85
2005	354	85	3	266	22	33	30	181	270	27	4	1	21	1	243	84
2006	334	84	2	248	20	32	24	172	257	22	0	1	20	1	235	77
2007	293	77	2	214	13	19	21	161	222	21	0	1	18	2	201	71
2008	276	71	2	203	15	23	20	145	213	16	0	0	15	1	197	63
2009	237	63	1	173	12	16	15	130	190	16	0	0	15	1	174	47
対前年比 2009/08 (%)	86	89	50	85	80	70	75	90	89	100	—	—	100	100	88	75

資料：蚕糸業需給・価格動向隔月報・繊維統計月報・日本貿易月報より、農林水産省生産局がとりまとめたものである。

ただし、2000年以降は農林水産省生産局の協力により、(社)日本生糸問屋協会が試算推計したものである。

Source: "Silk balance and price situation monthly", "Trade Statistics" (arranged by Agricultural Production Bureau, MAFF)

After 2000, estimated by Japan Raw Silk Dealer's Association through collaboration with Agricultural Production Bureau, MAFF.

(13) 品目別・二次製品輸入数量 (生糸量換算試算)

Breakdown of Silk Second Products Imports (Raw Silk Value Estimation)

(単位：千俵)

(Unit: 1,000 Bales of 60kg)

項目 Item		暦年 Calendar Year							前年比% y/y	構成比% ratio
		2004	2005	2006	2007	2008	2009			
布 は く 製 Product made in cloth	男子用外衣類 Men's upper garments	2.6	2.7	3.7	3.9	2.5	1.8	72.0	1.4	
	女子用外衣類 Women's upper garments	54.2	59.9	56.6	50.0	40.2	37.1	92.3	28.5	
	うちブラウス Blouse of the inside	3.5	3.7	3.5	3.0	3.4	2.8	82.4	2.1	
	男子用下着・寝具衣料 Men's underwear・bedding cloth	6.3	5.8	5.7	2.2	1.6	1.1	68.8	0.8	
	女子用下着・寝具衣料 Women's underwear・bedding cloth	14.7	16.1	15.1	15.0	16.3	13.5	82.8	10.4	
	ハンカチ Handkerchief	0.8	1.9	1.0	0.5	0.5	0.4	80.0	0.3	
	ショール、スカーフ類 Shawl, scarves	3.5	3.4	2.7	3.0	2.9	2.5	86.2	1.9	
	ネクタイ類 Ties	26.4	25.2	21.4	21.6	20.8	18.2	87.5	14.0	
	メリヤス、クロセス編物 Knit. kurose knitting	19.3	19.9	18.5	21.2	19.8	15.9	80.3	12.2	
	その他の洋装類 Other western clothes	25.0	26.7	26.3	25.4	23.7	22.0	92.8	16.9	
洋装類計 Western clothes subtotal	152.8	161.6	151.0	143.0	128.3	112.4	87.6	86.4		
和装類計 Japanese clothes subtotal	13.5	17.4	18.4	15.5	14.7	15.9	108.2	12.2		
うち絹製の帯小物等 Silk obi accessorys of the inside	10.0	14.1	16.0	12.9	12.1	13.9	114.9	10.7		
その他 Others	1.5	2.1	2.5	2.5	2.4	1.9	79.2	1.5		
合計 Total	167.8	181.0	171.9	161.0	145.4	130.2	89.5	100.0		

資料：財務省「日本貿易月報」により（社）日本生糸問屋協会で作成したものである。

注：ラウンドにより合計が一致しないことがある。

Source: The Customs Bureau, Ministry of Finance "Trade Statistics"
(arranged by Raw Silk Dealer's Association)

Note: Total may not added up due to round off.

(14) 製糸工場の原料繭需給

Balance of Cocoons as Raw Materials by Reeling Mills

(単位：生繭. t)

(Unit: Ton by fresh weight)

年 月 Year & Month	項 目 Item	総 計 Grand Total		
		受入数量 Receipts	消費数量 Put in Process	期末在庫数量 Ending Stocks
暦 年 Calendar Year				
	2005	866	830	589
	2006	600	646	541
	2007	548	581	505
	2008	393	518	379
	2009	308	385	313
	2010	241	300	263
生糸年度 Silk Year				
	2004	1,056	1,280	224
	2005	839	673	390
	2006	562	599	349
	2007	502	583	266
	2008	406	452	224
	2009	324	337	209
Year	Month			
2009	— 6	21	33	209
	7	88	31	266
	8	56	30	292
	9	27	32	287
	10	9	31	265
	11	103	29	340
	12	5	26	319
2010	— 1	16	24	312
	2	△ 1	26	285
	3	△ 1	28	257
	4	1	23	235
	5	0	26	209
	6	54	30	233
	7	14	23	224
	8	70	19	275
	9	0	22	253
	10	80	24	309
	11	8	24	293
	12	1	31	263
2011	— 1	27	17	273

資 料：農林水産省生産局調査(～2010.3)。中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会(2010.4～)。

備 考：1. 本表は上繭及び玉屑繭の合計である。

2. 受入数量=本月末在庫数量+消費数量-前月末在庫数量。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010.3).

Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association(2010.4～).

Remarks : 1. This table includes reelable, doupion and waste cocoons.

2. Receipts=(Ending stocks of the current month)+(put in process)-(Ending stocks of the preceding month).

(15) 製糸工場の操業状況

Activities of Reeling Mills

年 月 Year & Month	項 目 Item	運転工場数 Operating Reeling Mills	設 備 数(台) Reeling Machines		運 転 率 (%) Operating Ratio	操業日数 Days Operated	従業者数 Number of Workers
			運転可能 Operable	運 転 Operating			
暦 年 Calendar Year							
	2005	10	203	126	62	269	111
	2006	9	114	94	82	266	103
	2007	8	112	93	83	266	100
	2008	6	112	90	80	266	90
	2009	6	118	71	60	259	82
	2010	7	118	58	49	247	73
2009 —	1	6	112	91	81	20	85
	2	6	118	89	75	21	88
	3	6	118	90	76	22	89
	4	6	118	86	73	22	85
	5	6	118	77	65	20	80
	6	6	118	77	65	23	83
	7	6	118	72	61	23	83
	8	6	118	75	64	20	82
	9	6	118	77	65	22	82
	10	6	118	77	65	24	82
	11	6	118	74	63	21	81
	12	6	118	71	60	21	82
2010 —	1	6	118	79	67	20	81
	2	6	118	77	65	21	80
	3	6	118	80	68	22	80
	4	7	118	79	67	20	90
	5	7	118	75	64	21	91
	6	7	118	74	63	22	84
	7	7	118	75	64	17	84
	8	7	118	76	64	18	79
	9	7	118	72	61	22	79
	10	7	118	76	64	22	79
	11	7	118	73	62	21	79
	12	7	118	58	49	21	73
2011 —	1	7	118	58	49	20	67

資 料：農林水産省生産局調査(～2010.3)。中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会(2010.4～)。

備 考：1. 設備数中の運転可能及び運転台数は毎月の算術平均である。

2. 運転率は運転可能台数に対する運転台数の比率である。

3. 従業者数は期末現在の在籍従業員数である。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010.3).
Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association(2010.4～).

Remarks : 1. The number of operable and operating reeling machines is arithmetic means of monthly figures.

2. Operating ratio means ratio of operating machines in operable machines.

3. Number of workers are those on payroll as of end of period.

(16) 生糸在庫数量の内訳

Breakdown of Raw Silk Stocks

(単位：60kg俵)
(Unit: Bales of 60kg)

項目 Item	総計 Grand Total	一 般 在 庫 Stock in markets					農畜産業振興機構 Stock of Agriculture & Livestock Industries Corporation		
		計 Total	製糸工場 Filatures Mills	生糸市場 売買業者 Dealers	生糸市場外 売買業者 Domestic Dealers	生糸輸出 入業者 Ex and Importers	受 入 数 量 Accepts	引 渡 数 量 Deliveries	在庫数量 Ending Stocks
年 月 Year & Month									
暦 年 Calendar Year									
2005	8,178	8,178	721	139	7,008	310	22,017	26,142	—
2006	9,356	9,356	446	50	8,606	254	19,974	19,974	—
2007	8,080	8,080	359	20	7,358	343	12,601	12,601	—
2008	4,584	4,584	310	15	3,536	723	1,459	1,459	—
2009	4,055	4,055	355	10	3,162	528			
2010	3,329	3,329	319	0	2,354	656			
生糸年度 Silk Year									
2005	9,926	9,926	373	170	8,923	460	26,365	26,365	—
2006	8,241	8,241	473	20	7,564	184	13,394	13,394	—
2007	5,281	5,281	305	15	4,241	720			
2008	4,158	4,158	376	15	3,266	515			
2009	3,661	3,661	358	0	2,795	508			
2009 — 12	4,055	4,055	355	10	3,162	528			
2010 — 1	3,948	3,948	355	10	2,995	588			
2	3,818	3,818	351	10	2,961	496			
3	3,650	3,650	342	0	2,863	445			
4	3,229	3,229	355	0	2,478	396			
5	3,661	3,661	358	0	2,795	508			
6	3,542	3,542	343	0	2,644	555			
7	3,221	3,221	334	0	2,441	446			
8	3,204	3,204	340	0	2,365	499			
9	3,257	3,257	331	0	2,422	504			
10	3,600	3,600	328	0	2,646	626			
11	3,567	3,567	331	0	2,628	608			
12	3,329	3,329	319	0	2,354	656			
2011 — 1	3,309	3,309	292	0	2,388	629			

資 料：農林水産省生産局調査(～2010.3)。中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会(2010.4～)。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010.3).

Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association(2010.4～)。

(17) 蚕糸関係品目別輸入状況 (平成18年～23年1月)
Breakdown of Silk-Related Products Imports (2006～Jan. 2011)

	単位	平成23年(2011)		平成22年	平成21年	平成20年	平成19年	平成18年	22年/21年
	Unit	(1月) Jan	(累計) Accumulated	(2010)	(2009)	(2008)	(2007)	(2006)	2010/09 (%)
生糸・玉糸計 Raw Silk and Doupion Silk	俵 Bales of 60kg	1,448	1,448	12,209	12,085	15,242	12,858	21,148	101.0
絹糸 Silk Yarn	俵 Bales of	1,790	1,790	16,306	16,647	22,636	19,439	31,524	98.0
野蚕糸 Wild Raw Silk	俵 Bales of	—	—	82	149	317	333	430	55.0
繭 Cocoon	kg	2,000	2,000	13,158	9,800	4,000	13,750	18,565	134.3
真綿 Floss Silk	kg	—	—	—	—	29,071	28,660	34,176	—
ペニ Peigne	kg	—	—	—	35,331	2,770	6,336	19,760	—
くず繭 Waste Cocoon	kg	472	472	9,395	33,450	23,770	17,184	1,020	28.1
絹ノイル Silk Noil	kg	—	—	—	—	202,220	242,082	234,894	—
その他の絹 くず Other Silk Waste	kg	14,843	14,843	134,852	103,122	193,125	238,507	255,951	130.8
絹のくず計 Silk Waste Total	kg	15,315	15,315	144,247	171,903	450,956	532,769	545,801	83.9
絹紡糸 Spun silk yarn from silk waste other than noil	kg	57,036	57,036	451,219	335,710	526,662	608,270	756,065	134.4
絹紡細糸 Spun silk yarn from noil silk	kg	13,233	13,233	104,374	97,554	143,585	117,265	208,913	107.0
絹織物 Silk Fabrics	m ²	976,429	976,429	9,029,003	8,996,010	11,540,335	11,355,333	12,989,059	100.4

資料：財務省関税局

備考：絹ノイルと真綿の統計は、平成21年1月より廃止された。

Source: The Customs Bureau, Ministry of Finance

(18) 生糸の原産国別輸入数量
Raw Silk Imports

(単位：60kg 俵)
(Unit: Bales of 60kg)

年 月 Year & Month	国 名 Country	計	中国	ブラジル	ベトナム	タイ	その他
		Total	China	Brazil	Vietnam	Thailand	Others
暦年 Calendar Year							
2008		15,242 (137)	11,024 (102)	4,101 (35)	-	117 (-)	-
2009		12,085 (72)	8,169 (51)	3,855 (21)	11 (-)	50 (-)	-
2010		12,209 (65)	8,411 (40)	3,706 (25)	0	77	-
生糸年度 Silk Year							
2008		12,138 (103)	8,572 (89)	3,435 (14)	11	122	-
2009		12,845 (66)	8,787 (38)	3,986 (28)	-	73	-
2009	- 3	921 (7)	820 (7)	97	-	5	-
	4	529 (18)	333 (10)	181 (8)	11	5	-
	5	1,379 (5)	859 (5)	520	-	-	-
	6	800	636	162	-	2	-
	7	927	842	79	-	6	-
	8	921 (10)	819 (10)	96	-	7	-
	9	1,174	890	284	-	-	-
	10	1,083 (15)	776 (2)	299 (13)	-	7	-
	11	1,060 (16)	500 (16)	553	-	7	-
	12	1,771	807	954	-	10	-
2010	- 1	1,061	857	205	-	-	-
	2	722	490	229	-	3	-
	3	1,182 (5)	639	512 (5)	-	31	-
	4	612	449	163	-	-	-
	5	1,532 (20)	1,082 (10)	450 (10)	-	-	-
	6	919 (4)	681	237 (4)	-	1	-
	7	645 (5)	396 (5)	246	-	2	-
	8	985 (15)	790 (15)	176	-	19	-
	9	1,174	892	282	-	-	-
	10	1,070 (16)	670 (10)	400 (6)	-	-	-
	11	1,082	843	234	1	5	-
	12	1,223	651	572	-	-	-
2011	- 1	1,448 (13)	1,168 (10)	274 (3)	-	6	-

資 料 : 財務省関税局調査

備 考 : 1. kgを60kg俵単位に換算してあるので、国別の計と合計が一致しない場合がある。
2. () 書きは、玉糸の輸入数量で内数である。

Source : The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks : 1. Country volume may not add up the total volume due to round off.
2. Figures in parenthesis indicate the break down for doupion silk imports.

(19) 絹糸の原産国別輸入数量
Silk Yarn Imports

(単位：60kg俵)
(Unit: Bales of 60kg)

年月 Year & Month	国名 Country	計 Total	韓国 S Korea	中国 China	ベトナム Vietnam	イタリア Italy	アメリカ USA	ブラジル Brazil	その他 Others
暦年 Calendar Year									
2008		22,636	30	12,513	6,865	12	—	3,204	12
2009		16,647	—	9,655	5,096	10	—	1,742	144
2010		16,306	—	9,675	4,694	16	—	1,716	205
生糸年度 Silk Year									
2007		22,936	7	13,263	6,344	15	—	3,297	10
2008		18,716	23	10,677	5,700	11	—	2,242	64
2009		17,481	—	9,940	5,065	7	—	1,953	186
2009	— 1	1,281	—	842	278	—	—	159	2
	2	801	—	253	463	—	—	65	19
	3	1,213	—	734	300	3	—	176	—
	4	1,459	—	959	317	—	—	148	35
	5	1,092	—	672	362	2	—	57	—
	6	1,363	—	768	489	—	—	106	—
	7	1,656	—	1,046	438	—	—	171	—
	8	1,646	—	842	664	—	—	140	—
	9	1,525	—	911	447	4	—	106	58
	10	1,664	—	808	563	0	—	293	—
	11	1,525	—	800	604	—	—	120	0
	12	1,423	—	1,021	170	—	—	202	30
2010	— 1	1,683	—	1,086	478	—	—	118	1
	2	1,435	—	713	491	2	—	230	—
	3	1,051	—	506	343	1	—	132	68
	4	1,318	—	747	363	—	—	178	29
	5	1,192	—	692	342	—	—	157	—
	6	1,325	—	889	296	—	—	135	4
	7	1,573	—	1,026	352	—	—	144	50
	8	1,303	—	784	382	—	—	137	0
	9	1,235	—	811	302	—	—	121	1
	10	1,254	—	754	366	2	—	132	—
	11	1,453	—	790	526	—	—	81	56
	12	1,485	—	877	465	1	—	141	1
2011	— 1	1,790	—	1,108	543	—	—	139	—

資料：財務省関税局調査。

備考：kgを60kg俵単位に換算してあるので、国別の計と合計が一致しない場合がある。

Source：The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks：Country volume may not add up the total volume due to round off.

(20) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入量と単価

Raw Silk and Silk Yarn Imports

単位：俵, Kg/円

項目 Item	輸入生糸 (通関ベース) Raw Silk Imprt				輸入絹糸 (通関ベース) Silk Yarn Import					
	中国 China		ブラジル Brazil		中国 China		ブラジル Brazil		ベトナム Vietnam	
	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price
暦年 Calendar Year										
1999	27,446	2,439	14,602	3,026	11,729	2,979	6,069	3,706	2,886	
2000	30,147	2,655	11,772	3,340	13,769	2,789	5,712	3,543	6,255	3,168
2001	22,018	2,824	8,339	3,713	10,303	3,149	5,130	3,790	6,607	3,688
2002	24,521	2,241	7,909	3,192	13,256	2,556	6,097	3,299	7,122	3,053
2003	24,074	1,988	7,260	2,436	17,408	2,182	6,223	2,740	7,167	2,499
2004	18,016	2,435	7,387	3,631	13,280	2,576	7,444	3,038	7,076	2,624
2005	17,327	2,638	5,308	2,903	18,977	3,105	5,767	3,301	7,550	2,933
2006	14,739	3,736	6,181	4,188	17,019	4,172	5,675	4,543	8,706	3,643
2007	8,793	3,321	3,846	3,778	11,726	3,586	2,930	4,305	4,744	3,972
2008	12,190	3,104	4,153	3,490	12,513	3,361	3,204	3,989	6,865	3,220
2009	8,169	2,740	3,855	3,059	9,655	2,840	1,742	3,611	5,096	3,034
2010	8,411	3,667	3,705	3,773	9,675	3,730	1,706	4,161	4,694	3,411
2010 - 1	857	3,321	205	3,350	1,086	3,410	118	3,773	478	3,047
2	490	3,299	229	3,361	713	3,513	230	3,806	491	3,141
3	639	3,395	512	4,702	506	3,344	132	4,062	343	3,176
4	449	3,543	163	3,809	747	3,667	178	4,253	363	3,472
5	1,082	3,540	450	3,693	692	3,717	157	4,170	342	3,424
6	681	3,639	237	3,877	889	3,679	135	4,208	296	3,408
7	396	3,572	246	3,811	1,026	3,729	144	4,221	352	3,468
8	790	3,599	176	3,632	784	3,747	137	4,048	382	3,376
9	892	3,696	282	3,866	811	3,760	121	4,405	302	3,517
10	670	3,834	400	3,620	754	3,928	132	4,317	366	3,507
11	843	3,983	234	3,650	790	3,984	81	4,161	526	3,478
12	651	4,225	572	3,906	877	4,277	141	4,503	465	3,918
2011 - 1	1,168	4,370	274	4,055	1,108	4,372	139	4,519	543	3,901
2	521	4,626	72	4,293	559	4,578	110	4,465	312	3,890

資料：財務省調査。通関統計による、単価はCIF価格である。

Source : The customs Bureau ,Ministry of Finance

(21) 絹織物生産数量

Production of Silk Fabrics

(単位：1,000㎡)
(Unit: 1,000sq. meters)

品 種 Type of Fabrics	総 数 Grand Total	絹・絹紡織物 Silk and Spun Silk Fabrics							
		広 巾 織 物 Double Width				小 巾 織 物 Single Width			その他の 後練(後染) Other Piece Dyed Silk Fabrics
		計 Total	羽二重類 Habutae	クレープ類 Crepe	先 練 (先染) Dyed Yarn	計 Total	ちりめん類 Silk crape	先 練 (先染) Dyed Yarn	
年 月 Year & Month									
暦 年 Calendar Year									
2005	19,816	6,669	2,965	1,903	1,801	10,248	6,930	3,318	2,849
2006	18,507	6,105	2,732	1,727	1,646	9,311	5,966	3,345	3,090
2007	15,466	5,215	2,276	1,547	1,392	7,709	4,671	3,038	2,542
2008	14,043	4,887	2,061	1,419	1,407	6,929	4,263	2,666	2,228
2009	11,472	3,733	1,445	1,205	1,083	6,094	3,966	2,128	1,645
2010	11,659	3,790	1,471	1,224	1,095	6,201	4,034	2,167	1,668
2010 — 1	833	271	105	88	78	443	288	155	119
2	939	305	118	99	88	500	325	175	134
3	965	314	122	101	91	513	334	179	138
4	997	324	126	105	94	530	345	185	143
5	980	319	124	103	92	521	339	182	140
6	1,103	358	139	116	104	587	382	205	158
7	1,014	330	128	106	95	539	351	188	145
8	901	293	114	95	85	479	312	167	129
9	962	313	121	101	90	511	333	178	138
10	995	323	125	104	93	530	344	186	142
11	1,004	326	127	105	94	534	347	187	144
12	966	314	122	101	91	514	334	180	138
2011 — 1	814	311	196	15	99	347	142	205	156

資 料：(社)日本絹人織織物工業会。

備 考：絹紡と交織を含む。単位以下四捨五入。

Source : Japan Silk & Rayon Weaver's Association.

Remarks : Spun and mixed fabrics included .

Fractions of 0.5 and over counted as a whole number and the rest disregarded.

(22)丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量

Production of Silk Fabrics in Tango , Nagahama and Nishijin

項目 Item	絹織物生産数量 Silk Fabrics Production		丹 後 Tango (白生地) (White Fabrics)		長 浜 Nagahama (白生地) (White Fabrics)		西 陣 Nishijin (帯) (Sash)	
	数 量 Quantity (千㎡) (1,000㎡)	前年(月)比 Ratio to previous year	生産数量 Production (反) (Roll)	前年(月)比 Ratio to previous year	生産数量 Production (反) (Roll)	前年(月)比 Ratio to previous year	推定出荷数量 Estimated Shipments (本)	前年(月)比 Ratio to previous year
	年 月 Year & Month							
暦 年 Calendar Year								
2005	19,816	90.3	1,058,571	94.5	170,061	89.8	691,780	88.7
2006	18,507	90.6	912,027	86.2	132,448	77.9	598,040	86.4
2007	15,466	83.6	712,560	78.1	97,204	73.4	977,719	163.5
2008	14,043	90.8	656,919	92.2	88,401	90.9	867,490	88.7
2009	11,472	81.7	503,365	76.6	73,681	83.3	746,538	86.1
2010	11,659	101.6	515,721	102.5	80,701	109.5	859,244	115.1
2008 — 3	1,282	95.3	65,402	111.1	7,959	82.4	78,494	97.2
4	1,200	90.1	57,356	91.7	7,964	90.1	74,391	87.8
5	1,201	96.5	55,793	110.6	6,381	82.2	67,669	95.0
6	1,263	92.2	65,862	95.4	9,352	130.5	57,541	68.1
7	1,184	91.4	53,644	86.7	7,548	104.3	84,867	95.5
8	1,028	91.2	46,770	97.9	5,302	87.2	66,629	74.4
9	1,156	86.7	54,846	79.4	7,416	87.8	100,298	142.6
10	1,123	86.9	49,981	85.2	7,817	83.2	62,123	101.9
11	1,127	85.7	53,365	84.4	7,973	97.1	69,923	89.7
12	1,078	83.2	49,096	79.0	5,890	72.7	55,604	82.4
2009 — 1	876	79.5	27,931	71.7	5,428	72.3	70,227	123.9
2	1,033	79.5	48,523	73.7	5,994	82.2	80,196	85.9
3	999	77.9	43,968	67.2	6,664	83.7	70,816	90.2
4	987	82.2	43,957	76.6	6,766	85.0	70,733	95.1
5	935	77.8	39,715	71.2	5,162	80.9	49,997	86.9
6	1,009	79.9	45,800	69.5	6,492	69.4	59,496	103.4
7	958	80.9	40,343	75.2	6,448	85.4	62,673	73.8
8	853	83.0	37,632	80.5	5,642	106.4	42,766	64.2
9	963	83.3	44,281	80.7	6,077	81.9	53,568	53.4
10	944	84.1	40,356	80.7	6,027	77.1	57,802	93.0
11	978	86.8	47,618	89.2	6,920	86.8	66,104	94.5
12	937	86.9	43,241	88.1	6,061	102.9	61,841	111.2
2010 — 1	834	95.2	31,911	114.2	5,989	110.3	64,521	91.9
2	939	90.9	46,194	95.2	6,366	106.2	68,288	85.2
3	965	96.6	43,859	99.8	7,813	117.2	75,704	106.9
4	997	101.0	44,458	101.1	7,506	110.9	86,802	122.7
5	981	104.9	42,508	107.0	6,642	128.7	70,454	140.9
6	1,103	109.3	44,160	96.4	7,316	112.7	72,395	121.7
7	1,014	105.8	44,163	109.5	7,146	110.8	63,858	101.9
8	901	105.6	39,856	105.9	7,022	124.4	60,415	141.3
9	962	99.9	41,925	94.7	6,925	114.0	64,965	121.3
10	995	105.4	46,366	114.9	5,807	96.3	78,060	135.0
11	1,004	102.7	45,283	95.1	6,553	94.7	68,940	104.3
12	966	103.1	45,018	104.1	5,616	92.7	68,067	110.1
2011 — 1	814	97.6	32,734	102.6	5,452	91.0		
2			42,369	91.7	5,799	91.1		

資 料 : 絹織物生産数量は(社)日本絹人織物工業会調査。主要3産地の生産量、出荷数量は社団法人日本生糸問屋協会調査。

備 考 : 2006年1月以降の西陣の帯生産数量には、帯裏地等を含む。

Source : Japan Silk & Rayon Weaver's Association and Japan Raw Silk Dealer's Association.

Remarks : Since Jan. 2006, sash livings are included in sash production.

(23) 全国全世帯被服類品目別消費支出状況

Consumption Expenditures of Total Households

項目 Item	消費支出総額 Total		被服及び履物 Clothing & footwear		和服 Japanese clothing		洋服 Clothing		シャツ・セーター Shirts & sweaters		下着類 Underwear	
	(円) Yen	前年比 (%)	(円) Yen	前年比 (%)	(円) Yen	前年比 (%)	(円) Yen	前年比 (%)	(円) Yen	前年比 (%)	(円) Yen	前年比 (%)
年月 Year & Month												
暦年 Calendar Year												
2004	304,203	0.5	13,572	▲ 2.8	559	10.5	5,257	▲ 3.5	2,936	0.9	1,213	▲ 4.7
2005	300,903	▲ 1.1	13,440	▲ 1.0	440	▲ 7.8	5,122	▲ 2.6	2,911	▲ 0.9	1,260	3.9
2006	294,943	▲ 2.0	12,776	▲ 1.0	342	▲ 7.8	5,007	▲ 2.6	2,694	▲ 0.9	1,184	3.9
2007	297,782	1.0	12,933	1.2	345	0.9	5,066	1.2	2,727	1.2	1,164	▲ 1.7
2008	296,932	▲ 0.3	12,523	▲ 3.2	299	▲ 13.3	4,890	▲ 3.5	2,598	▲ 4.7	1,133	▲ 2.7
2009	291,737	▲ 0.2	11,994	▲ 3.3	261	▲ 12.0	4,622	▲ 4.2	2,468	▲ 4.0	1,098	▲ 2.9
2010	290,244	0.3	11,499	▲ 2.9	245	▲ 6.0	4,459	▲ 2.3	2,353	▲ 3.8	1,069	▲ 1.0
2010 - 1	291,918	1.7	12,997	▲ 3.7	102	▲ 69.3	5,969	▲ 3.4	2,383	▲ 6.2	1,045	2.4
2	261,918	▲ 0.5	9,325	6.1	440	167.8	4,012	4.9	1,678	0.1	717	3.4
3	319,991	4.4	13,147	▲ 1.1	235	▲ 55.3	6,289	1.3	2,116	4.9	860	3.2
4	299,996	▲ 0.7	10,703	▲ 13.1	116	▲ 67.9	4,110	▲ 8.2	2,123	▲ 12.3	817	▲ 14.7
5	280,714	▲ 0.7	12,049	▲ 2.7	124	▲ 31.6	4,097	▲ 5.7	2,834	4.1	1,079	4.0
6	276,494	0.5	11,514	▲ 0.9	77	▲ 34.5	3,902	1.2	2,746	▲ 4.8	1,112	▲ 0.9
7	285,274	1.1	12,273	4.4	755	261.6	3,878	1.2	3,022	0.3	1,266	▲ 0.8
8	293,361	1.7	8,718	▲ 1.0	174	▲ 52.6	2,946	5.0	2,094	▲ 3.3	960	7.5
9	275,367	0.0	9,165	▲ 4.1	395	84.4	3,074	▲ 5.9	1,915	▲ 9.4	916	0.4
10	287,433	▲ 0.4	12,763	5.1	238	215.7	5,000	7.5	2,642	▲ 0.9	1,305	9.3
11	284,212	▲ 0.4	12,530	▲ 7.8	221	▲ 6.7	5,025	▲ 9.6	2,385	▲ 3.4	1,310	▲ 5.1
12	327,006	▲ 3.3	12,802	▲ 11.3	69	▲ 79.9	5,205	▲ 9.5	2,280	▲ 13.2	1,435	▲ 12.8
2011 - 1	289,191	▲ 1.0	12,521	▲ 3.7	120	17.2	5,405	▲ 10.8	2,749	6.1	1,135	9.3
2	260,793	▲ 0.2	8,720	▲ 6.7	282	▲ 36.0	3,802	▲ 6.9	1,445	▲ 12.3	735	2.5

資料:総務省統計局「家計調査報告」。2人以上で構成される8,000世帯を集計。

備考:「被服及び履物」は右に並ぶ内訳4費目以外の費目も含む。年数値は月平均。

Source: Family Income and Expenditure Survey by Statistics Bureau, MIC.

Added up 8,000 two-or-more-person households.

Remarks: Clothing & footwear includes Japanese clothing, clothing, shirts & sweaters and other items.

Year value is mean of the each month.

(1)世界主要国の家蚕繭生産数量

Domesticated Silkworm Cocoon Production in Major Countries

区 分		2004年	2005年	2006年
日本	Japan	683 トン	626 トン	505 トン
中国	China	547,091	621,461	739,715
インド	India	120,000	126,000	135,000
ベトナム	Vietnam	21,000	21,000	21,000
ブラジル	Brazil	8,005	7,146	8,051
タイ	Thailand	10,650	10,650	10,100
ウズベキスタン	Uzbekistan	20,000	20,000	20,000
イラン	Iran	3,200	2,543	2,104
トルコ	Turkey	169	170	350
ブルガリア	Bulgaria	20	42	65
ギリシャ	Greece	70	70	100
フィリピン	Philippines	22	14.4	16
シリア	Syria	11.5	5.5	3
主要国の計	Total	730,922	809,728	937,009

区 分		2007年	2008年	2009年
日本	Japan	433 トン	382 トン	327 トン
中国	China	779,261	683,387	575,299
インド	India	150,000	133,316	131,661
ベトナム	Vietnam	21,000	21,000	21,000
ブラジル	Brazil	8,617	6,266	4,835
タイ	Thailand	1,785	7,700	4,655
ウズベキスタン	Uzbekistan	20,000	25,760	25,896
イラン	Iran	1,665	1,185	1,185
トルコ	Turkey	130	126	140
ブルガリア	Bulgaria	55	48	51
ギリシャ	Greece	104	0	100
フィリピン	Philippines	9	6	4
シリア	Syria	2.5	3	4
主要国の計	Total	983,062	879,179	765,157

注1 日本は農林水産省生産局、中国は中国絲綢(シルク)協会、インドはインド繊維省中央蚕糸局(CSB)、ブラジルはブラジル製糸協会(ABRASSEDA)の統計値をそれぞれ使用、それ以外の国は国際養蚕委員会(ISC)の統計値を使用した。

注2 不明な数値は空欄とした。ただし、シェアの大きいベトナムは、2004年以降を不明年の前年と同数量の数値とした。

Note:1 Figures of Japan are based on the data of the Agricultural Production Bureau, MAFF.

Figures of China are based on the data of the China Silk Association.

Figures of India are based on the data of the Central Silk Board (CSB), Ministry of Textiles in India.

Figures of Brazil are based on the data of the Brazil Filature Association (ABRASSEDA).

Others than these countries, based on the data of International Sericulture Commission (ISC).

2 As the figures of Vietnam (since 2004) is not reported, that is taken as the same amount as previous year because that constitute high proportion of total.

(2)世界主要国の家蚕生糸生産数量

Domesticated Raw Silk Production in Major Countries

区 分		2004年		2005年		2006年	
		トン	俵	トン	俵	トン	俵
日本	Japan	263	4,400	151	2,500	119	2,000
中国	China	80,231	1,337,200	87,761	1,462,700	93,105	1,552,000
インド	India	14,620	243,700	15,445	257,400	16,525	275,400
ベトナム	Vietnam	2,250	37,500	2,250	37,500	2,250	37,500
ブラジル	Brazil	1,512	25,200	1,285	21,400	1,387	23,100
タイ	Thailand	1,420	23,700	1,420	23,700	1,080	18,000
ウズベキスタン	Uzbekistan	1,100	18,300	1,100	18,300	1,100	18,300
イラン	Iran	500	8,300	395	6,600	324	5,400
トルコ	Turkey	28	500	30	500	25	400
ブルガリア	Bulgaria	3	100	6	100	5	100
ギリシャ	Greece	4.5	100	4	100	4	100
フィリピン	Philippines	3	100	1.1	0	1.6	0
シリア	Syria	1.5	0	0.7	0	0.5	0
主要国の計	Total	101,936	1,699,100	109,849	1,830,800	115,926	1,932,300

区 分		2007年		2008年		2009年	
		トン	俵	トン	俵	トン	俵
日本	Japan	105	1,800	95	1,600	69	1,200
中国	China	108,420	1,807,000	98,620	1,643,700	92,455	1,540,900
インド	India	18,320	305,300	18,370	306,200	19,600	326,700
ベトナム	Vietnam	2,250	37,500	2,250	37,500	2,250	37,500
ブラジル	Brazil	1,220	20,300	1,177	19,600	811	13,500
タイ	Thailand	760	12,700	1,100	18,300	665	11,100
ウズベキスタン	Uzbekistan	1,100	18,300	1,417	23,600	2,447	40,800
イラン	Iran	253	4,200	180	3,000	180	3,000
トルコ	Turkey	20	300	15	300	20	300
ブルガリア	Bulgaria	7.5	100	7.5	100	6.3	100
ギリシャ	Greece	0	0	0	0	4	100
フィリピン	Philippines	1	0	1	0	1	0
シリア	Syria	0	0	0.4	0	0.6	0
主要国の計	Total	132,457	2,207,500	123,233	2,053,900	118,509	1,975,200

注1 日本は農林水産省生産局、中国は中国絲綢(シルク)協会、インドはインド繊維省中央蚕糸局(CSB)、ブラジルはブラジル製糸協会 (ABRASSEDA)の統計値をそれぞれ使用、それ以外の国は国際養蚕委員会(ISC)の統計値を使用した。

注2 不明な数値は空欄とした。ただし、シェアの大きいベトナムは、2004年以降を不明年の前年と同数量の数値とした。

Note:1 Figures of Japan are based on the data of the Agricultural Production Bureau, MAFF.

Figures of China are based on the data of the China Silk Association.

Figures of India are based on the data of the Central Silk Board (CSB), Ministry of Textiles in India.

Figures of Brazil are based on the data of the Brazil Filature Association (ABRASSEDA).

Others than these countries, based on the data of International Sericulture Commission (ISC).

2 As the figures of Vietnam (since 2004) is not reported, that is taken as the same amount as previous year because that constitute high proportion of total.

(3) 中国省別家蚕繭生産量・生糸生産量・製糸工場数

Domesticated Cocoon Production, Raw Silk Production, and Number of Filatures in China

省 Province	区分	家蚕繭生産量 Domesticated Cocoon Production (トン、%)(MT, %)			生糸生産量 Raw silk Production (トン、%)(MT, %)		
		2008	2009	対前年比 2009/08	2008	2009	対前年比 2009/08
山西	Shanxi	6,033	4,046	67	64	266	416
河北	Hebei	1,000	1,200	120	-	-	-
江蘇	Jiangsu	95,476	73,175	77	20,450	17,800	87
浙江	Zhejiang	64,319	45,600	71	17,950	15,000	84
安徽	Anhui	33,400	24,800	74	5,500	5,200	95
江西	Jiangxi	10,015	7,602	76	2,570	2,900	113
山東	Shandong	34,530	23,900	69	5,530	5,800	105
河南	Henan	11,641	10,101	87	2,800	2,100	75
湖北	Hubei	21,200	17,150	81	332	555	167
湖南	Hunan	4,300	3,182	74	58	104	179
広東	Guangdong	70,693	53,321	75	1,513	1,722	114
広西	Guangxi	170,900	172,900	101	14,069	16,237	115
重慶	Chongqing	22,110	17,311	78	5,497	4,200	76
四川	Sichuan	68,576	70,000	102	16,400	14,900	91
貴州	Guizhou	3,626	2,751	76	23	105	457
雲南	Yunnan	40,348	30,230	75	2,871	2,237	78
陝西	Shaanxi	23,800	17,200	72	2,868	3,263	114
甘肅	Gansu	420	253	60	-	0	0
寧夏	Ningxia	520	126	24	30	0	0
新疆	Xinjiang	480	450	94	30	0	0
内モンゴ	Inner Mongolia	-	-	-	65	66	101.54
合計	Total	683,387	575,299	84	98,620	92,455	94

製糸工場数 (件) Number of Filatures		
2006	2008	前年比 2008/06
702	682	97

資料：中国絲綢協会資料による

注：合計はラウンドの関係で一致していない。

Source: China Silk Association

Note: Total may not add up due to round off.

(4) 中国省別家蚕繭生産量の推移 Domesticated Cocoon Production in China (1998年～2009年)

(単位：万トン) (Unit: 10,000ton)

地域	Area	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	前年比 09/08(%)
北 京	Beijing													
天 津	Tianjin													
河 北	Hebei	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1				0.1	0.1	0.1	100.0
山 西	Shanxi	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.4	0.6	0.6	0.6	0.4	66.7
内 蒙 古	Inner Mongolia													
遼 寧	Liaoning													
吉 林	Jilin													
黒 龍 江	Heilongjiang													
上 海	Shanghai							0.0	0.0					
江 蘇	Jiangsu	8.5	8.2	9.0	10.1	11.9	10.7	11.1	10.1	11.8	10.4	9.5	7.3	76.8
浙 江	Zhejiang	10.4	9.4	9.5	11.0	9.9	7.9	7.6	7.5	8.5	8.4	6.4	4.6	71.9
安 徽	Anhui	2.5	2.1	2.5	2.7	2.8	2.6	2.7	3.4	3.8	3.8	3.3	2.5	75.8
福 建	Fujian													
江 西	Jiangxi	0.4	0.3	0.3	0.5	0.7	0.8	1.0	1.1	1.2	1.2	1.0	0.8	80.0
山 東	Shandong	4.2	4.2	5.3	6.9	6.9	6.7	3.5	3.7	4.0	4.0	3.5	2.4	68.6
河 南	Henan	0.6	1.2	1.3	1.5	1.7	1.1	0.7	0.9	1.3	1.4	1.2	1.0	83.3
湖 北	Hubei	1.4	1.4	1.2	1.2	1.3	1.2	1.1	1.4	1.6	1.6	2.1	1.7	81.0
湖 南	Hunan	0.1			0.1	0.1	0.2	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	75.0
広 東	Guangdong	2.1	2.3	3.1	4.5	5.3	5.2	2.7	3.4	6.9	8.1	7.1	5.3	74.6
広 西	Guangxi	1.8	1.9	3.0	5.6	7.4	8.7	9.2	14.8	18.5	20.5	17.1	17.3	101.2
海 南	Hainan													
重 慶	Chongqing	2.9	2.4	3.0	3.2	3.4	2.8	2.6	3.1	2.4	2.5	2.2	1.7	77.3
四 川	Sichuan	9.3	8.1	8.7	9.2	9.3	9.3	8.3	7.8	7.8	8.4	6.9	7.0	101.4
貴 州	Guizhou	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	0.2	0.4	0.3	75.0
雲 南	Yunnan	0.7	0.7	0.7	0.9	1.1	1.3	1.9	2.0	3.1	3.7	4.0	3.0	75.0
チベット	Tibet													
陝 西	Shaanxi	1.6	1.5	1.5	1.6	1.7	1.9	1.6	2.0	1.8	2.5	2.4	1.7	70.8
甘 肅	Gansu							0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	
青 海	Qinghai													
寧 夏	Ningxia							0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	
新 疆	Xinjiang	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	
合 計	Total	47.5	44.7	50.1	60.2	64.5	61.1	55.0	62.2	73.9	77.9	68.3	57.5	84.2

資料：2003年までは中国国家统计局「中国統計年鑑」、2004年以降は中国絲綢協会資料による。

合計はラウンドの関係で一致していない。

Source: Until 2003, "China Statistical Yearbook" National Bureau of Statistics of China

Since 2004, China Silk Association

Note: Total may not add up due to round off.

中国のシルク類の輸出状況
Silk Exports of China
(2010年1月～12月)

相手国	Country	生糸(柞蚕糸、野蚕生糸を含む) Raw Silk (tussah silk and wild raw silk included)			
		数量 Quantity (Kg)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2010年実績	10/09(%)	2010年実績	10/09(%)
1 インド	India	5,316,040	80.92	210,292	124.18
2 ベトナム	Vietnam	687,800	183.10	27,625	256.92
3 韓国	South Korea	524,545	97.95	21,201	138.58
4 ルーマニア	Romania	508,559	198.80	20,229	281.97
5 日本	Japan	483,704	107.01	20,302	155.15
6 イタリア	Italy	347,761	135.80	14,853	195.92
7 バングラデッシュ	Bangladesh	166,676	109.79	6,230	164.02
8 パキスタン	Pakistan	85,423	48.10	3,128	68.19
9 ミャンマー	Myanmar	78,785	119.99	3,028	189.93
10 アラブ首長国連邦	United Arab Emirates	66,758	229.30	2,502	279.12
11 その他	Others	242,599	59.43	9,458	100.53
合計	Total	8,508,650	92.21	338,848	139.15

中国のシルク類の輸出状況
Silk Exports of China
(2011年1月～2月)

相手国	Country	生糸(柞蚕糸、野蚕生糸を含む) Raw Silk (tussah silk and wild raw silk included)			
		数量 Quantity (Kg)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2011年実績	11/10(%)	2011年実績	11/10(%)
1 インド	India	750,961	100.53	39,800	159.21
2 ベトナム	Vietnam	101,605	200.12	5,083	300.54
3 ルーマニア	Romania	84,623	920.22	4,192	1,293.29
4 日本	Japan	83,208	126.10	4,500	186.05
5 韓国	South Korea	78,013	94.34	4,182	145.85
6 イタリア	Italy	48,574	87.84	2,674	134.06
7 バングラデッシュ	Bangladesh	12,638	30.28	0,672	47.79
8 ミャンマー	Myanmar	11,837	73.09	0,628	119.35
9 ドイツ	Germany	9,631	21.65	0,509	179.09
10 ブラジル	Brazil	7,912	0.00	0,439	0.00
11 その他	Others	17,708	23.99	0,932	37.95
合計	Total	1,206,710	104.87	63,611	163.25

相手国	Country	絹糸 Spun Silk Yarn			
		数量 Quantity (Kg)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2010年実績	10/09(%)	2010年実績	10/09(%)
1 インド	India	1,697,386	68.52	68,000	106.57
2 日本	Japan	632,473	106.00	26,847	146.56
3 イタリア	Italy	534,502	129.60	22,832	182.77
4 パキスタン	Pakistan	476,671	102.63	19,600	148.45
5 ドイツ	Germany	202,213	68.30	7,535	80.81
6 韓国	South Korea	189,531	93.82	7,847	132.48
7 タイ	Thailand	150,802	171.12	6,384	241.18
8 シリア	Syria	87,563	516.50	0,376	564.61
9 インドネシア	Indonesia	86,871	110.16	3,364	160.01
10 ベトナム	Vietnam	55,208	97.92	2,225	157.13
11 その他	Others	258,693	108.99	10,760	155.24
合計	Total	4,371,913	88.74	175,770	129.03

相手国	Country	絹糸 Spun Silk Yarn			
		数量 Quantity (Kg)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2011年実績	11/10(%)	2011年実績	11/10(%)
1 インド	India	169,486	98.24	8,980	146.55
2 イタリア	Italy	107,128	101.71	5,811	146.83
3 日本	Japan	100,018	100.93	5,269	134.99
4 パキスタン	Pakistan	27,276	30.43	1,431	43.23
5 韓国	South Korea	24,534	152.05	1,284	214.55
6 タイ	Thailand	16,553	134.02	0,895	182.83
7 ドイツ	Germany	14,755	37.89	0,679	49.94
8 ベトナム	Vietnam	6,389	130.18	0,291	175.64
9 マレーシア	Malaysia	6,053	0.00	0,329	0.00
10 インドネシア	Indonesia	5,173	55.06	0,258	77.10
11 その他	Others	17,860	40.35	0,687	44.38
合計	Total	495,225	83.57	25,914	118.90

相手国	Country	絹織物 Silk Fabrics			
		数量 Quantity (メートル)(meter)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2010年実績	10/09(%)	2010年実績	10/09(%)
1 インド	India	56,715,405	86.28	194,688	121.16
2 パキスタン	Pakistan	52,802,642	116.96	133,167	149.68
3 イタリア	Italy	49,555,469	136.42	173,431	164.48
4 香港	Hong Kong	17,082,170	99.57	90,484	120.59
5 韓国	South Korea	15,521,720	91.28	70,217	110.96
6 日本	Japan	11,648,919	102.17	39,907	133.54
7 アラブ首長国連邦	United Arab Emirates	8,469,624	92.62	31,330	109.83
8 マレーシア	Malaysia	7,832,855	85.90	38,012	125.04
9 シンガポール	Singapore	7,482,141	72.13	30,155	82.34
10 アメリカ	United States	6,024,523	110.33	35,272	117.48
11 その他	Others	40,723,405	115.50	155,883	133.41
合計	Total	273,858,873	104.48	992,546	129.62

相手国	Country	絹織物 Silk Fabrics			
		数量 Quantity (メートル)(meter)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2011年実績	11/10(%)	2011年実績	11/10(%)
1 イタリア	Italy	6,314,170	93.86	27,619	129.67
2 パキスタン	Pakistan	5,549,550	94.71	16,911	118.10
3 インド	India	5,001,069	61.59	20,765	91.44
4 日本	Japan	1,835,899	100.80	7,613	138.04
5 韓国	South Korea	1,818,093	80.78	9,927	111.85
6 香港	Hong Kong	1,649,020	70.55	9,964	91.34
7 アラブ首長国連邦	United Arab Emirates	1,252,869	85.00	5,288	116.24
8 マレーシア	Malaysia	1,161,179	128.57	7,168	206.79
9 シンガポール	Singapore	1,136,184	75.90	5,575	90.29
10 アメリカ	United States	894,665	100.98	5,671	114.99
11 その他	Others	5,653,663	82.39	26,559	110.30
合計	Total	32,266,361	83.29	143,060	112.80

資料: 中国税関
Source: Customs General Administration in China

資料: 中国税関
Source: Customs General Administration in China

(6) 中国企業別従業員年間賃金総額及び対前年増減率

Total Wage Bill of Employed Persons in Urban Units and Related Indices

年次 Year	賃金総額 (億元) Wage Bill (100million yuan)				対前年増減率 (%) Indices (preceding year=100)			
	全体 Total	国有企業 State- owned Units	集団企業 Urban Collectiv e-owned Units	その他企業 Units of Other Types of Ownership	全体 Total	国有企業 State- owned Units	集団企業 Urban Collectiv e-owned Units	その他企業 Units of Other Types of Ownership
1995年	8,255.8	6,173	1,210.6	672.7	21.8	17.4	15.6	42.2
1996年	9,249.4	6,893	1,269.4	801.7	12.0	11.7	4.9	19.2
1997年	9,602.4	7,324	1,283.9	994.5	3.8	6.2	1.1	24.0
1998年	9,540.2	6,935	1,054.9	1,550.7	▲ 0.6	▲ 5.3	▲ 17.8	55.9
1999年	10,155.9	7,290	995.8	1,870.1	6.5	5.1	▲ 5.6	20.6
2000年	10,954.7	7,745	950.7	2,259.1	7.9	6.2	▲ 4.5	20.8
2001年	12,205.4	8,515	898.5	2,791.7	11.4	9.9	▲ 5.5	23.6
2002年	13,638.1	9,138	863.9	3,636.2	11.7	7.3	▲ 3.9	30.3
2003年	15,329.6	9,912	867.1	4,550.6	12.4	8.5	0.4	25.1
2004年	17,615.0	11,038	876.2	5,700.6	14.9	11.4	1.0	25.3
2005年	20,627.1	12,292	906.4	7,429.0	17.1	11.4	3.4	30.3
2006年	24,262.3	13,921	983.8	9,357.9	17.6	13.3	8.5	26.0
2007年	29,471.5	16,689	1,108.1	11,674.3	21.5	19.9	12.6	24.8
2008年	35,289.5	19,488	1,203.2	14,598.4	19.7	16.8	8.6	25.0
2009年	40,288.2	21,863	1,273.3	17,152.1	14.2	12.2	5.8	17.5

資料：中国統計年鑑(2010)

Source: China Statistical Yearbook 2010

(7) 中国企業別従業員年間平均賃金及びその対前年増減率

Average Wage of Employed Persons in Urban Units and Related Indices

年次 Year	年平均賃金 (元) Average Wage (yuan)				対前年増減率 (%) Indices (preceding year=100)							
					名目賃金 Average Wage				実質賃金 Average Real Wage			
	全体 Total	国有企業 State-owned Units	集団企業 Urban Collective- owned Units	その他企業 Units of Other Types of Ownership	全体 Total	国有企業 State-owned Units	集団企業 Urban Collective- owned Units	その他企業 Units of Other Types of Ownership	全体 Total	国有企業 State-owned Units	集団企業 Urban Collective- owned Units	その他企業 Units of Other Types of Ownership
1995年	5,348	5,553	3,934	7,728	18.9	17.3	21.1	19.9	1.8	0.4	3.7	2.6
1996年	5,980	6,207	4,312	8,521	11.8	11.8	9.6	10.3	2.8	2.7	0.7	1.3
1997年	6,444	6,679	4,516	9,092	7.8	7.6	4.7	6.7	4.5	4.4	1.6	3.5
1998年	7,446	7,579	5,314	9,241	15.5	13.5	17.7	1.6	16.2	14.2	18.4	2.3
1999年	8,319	8,443	5,758	10,142	11.7	11.4	8.4	9.8	13.2	12.9	9.8	11.2
2000年	9,333	9,441	6,241	11,238	12.2	11.8	8.4	10.8	11.3	10.9	7.5	9.9
2001年	10,834	11,045	6,851	12,437	16.1	17.0	9.8	10.7	15.3	16.2	9.0	9.9
2002年	12,373	12,701	7,636	13,486	14.2	15.0	11.5	8.4	15.4	16.2	12.6	9.5
2003年	13,969	14,358	8,627	14,843	12.9	13.0	13.0	10.1	11.9	12.0	12.0	9.1
2004年	15,920	16,445	9,723	16,519	14.0	14.5	12.7	11.3	10.3	10.9	9.1	7.7
2005年	18,200	18,978	11,176	18,362	14.3	15.4	14.9	11.2	12.5	13.6	13.1	9.4
2006年	20,856	21,706	12,866	21,004	14.6	14.4	15.1	14.4	12.9	12.7	13.4	12.7
2007年	24,721	26,100	15,444	24,271	18.5	20.2	20.0	15.6	13.4	15.0	14.8	10.6
2008年	28,898	30,287	18,103	28,552	16.9	16.0	17.2	17.6	10.7	9.8	11.0	11.4
2009年	32,244	34,130	20,607	31,350	11.6	12.7	13.8	9.8	12.6	13.7	14.8	10.8

資料：中国統計年鑑2010 Source: China Statistical Yearbook 2010

(8)中国産業別従業員年平均賃金の推移

Average Wage of Employed Persons in Urban Units by Sector

(単位:元)(yuan)

産業別 Sector	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年
農、林、牧、漁業 Agriculture, Forestry, Fishery	6,884	7,498	8,207	9,269	10,847	12,560	14,356
採掘業 Mining	13,627	16,774	20,449	24,125	28,185	34,233	38,038
製造業 Manufacturing	12,671	14,251	15,934	18,225	21,144	24,404	26,810
電力、ガス、水道業 Production/Distribution of Electricity, Gas and Water	18,574	21,543	24,750	28,424	33,470	38,515	41,869
建築業 Construction	11,328	12,578	14,112	16,164	18,482	21,223	24,161
交通、運輸、倉庫、郵便業 Transport, Storage and Post	15,753	18,071	20,911	24,111	27,903	32,041	35,315
情報通信コンピューターサービ ス Information Transmission, Computer Service and	30,897	33,449	38,799	43,435	47,700	54,906	58,154
卸売、小売業 Wholesale and Retail Trades	10,894	13,012	15,256	17,796	21,074	25,818	29,139
ホテル、飲食業 Hotels and Catering Services	11,198	12,618	13,876	15,236	17,046	19,321	20,860
金融業 Financial Intermediation	20,780	24,299	29,229	35,495	44,011	53,897	60,398
不動産業 Real Estate	17,085	18,467	20,253	22,238	26,085	30,118	32,242
賃貸、リース業 Leasing and Business Services	17,020	18,723	21,233	24,510	27,807	32,915	35,494
科学研究、技術サービス業 Scientific Research, Technical Services	20,442	23,351	27,155	31,644	38,432	45,512	50,143
水利、環境管理業 Manage of Water Conservancy, Environment and Public	11,774	12,884	14,322	15,630	18,383	21,103	23,159
家庭サービス業 Services to Households and Other Services	12,665	13,680	15,747	18,030	20,370	22,858	25,172
教育 Education	14,189	16,085	18,259	20,918	25,908	29,831	34,543
衛生、社会保障、社会福祉業 Health, Social Securities and Entertainment	16,185	18,386	20,808	23,590	27,892	32,185	35,662
文化、スポーツ、娯楽業 Culture, Sports and Entertainment	17,098	20,522	22,670	25,847	30,430	34,158	37,755
公共機関、社会団体 Public Management and Social Organization	15,355	17,372	20,234	22,546	27,731	32,296	35,326
合計 Total	13,969	15,920	18,200	20,856	24,721	28,898	32,244

(出所)中国統計年鑑2010

Source: China Statistical Yearbook 2010

上記を円(Yen)換算

産業別 Sector	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年
製造業 Manufactur	184,236	192,389	212,560	273,375	317,160	366,060	375,340
合計 Total	203,109	214,920	242,788	312,840	370,815	433,470	451,416
年別人民元yuan/円yenレート	14.54	13.50	13.34	15.00	15.00	15.00	14.00

(9) 中国省別従業員年平均賃金(2009年)

Average Wage of Employed Persons Urban Units by Region

省(区)別 Region		年平均賃金(単位: 元)(yuan)	円換算(円) (yen)	対全国平均比(%) Indices(average=100)	
北	京	Beijing	57,779	808,906	179.19
天	津	Tianjin	43,937	615,118	136.26
河	北	Hebei	27,774	388,836	86.14
山	西	Shanxi	28,066	392,924	87.04
内	蒙	Inner Mongolia	30,486	426,804	94.55
遼	寧	Liaoning	30,523	427,322	94.66
吉	林	Jilin	25,943	363,202	80.46
黒	龍	Heilongjiang	24,805	347,270	76.93
上	海	Shanghai	58,336	816,704	180.92
江	蘇	Jiangsu	35,217	493,038	109.22
浙	江	Zhejiang	36,553	511,742	113.36
安	徽	Anhui	28,723	402,122	89.08
福	建	Fujian	28,366	397,124	87.97
江	西	Jiangxi	24,165	338,310	74.94
山	東	Shandong	29,398	411,572	91.17
河	南	Henan	26,906	376,684	83.44
湖	北	Hubei	26,547	371,658	82.33
湖	南	Hunan	26,534	371,476	82.29
広	東	Guangdong	36,469	510,566	113.10
広	西	Guangxi	27,322	382,508	84.74
海	南	Hainan	24,790	347,060	76.88
重	慶	Chongqing	30,499	426,986	94.59
四	川	Sichuan	28,149	394,086	87.30
貴	州	Guizhou	27,437	384,118	85.09
雲	南	Yunnan	26,163	366,282	81.14
西	蔵	Tibet	45,347	634,858	140.64
陝	西	Shaanxi	29,566	413,924	91.69
甘	肅	Gansu	26,743	374,402	82.94
青	海	Qinghai	32,481	454,734	100.74
寧	夏	Ningxia	32,916	460,824	102.08
新	疆	Xinjiang	27,617	386,638	85.65
全国平均		Average	32,244	451,416	100.00

(出所) 中国統計年鑑2010 Source: China Statistical Yearbook 2010

(注) 1元 = 14円 Note: 1yuan=14yen

(10)ブラジルの繭・生糸生産量推移
Cocoon and Raw Silk Production in Brazil

シルク年度 Silk Year (9～8月) (Sep-Aug)	繭生産量 Cocoon Production (トン)(Ton)	暦年 Calendar Year	生糸生産量 Raw Silk Production (kg)	生糸生産量 Raw Silk Production (俵換算) (Bale value)
1987/88	11,830	1987	1,658,375	27,640
1988/89	11,470	1988	1,748,996	29,150
1989/90	15,829	1989	1,696,622	28,277
1990/91	17,221	1990	1,693,206	28,220
1991/92	17,586	1991	2,077,155	34,619
1992/93	19,134	1992	2,296,053	38,268
1993/94	18,260	1993	2,325,809	38,763
1994/95	16,260	1994	2,535,440	42,257
1995/96	15,368 (95%)	1995	2,467,524 (97%)	41,125
1996/97	14,811 (96%)	1996	2,242,000 (91%)	37,367
1997/98	14,594 (99%)	1997	2,120,129 (95%)	35,335
1998/99	10,305 (71%)	1998	1,820,745 (86%)	30,346
1999/2000	8,473 (82%)	1999	1,553,722 (85%)	25,895
2000/01	9,916 (117%)	2000	1,389,356 (89%)	23,156
2001/02	10,238 (103%)	2001	1,484,905 (107%)	24,748
2002/03	9,966 (97%)	2002	1,607,485 (108%)	26,791
2003/04	8,005 (80%)	2003	1,562,563 (97%)	26,043
2004/05	7,146 (89%)	2004	1,512,133 (97%)	25,202
2005/06	8,051 (113%)	2005	1,284,510 (85%)	21,409
2006/07	8,617 (107%)	2006	1,387,289 (108%)	23,121
2007/08 *	6,266 (73%)	2007	1,219,562 (88%)	20,326
2008/09 *	4,835 (77%)	2008	1,176,885 (97%)	19,615
2009/10 〔見込み〕 〔Estimate〕	4,614 (95%)	2009	811,020 (69%)	13,517
		2010 〔見込み〕 〔Estimate〕	732,000 (90%)	12,200

資料: ブラジル製糸協会

注: ()内は対前年比

[]内の見込みは2010年1月現在

Source: ABRASEDA

Note: Figures in parenthesis are compared to the previous year.

Estimates are as of January 2010.

(11) ブラジル繭、生糸・絹撚糸、絹織物の生産、輸入及び輸出状況(総括表)

Production, Import and Export of Raw Silk, Twisted Silk and Silk Fabrics in Brazil (Summary)

年次 Year	生産 Production	年次 Year	輸入 Import	年次 Year	輸出 Export
	生繭Wet Cocoon (ton)		乾繭Dry Cocoon (kg)		乾繭Dry Cocoon (kg)
94/95	16,260	95	82,000	95	101,095
95/96	15,368	96	14,000	96	68,760
96/97	14,811	97	-	97	341,000
97/98	14,594	98	-	98	569,200
98/99	10,305	99	-	99	60,000
99/00	8,473	00	-	00	-
00/01	9,916	01	1,890	01	73,600
01/02	10,238	02	-	02	220,483
02/03	9,966	03	-	03	118,574
03/04	8,005	04	-	04	47,350
04/05	7,146	05	5,000	05	12,326
05/06	8,051	06	-	06	4,030
06/07	8,617	07	-	07	72,000
07/08	6,266	08	-	08	-
08/09	4,835	09	-	09	1,000
09/10*	4,614	10*	-	10*	1,000
年次 Year	生糸 Raw Silk (ton)	年次 Year	生糸Raw Silk (kg)	年次 Year	生糸と撚糸 Raw Silk and Twisted Silk (kg)
95	2,468	95	1,700	95	2,321,040
96	2,270	96	6,200	96	2,174,636
97	2,120	97	1,100	97	1,892,930
98	1,821	98	1,080	98	1,678,193
99	1,554	99	863	99	1,742,670
00	1,389	00	43,653	00	1,474,225
01	1,485	01	51,822	01	1,287,693
02	1,607	02	29,524	02	1,415,284
03	1,563	03	27,493	03	1,488,333
04	1,512	04	11,943	04	1,353,551
05	1,285	05	27,571	05	1,129,838
06	1,387	06	47,455	06	1,173,284
07	1,220	07	67,686	07	1,150,297
08	1,177	08	124,831	08	994,801
09	811	09	76,478	09	866,759
10*	732	10*	40,000	10*	643,000
年次 Year	絹織物Silk Fabrics (ton)	年次 Year	絹織物Silk Fabrics (kg)	年次 Year	絹織物Silk Fabrics (kg)
95	128	95	168,500	95	8,000
96	53	96	129,900	96	200
97	56	97	119,600	97	550
98	97	98	55,300	98	121
99	74	99	47,900	99	2,472
00	106	00	54,701	00	488
01	106	01	63,241	01	2,699
02	163	02	44,664	02	332
03	167	03	54,282	03	1,068
04	177	04	91,078	04	2,429
05	210	05	182,725	05	9,090
06	146	06	117,426	06	16,405
07	162	07	102,906	07	26,698
08	159	08	150,837	08	4,217
09	112	09	124,192	09	2,773
10*	101	10*	110,000	10*	3,000

資料: ブラジル製糸協会

注: *印は見込み数値

Source: ABRASEDA

Note: *Forecast

総目次

(平成 22 年 5 月号 (No. 12) ~平成 23 年 3 月号 (No. 17))

5月号 (No. 12)

【提携支援センターから】

〈蚕糸・絹業提携緊急対策事業の活動〉

- I 提携システム確立グループとして西陣純国産絹振興会を承認 …………… 1
- II 平成 21 年度蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業の取組経過の概要 …………… 3
- III 平成 22 年度第 1 次純国産絹マーク使用許諾状況 (天蚕糸製品を認定) …… 9
社団法人 日本絹業協会

学生たちとのシルク商品開発 …………… 11
共愛学園前橋国際大学 教授 兼本 雅章
門倉メリヤス株式会社 代表取締役 門倉 重行

名古屋市で初の開催—活況だった純国産絹製品展— …………… 15
社団法人 日本絹業協会

「日本の絹の里」からの情報発信に注目してください …………… 18
財団法人 群馬県蚕糸振興協会 上野 邦彦

【今月の話題】

東京青山に、きもの KYOTO アンテナショップ「白イ鳥」開設 …………… 23
京都市産業観光局 商工部 伝統産業課

【国内情報】

世界最高の蚕糸技術をいかし自立できる蚕糸業構築のために …………… 29
群馬県農政部蚕糸園芸課 絹主監 狩野 寿作

【海外情報】

中国の繭・生糸生産、増産体制へ …………… 35

【横浜開港とシルク貿易】

開港当初ごろの生糸輸出抑制策と生糸取引 …………… 40

シルク博物館 元部長 小泉 勝夫

7月号 (No.13)

【提携支援センターから】

蚕糸・絹業提携システムの構築により、西陣産地の活性化を目指す …………… 1

西陣織工業組合 専務理事 碓山 俊光

平成 22 年度第 2 次純国産絹マーク使用許諾状況 (黄八丈を初めて認定) … 8

社団法人 日本絹業協会

純国産絹製品の魅力を発信 …………… 10

社団法人 日本絹業協会

提携システム確立事業計画書の策定に当たっての

各項目の考え方及び留意事項等について …………… 13

「良いものづくり」に向けて …………… 34

緊急対策事業実施上の検討課題への対応 (Q & A) …………… 43

【今月の話題】

良いものづくりに向けて蚕と糸と織りが一緒に研究 …………… 51

財団法人 大日本蚕糸会 蚕業技術研究所 所長 井上 元

【国内情報】

「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産登録と蚕糸業振興 …………… 58

群馬県世界遺産推進課 補佐 土屋 真志

9月号 (No.14)

【提携支援センターから】

- 平成 23 年産以降の生糸価格のメカニズム …………… 1
蚕糸・絹業提携支援センター センター長 高木 賢
- 養蚕用資材の安定供給をめざして …………… 3
- 染・織りで綾なす「日本の絹展」を開催～国産シルクをもっと暮らしに～ ……… 6
社団法人 日本絹業協会
- 平成 22 年度第 3 次純国産絹マーク使用許諾状況
(合計使用許諾者数は 127 者と拡大) …………… 10
社団法人 日本絹業協会
- マルチコーディネート活動の依頼について …………… 12

【今月の話題】

- 「アインシュタインの眼」が映し出すシルクの世界 …………… 15
財団法人 大日本蚕糸会 蚕糸科学研究所

【国内情報】

- 第 63 回製糸夏期大学（最終記念）を開催して …………… 20
製糸技術研究会長 高林 千幸
- 1 級の合格者の合格率は 3%の難関だが、その価値は大きい …………… 28
社団法人 全日本きもの振興会 事務局

【横浜開港とシルク貿易】

- 生糸の粗製乱造と洋式製糸器械の導入 …………… 35
シルク博物館 元部長 小泉 勝夫

11月号 (No. 15)

【提携支援センターから】

4 提携グループを承認 1

日本絹の里で来館者と接して 3

群馬県立日本絹の里 菊川 比富

「新潟県産繭・絹振興会」の活動 5

合資会社 山岸織物 代表社員 山岸 良三

きもの文化の原点 日本の繭を見つめなおし 普及発展させるために 12

日本の繭ときもの文化を考える会 代表 田中 隆

群馬県高崎市で純国産絹製品展を開催 8

社団法人 日本絹業協会

平成 22 年度第 4 次純国産絹マーク使用許諾状況 16

社団法人 日本絹業協会

【今月の話題】

伝統の技を学び、その先を創造する人を育成 20

博多織デベロップメントカレッジ 事務局長 野口 敏彦

【横浜開港とシルク貿易】

短命に終わった蚕種輸出 27

シルク博物館 元部長 小泉 勝夫

1月号 (No. 16)

【年頭所感】 1

財団法人 大日本蚕糸会 会頭 高木 賢

【提携支援センターから】

- 16 提携グループを承認…………… 2
- 夢に向かって 玉小石・牛首紬への道…………… 4
玉小石牛首研究会 代表 大門屋（店主） 高橋 弘直
- 「ぐんま 200」で純国産帯締・羽織紐に取り組む…………… 9
平田グループ代表 平田 晃
- 宮崎の蚕糸・絹業提携グループ「綾の小石丸の会」…………… 13
綾の小石丸の会 秋山 眞和
- 平成 22 年度第 5 次純国産絹マーク使用許諾状況…………… 17
社団法人 日本絹業協会

【今月の話題】

- 繊維・ファッション流通の変化と新潮流…………… 20
元日本繊維新聞 編集主幹 聖生 清重

【国内情報】

- 今に生きる織物産地 西陣—…………… 27
西陣織工業組合 専務理事 碓山 俊光

【海外情報】

- 中国備蓄生糸の本格的放出（売渡し）始まる…………… 33

【横浜開港とシルク貿易】

- 横浜への絹の道…………… 46
シルク博物館 元部長 小泉 勝夫

3月号 (No. 17)

【提携支援センターから】

- 9 提携グループを追加承認 1
- 三つのマークと三つのグループ 3
日本蚕糸絹業開発協同組合 事務局土井 芳文
- 天蚕及び天蚕ハイブリッド生糸の商品化への道のり 7
りょうぜん天蚕の会 会長 柳沼 泰衛
- 「秩父シルクの会を立ち上げて」 13
秩父シルクの会 代表 松本 信孝
- 平成 22 年度第 6 次純国産絹マーク使用許諾状況 17
社団法人 日本絹業協会

【今月の話題】

- 絹の箏弦復活の兆し 21
聖徳大学 教授 徳丸 吉彦

【国内情報】

- シルク業界と産業遺産の保存・活用 25
東京産業考古学会 副会長 平井 東幸

【海外情報】

- 最近の韓国養蚕業の動向 29
韓国生糸輸出入組合 元副理事長 李 英 烈

【横浜開港とシルク貿易】

- 度重なる明治期の蚕糸不況 35
シルク博物館 元部長 小泉 勝夫

※「シルクレポート」の主要記事と統計データは、当支援センターのホームページでもご覧になれます。

<http://www.silk-teikei.jp/index.html>

シルクレポート 2011年5月号 NO.18 平成23年5月1日発行

編集 / 発行
(問い合わせ先)

(財) 大日本蚕糸会 蚕糸・絹業提携支援センター
〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-9-4 蚕糸会館5階
TEL : 03-3214-3500
FAX : 03-3214-3511
URL:<http://www.silk-teikei.jp/index.html>

製本 / 印刷 株式会社 正大印刷社

無断転載禁ず